

平成22年度
基礎・基本の定着状況調査報告書

平成22年10月
大分県教育委員会

は じ め に

小学校、中学校及び特別支援学校の新学習指導要領の全面実施に伴い、指導要録等も含めた学習評価の在り方も改善されます。今回は改訂の特徴は、学習評価の在り方の大枠は維持しつつ、学習指導要領等で定める学力の3つの要素に合わせ評価の観点を整理していることであります。学習評価は、単に成績付けのための評価だけでなく、学習指導要領の目標の実現状況を把握し指導の改善に生かすものであることから、指導の説明責任だけではなく、指導の結果責任も問われていることを前提として行う必要があります。

また、小・中学校の児童生徒が確かな学力を身に付けることは県民共通の願いであり、どこに住んでいようと同一水準の教育が受けられ、どの小・中学校にしようと努力すれば将来自分の夢が叶えられる、基礎的・基本的な学力の定着は、基礎学力を身につけられるようにすることは、義務教育の根幹です。

これまでも、学力向上等において効果的な実践等は行われてきましたが、当該教員や学校から取組が広がっていかないことや、教員、小・中学校、市町村間で取組に差があること、また、必要性がわかっているにもかかわらず十分に行われていないことなどが課題でした。そこで、今年度は、学力向上を含めたあらゆる取組を「点から面へ」展開し、「徹底」して行うことに主眼としました。

今回で8回目となる「基礎・基本の定着状況調査」は、県内小・中学校の児童生徒の基礎的・基本的な内容の定着状況を客観的に把握するとともに、一人ひとりの学習のつまづきや学習に対する意識や実態を明らかにし、児童生徒の学習に還元し、県全体の学力向上に資することを目的として、本年も小学校第5学年、中学校第2学年を対象に実施しました。その結果、「低学力層」に分布する児童生徒の割合が全国より2～3%多い状況であり、この層の児童生徒の自己実現を支えるための授業改善等が喫緊の課題であります。

そこで、こうした課題に対処するため、今年9月に、授業改善の視点として以下3点についての徹底を市町村教育委員会にお願いしたところです。

- ①「1時間完結」型授業の徹底
- ②板書の構造化、板書とノート一体化
- ③習熟度別指導等習熟度に応じた指導の強化

また、これらの徹底の方策として、校長による授業観察及び指導の徹底、互見授業による授業改善の相互点検の徹底、市町村教育委員会による指導の徹底を行います。

そして、これらの徹底をとおして、全ての子どもたちが夢や目標をしっかりとち、それに挑戦し自己実現できるための基礎学力を確実に身に付けられることを期待します。

本報告書では、調査結果の概要をまとめるとともに、分析結果から明らかになった課題に対する指導上の改善点、学習意識調査と学習到達度調査との関係の考察等を示しています。各市町村教育委員会及び各小・中学校においては、地域や家庭との情報の共有や学力向上対策の構築に本調査結果を積極的に活用いただき、今後さらに本県児童生徒の学力の向上が図られるようお願いいたします。

平成22年10月

大分県教育委員会教育長
小 矢 文 則

目 次

I 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査期日	1
3 調査対象	1
4 調査対象教科及び内容	1
5 調査問題及び質問紙調査	1
6 受検校及び受験者数	
(1) 受検校数	1
(2) 県全体、郡市別、国・県・私立等受検者数	1

II 学習到達度調査の結果

1 県全体	
(1) 教科別偏差値平均	2
(2) 教科別偏差値の5段階分布（市町村立学校のみ）	2
(3) 項目別正答率及び達成率、正答率度数分布（市町村立学校のみ）	
① 小学校第5学年・国語	3
② 小学校第5学年・算数	4
③ 中学校第2学年・国語	5
④ 中学校第2学年・数学	6
⑤ 中学校第2学年・英語	7
(4) 問題情報と小問別正答率（市町村立学校のみ）	
① 小学校第5学年・国語	8
② 小学校第5学年・算数	9
③ 中学校第2学年・国語	10
④ 中学校第2学年・数学	11
⑤ 中学校第2学年・英語	12
2 郡市別	
(1) 教科別偏差値平均	13
(2) 項目別正答率	14
① 小学校第5学年	15
② 中学校第2学年	16
(3) 項目別達成率	17
① 小学校第5学年	18
② 中学校第2学年	19
3 学 校	
① 小学校第5学年	20
② 中学校第2学年	21
4 指導の改善のポイント	
① 小・中学校国語	22
② 小学校算数	25
③ 中学校数学	27
④ 中学校英語	29
5 まとめ	31

III 学習意識調査の結果

1 学校や生活についてのアンケート調査結果	32
2 教科等についての意識調査結果	33
3 読書習慣、学習時間、テレビをみる時間、ゲームをする時間に関する調査結果	
(1) 読書習慣	34
(2) 学習時間	35
(3) テレビをみる時間	36
(4) ゲームをする時間	37
4 まとめ	38

IV 学習意識調査の結果と学習到達度調査の結果との関係

1 ふだんの生活と教科学力との関係	39
2 自分自身のことと教科学力との関係	40
3 学習の様子と教科学力との関係	41
4 まとめ	42

資 料

用語の説明	43
教科別偏差値の10段階分布学（市町村立学校のみ）	44
学校正答率、学校達成率と学校数	45
国語科における指導の改善	46

I 調査の概要

1 調査目的

県内小・中学校児童生徒の学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の定着状況を客観的に把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることにより、児童生徒の確かな学力の向上に資する。

2 調査期日

平成22年4月20日（火）

3 調査対象

県内の国公立・私立小学校等 第5学年の児童（ 305校、10,862人 ）
 県内の国公立・私立中学校等 第2学年の生徒（ 141校、11,194人 ）

4 調査対象教科及び内容

小学校第5学年：国語、算数（小学校第4学年までの学習内容）
 中学校第2学年：国語、数学、英語（中学校第1学年までの学習内容）

5 調査問題及び質問紙調査

総合学力調査（学習到達度調査及び学習意識調査）

6 受検校及び受検者数

（1）受検校数 小学校 305校 中学校 141校

（2）県全体、郡市別、国・県私立等受検者数

		(人)				
地域等	教科	小学校第5学年		中学校第2学年		
		国 語	算 数	国 語	数 学	英 語
県 全 体		10,558	10,558	10,731	10,729	10,735
中 津 市		808	807	740	740	740
豊 後 高 田 市		182	182	211	211	211
宇 佐 市		573	572	568	568	568
別 府 市		880	880	926	926	926
杵 築 市		283	282	254	254	254
国東市・東国東郡		268	268	304	304	304
速 見 郡		278	278	289	288	289
大 分 市		4,413	4,415	4,163	4,163	4,168
白 杵 市		337	337	311	311	311
津 久 見 市		148	148	175	176	176
由 布 市		312	312	305	305	305
佐 伯 市		608	608	600	600	601
竹 田 市		177	177	167	166	166
豊 後 大 野 市		288	288	330	329	330
日 田 市		608	609	707	707	705
玖 珠 郡		225	225	274	274	274
国・県・私立等		170	170	407	407	407

Ⅱ 学習到達度調査の結果

1 県 全 体

(1) 教科別偏差値平均

(偏差値50＝全国平均)

教 科	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
偏差値平均	49.5 (49.4)	49.8 (49.7)	49.5 (49.3)	50.4 (50.2)	50.1 (49.8)

※上段は全ての受検者による値である。

下段（ ）内の数は、国・私立学校等を除く公立学校のための数値である。

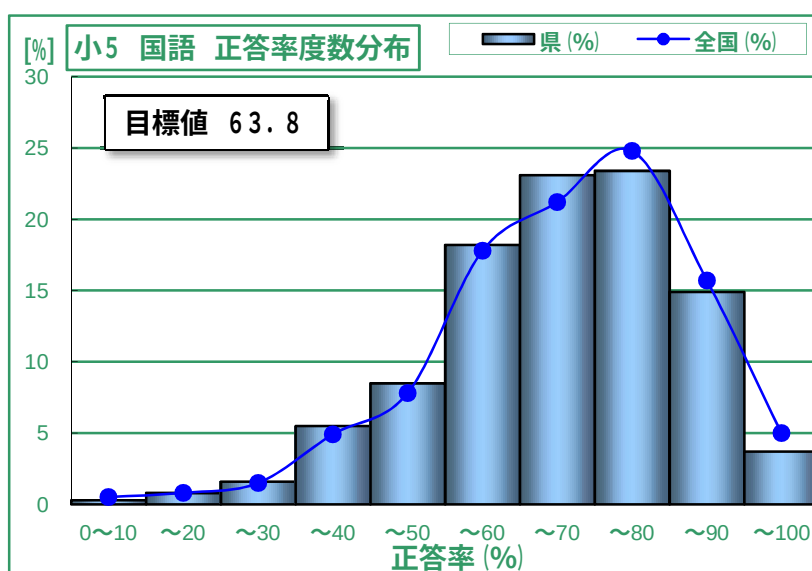
(2) 教科別偏差値の5段階分布（市町村立学校のみ）

対 象	5 段 階 分 布					
	段 階	1	2	3	4	5
	偏差値	34以下	35～44	45～54	55～64	65以上
小 学 校 第5学年	国 語	9%	21%	38%	28%	4%
	算 数	10%	18%	33%	39%	0%
中 学 校 第2学年	国 語	9%	20%	37%	33%	1%
	数 学	10%	19%	33%	38%	0%
	英 語	10%	19%	36%	34%	1%
標準分布		7%	24%	38%	24%	7%

(3) 項目別正答率及び達成率、正答率度数分布（市町村立学校のみ）

① 小学校第5学年・国語

項 目		偏差値	正答率 (%)					達成率 (%)		
			大分県	目標値	目標値差	全国値	全国値差	大分県	全国値	全国値差
教科総合		49.4	66.0	63.8	2.2	67.0	-1.0	61.5	64.3	-2.8
難易度	基礎	49.7	73.3	69.5	3.8	73.9	-0.6	61.4	63.0	-1.6
	応用	49.0	42.7	45.8	-3.1	45.2	-2.5	42.7	48.5	-5.8
観点	話す・聞く能力	49.0	68.7	61.7	7.0	71.0	-2.3	78.4	81.9	-3.5
	書く能力	49.8	68.5	59.5	9.0	69.0	-0.5	79.6	79.7	-0.1
	読む能力	49.2	52.8	56.3	-3.5	54.8	-2.0	45.4	48.8	-3.4
	言語についての知識・理解・技能	49.7	70.8	69.5	1.3	71.3	-0.5	58.6	59.5	-0.9
領域	話すこと・聞くこと	49.0	68.7	61.7	7.0	71.0	-2.3	78.4	81.9	-3.5
	書くこと	50.1	77.2	65.0	12.2	76.8	0.4	79.2	79.1	0.1
	読むこと	49.2	52.8	56.3	-3.5	54.8	-2.0	45.4	48.8	-3.4
	言語事項	49.7	71.3	70.0	1.3	71.7	-0.4	66.4	67.0	-0.6
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	49.0	68.7	61.7	7.0	71.0	-2.3	78.4	81.9	-3.5
	漢字を読む	49.9	97.4	88.3	9.1	97.5	-0.1	94.5	94.8	-0.3
	漢字を書く	49.7	62.2	65.0	-2.8	63.1	-0.9	64.1	65.0	-0.9
	言葉の学習	49.8	58.5	60.0	-1.5	58.9	-0.4	44.0	44.3	-0.3
	物語の内容を読み取る	49.3	50.8	55.0	-4.2	52.8	-2.0	36.0	38.9	-2.9
	説明文の内容を読み取る	49.3	54.9	57.5	-2.6	56.7	-1.8	39.6	43.3	-3.7
	作文	50.1	77.2	65.0	12.2	76.8	0.4	79.2	79.1	0.1



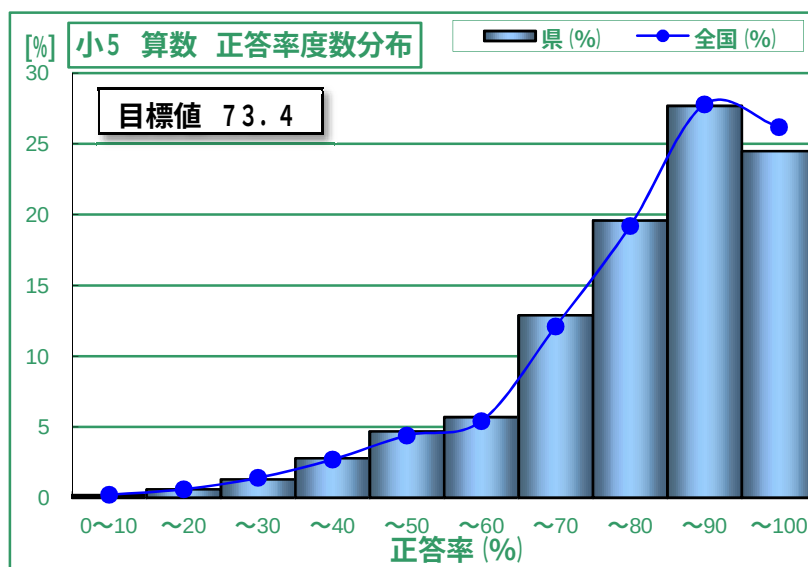
教科全体の正答率 度数分布

階層	県 (%)	全国 (%)	差 (%)
0~10	0.3	0.5	-0.2
~20	0.8	0.8	0.0
~30	1.6	1.5	0.1
~40	5.5	4.9	0.6
~50	8.5	7.8	0.7
~60	18.2	17.8	0.4
~70	23.1	21.2	1.9
~80	23.4	24.8	-1.4
~90	14.9	15.7	-0.8
~100	3.7	5.0	-1.3

正答率の度数分布の形状は全国と同じ傾向を示している。全国と比較し、正答率60%より多く70%以下の中間層の人数がやや多く、70%より多い高得点層が少なくなっている。

② 小学校第5学年・算数

項 目		偏差値	正答率 (%)					達成率 (%)		
			大分県	目標値	目標値差	全国値	全国値差	大分県	全国値	全国値差
教科総合		49.7	77.1	73.4	3.6	77.6	-0.5	67.9	69.2	-1.3
難易度	基礎	49.7	80.3	76.0	4.3	80.8	-0.5	65.9	67.2	-1.3
	応用	49.7	66.5	65.0	1.5	67.3	-0.8	63.2	64.6	-1.4
観点	数学的な考え方	49.9	72.4	68.1	4.3	72.6	-0.2	67.8	68.2	-0.4
	数量や図形についての表現・処理	49.6	80.9	77.0	3.9	81.7	-0.8	68.2	70.0	-1.8
	数量、図形などについての知識・理解	49.8	74.8	71.4	3.4	75.3	-0.5	65.8	67.1	-1.3
領域	数と計算	50.0	81.3	76.6	4.7	81.3	0.0	70.5	70.0	0.5
	量と測定	49.7	80.0	73.0	7.0	80.6	-0.6	72.9	73.9	-1.0
	図形	49.5	78.6	75.0	3.6	79.7	-1.1	66.0	68.6	-2.6
	数量関係	49.4	64.0	65.0	-1.0	65.5	-1.5	47.3	50.5	-3.2
問題の内容別	億と兆、がい数	49.8	75.8	71.7	4.1	76.4	-0.6	59.8	60.7	-0.9
	わり算	49.8	84.2	78.3	5.9	84.6	-0.4	77.1	77.8	-0.7
	小数	49.7	84.8	84.0	0.8	85.3	-0.5	48.5	50.6	-2.1
	分数	51.5	80.2	67.5	12.7	75.5	4.7	65.9	59.2	6.7
	角の大きさ	49.7	81.1	73.3	7.8	81.8	-0.7	60.4	61.8	-1.4
	面積	49.9	78.5	72.5	6.0	78.9	-0.4	66.1	67.2	-1.1
	円と三角形	49.9	84.4	78.3	6.1	84.6	-0.2	68.0	68.1	-0.1
	垂直・平行と四角形、立体	49.3	72.8	71.7	1.1	74.9	-2.1	48.4	51.1	-2.7
	折れ線グラフと表	49.6	65.0	65.0	0.0	66.0	-1.0	64.5	66.3	-1.8
	計算のきまり	49.2	60.9	65.0	-4.1	63.9	-3.0	43.0	46.8	-3.8



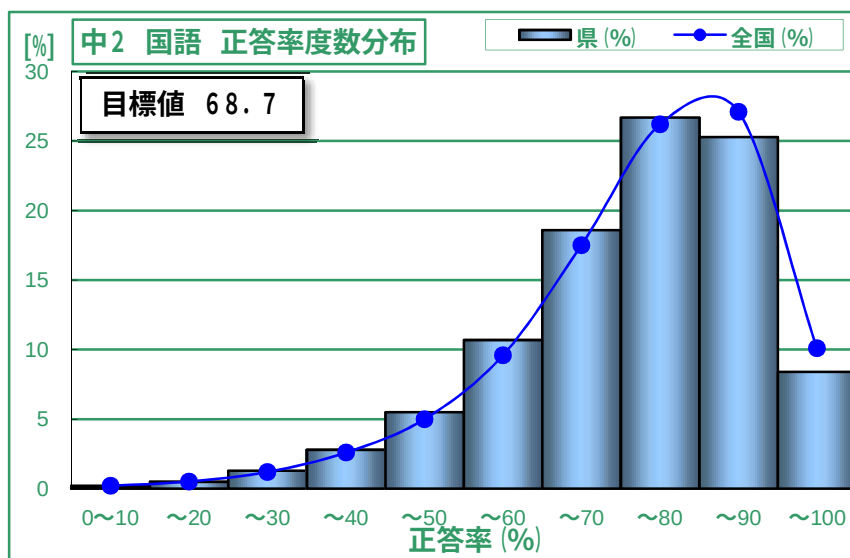
教科全体の正答率 度数分布

階層	県 (%)	全国 (%)	差 (%)
0~10	0.2	0.2	0.0
~20	0.6	0.6	0.0
~30	1.3	1.4	-0.1
~40	2.8	2.7	0.1
~50	4.7	4.4	0.3
~60	5.7	5.4	0.3
~70	12.9	12.1	0.8
~80	19.6	19.2	0.4
~90	27.7	27.8	-0.1
~100	24.5	26.2	-1.7

正答率の度数分布の形状は全国の度数分布の出方とほぼ同じである。
全国と比較し、90%より多い層がやや少ない。

③ 中学校第2学年・国語

項 目		偏差値	正答率 (%)					達成率 (%)		
			大分県	目標値	目標値差	全国値	全国値差	大分県	全国値	全国値差
教科総合		49.2	72.3	68.7	3.6	73.6	-1.3	64.5	67.8	-3.3
難易度	基礎	49.2	76.9	72.5	4.4	78.2	-1.3	69.6	71.9	-2.3
	応用	49.3	53.7	53.3	0.4	55.3	-1.6	47.9	50.0	-2.1
観点	話す・聞く能力	49.5	76.9	70.0	6.9	78.0	-1.1	74.7	76.9	-2.2
	書く能力	49.2	74.9	61.4	13.5	77.0	-2.1	81.2	83.3	-2.1
	読む能力	49.1	57.2	60.0	-2.8	59.3	-2.1	49.1	52.5	-3.4
	言語についての知識・理解・技能	49.7	79.0	76.6	2.4	79.6	-0.6	57.3	58.4	-1.1
領域	話すこと・聞くこと	49.5	76.9	70.0	6.9	78.0	-1.1	74.7	76.9	-2.2
	書くこと	49.3	79.4	63.0	16.4	81.4	-2.0	80.7	82.9	-2.2
	読むこと	49.1	57.2	60.0	-2.8	59.3	-2.1	49.1	52.5	-3.4
	言語事項	49.7	79.1	77.1	2.0	79.7	-0.6	57.3	58.4	-1.1
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	49.5	76.9	70.0	6.9	78.0	-1.1	74.7	76.9	-2.2
	漢字の読み	49.5	90.7	85.0	5.7	91.4	-0.7	66.6	68.9	-2.3
	漢字の書き	50.1	73.4	75.0	-1.6	73.1	0.3	68.2	68.8	-0.6
	文法・語句に関する知識	49.6	73.4	71.3	2.1	74.4	-1.0	69.9	71.5	-1.6
	説明文の内容の読み取り	49.1	55.5	59.0	-3.5	57.9	-2.4	56.5	60.9	-4.4
	文学作品の内容の読み取り	49.4	59.2	61.3	-2.1	61.0	-1.8	47.9	50.9	-3.0
	作文	49.3	79.4	63.0	16.4	81.4	-2.0	80.7	82.9	-2.2

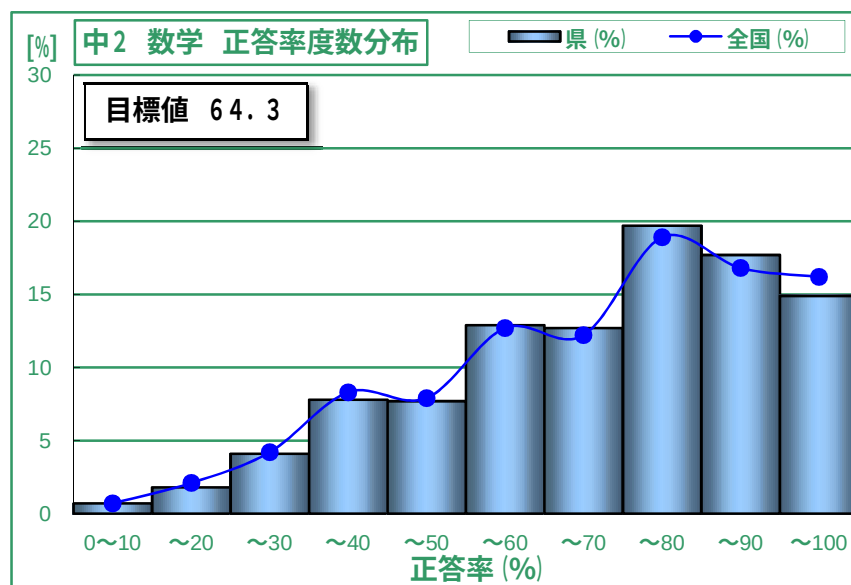


階層	県 (%)	全国 (%)	差 (%)
0~10	0.2	0.2	0.0
~20	0.5	0.5	0.0
~30	1.3	1.2	0.1
~40	2.8	2.6	0.2
~50	5.5	5.0	0.5
~60	10.7	9.6	1.1
~70	18.6	17.5	1.1
~80	26.7	26.2	0.5
~90	25.3	27.1	-1.8
~100	8.4	10.1	-1.7

正答率の度数分布の形状は全国と同じ傾向を示している。正答率50%より多く~80%以下の中間層の人数がやや多く、80%より多い高得点層が少ない。

④ 中学校第2学年・数学

項 目		偏差値	正答率 (%)					達成率 (%)		
			大分県	目標値	目標値差	全国値	全国値差	大分県	全国値	全国値差
教科総合		50.1	67.5	64.3	3.2	67.4	0.1	61.3	60.5	0.8
難易度	基礎	50.3	69.5	65.6	3.9	68.9	0.6	59.8	58.5	1.3
	応用	49.5	61.8	60.6	1.2	63.1	-1.3	56.6	58.2	-1.6
観点	数学的な見方や考え方	49.7	64.8	59.4	5.4	65.5	-0.7	62.7	63.5	-0.8
	数学的な表現・処理	50.0	64.0	64.4	-0.4	64.0	0.0	54.3	54.1	0.2
	数量、図形などについての知識・理解	50.2	71.0	64.4	6.6	70.6	0.4	65.7	64.6	1.1
領域	数と式	50.1	68.4	65.5	2.9	68.2	0.2	60.9	60.3	0.6
	図形	50.3	68.5	61.4	7.1	67.9	0.6	60.1	59.1	1.0
	数量関係	49.8	65.2	65.7	-0.5	65.8	-0.6	55.2	56.7	-1.5
	資料の活用	50.1	63.9	57.5	6.4	63.6	0.3	43.8	42.7	1.1
問題の内容別	正負の数のしくみ	50.0	75.3	71.3	4.0	75.3	0.0	70.5	70.9	-0.4
	正負の数の計算	49.9	69.1	68.3	0.8	69.5	-0.4	37.7	39.9	-2.2
	文字式の表し方	50.3	67.0	55.0	12.0	66.1	0.9	48.0	46.6	1.4
	文字式の計算	50.2	68.8	65.0	3.8	68.1	0.7	63.9	63.2	0.7
	1次方程式	50.2	68.4	73.3	-4.9	67.8	0.6	42.0	41.9	0.1
	1次方程式の応用	49.8	58.7	55.0	3.7	59.3	-0.6	62.6	63.5	-0.9
	比例・反比例	49.8	65.2	65.7	-0.5	65.8	-0.6	55.2	56.7	-1.5
	平面図形	49.5	76.3	60.0	16.3	77.7	-1.4	56.1	58.5	-2.4
	空間図形	50.5	65.4	62.0	3.4	64.0	1.4	49.1	46.8	2.3
	資料の散らばりと代表値	50.1	63.9	57.5	6.4	63.6	0.3	43.8	42.7	1.1



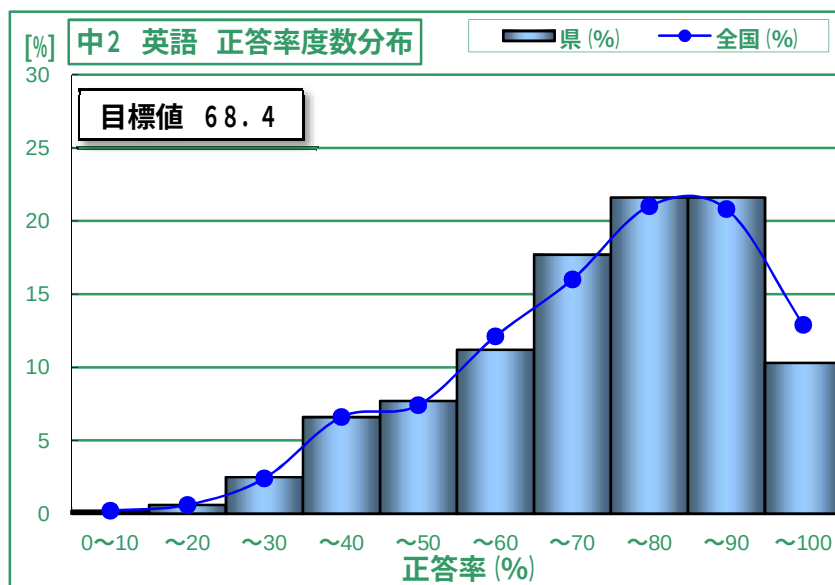
教科全体の正答率 度数分布

階層	県 (%)	全国 (%)	差 (%)
0~10	0.7	0.7	0.0
10~20	1.8	2.1	-0.3
20~30	4.1	4.2	-0.1
30~40	7.8	8.3	-0.5
40~50	7.7	7.9	-0.2
50~60	12.9	12.7	0.2
60~70	12.7	12.2	0.5
70~80	19.7	18.9	0.8
80~90	17.7	16.8	0.9
90~100	14.9	16.2	-1.3

正答率の度数分布の形状は全国とほぼ同じ傾向を示している。ただし、90%より多い層の人数がやや少ない。また、30%より多い~40%以下層・40%より多い~60%以下層・60%より多い~80%以下層と、中間層に3つの階層が認められる。

⑤ 中学校第2学年・英語

項 目		偏差値	正答率 (%)					達成率 (%)		
			大分県	目標値	目標 値差	全国値	全国 値差	大分県	全国値	全国 値差
教科総合		49.7	69.2	68.4	0.8	69.8	-0.6	59.2	60.0	-0.8
難易度	基礎	50.0	75.4	73.3	2.1	75.4	0.0	64.4	63.9	0.5
	応用	49.2	48.3	51.9	-3.6	50.6	-2.3	44.9	48.4	-3.5
観点	表現の能力	49.5	53.1	55.6	-2.5	54.7	-1.6	54.1	55.8	-1.7
	理解の能力	49.7	75.4	73.6	1.8	75.9	-0.5	61.3	62.0	-0.7
	言語や文化についての知識・理解	50.2	67.5	66.0	1.5	67.0	0.5	60.4	59.2	1.2
領域	聞くこと	50.1	84.0	78.0	6.0	83.9	0.1	83.0	82.4	0.6
	読むこと	49.6	68.0	68.4	-0.4	68.9	-0.9	60.1	61.9	-1.8
	書くこと	49.8	54.8	57.8	-3.0	55.6	-0.8	48.0	48.7	-0.7
問題の 内容別	リスニング (絵を見て答える)	50.3	88.9	83.0	5.9	88.5	0.4	58.0	56.6	1.4
	リスニング (会話内容)	49.8	79.1	73.0	6.1	79.4	-0.3	83.3	83.9	-0.6
	長文の読み取り	49.6	69.2	75.0	-5.8	70.3	-1.1	54.9	56.7	-1.8
	会話文の読み取り	49.7	61.5	63.8	-2.3	62.4	-0.9	57.1	58.1	-1.0
	文法・慣用表現の知識・理解	49.9	75.9	70.0	5.9	76.3	-0.4	63.4	64.0	-0.6
	単語の並べかえによる英作文	50.5	54.9	60.0	-5.1	53.0	1.9	45.2	43.4	1.8
	条件英作文	48.7	31.6	48.3	-16.7	36.1	-4.5	34.6	39.1	-4.5
	自由英作文	49.7	73.3	60.0	13.3	74.4	-1.1	75.4	76.2	-0.8



	県 (%)	全国 (%)	差 (%)
0~10	0.2	0.2	0.0
~20	0.6	0.6	0.0
~30	2.5	2.4	0.1
~40	6.6	6.6	0.0
~50	7.7	7.4	0.3
~60	11.2	12.1	-0.9
~70	17.7	16.0	1.7
~80	21.6	21.0	0.6
~90	21.6	20.8	0.8
~100	10.3	12.9	-2.6

正答率の度数分布の形状は全国とほぼ傾向を示している。90%より多い層の人数がやや少ない。
また、30%より多い~50%以下層・50%より多い~70%以下層・70%より多い~90%以下層と、
中間層に3つの階層が認められる。

(4) 問題情報と小問別正答率(市町村立学校のみ)

① 小学校5年 国語

★印は目標値、上段大分県、下段全国

連番	大問	解答形式		難易度	出題のねらい	問題の内容	観点			正答率(%)		目標値	正答率グラフ					目標値差	全国差	選択肢(類型) 番号						
		選択	記述				話	書	読	言	県		全国	0	20	40	60			80	100	1	2	3	4	その他
1	1	○		基礎	話の中心に気をつけて聞く	話し合いの内ようを聞き取る	◎				95.5	96.0	85.0		10.5	-0.5	2.0	95.5	1.5	0.7	0.1	0.2				
2		○		基礎	話の中心に気をつけて聞く	話し合いの内ようを聞き取る	◎				78.7	81.2	60.0		18.7	-2.5	6.6	3.2	78.7	10.9	0.1	0.5				
3			○	応用	話し合いの相違点や共通点を考えながら聞き、司会者の立場になって話す	話し合いの内ようを聞き取る	◎	○			32.0	35.7	40.0		-8.0	-3.7	11.2	41.6			39.9	7.2				
4	2	○		基礎	第4学年配当漢字「希望」を正しく読む	漢字を読む				◎	96.6	97.0	90.0		6.6	-0.4	96.6				1.8	1.6				
5		○		基礎	第4学年配当漢字「梅」を正しく読む	漢字を読む				◎	98.7	98.7	90.0		8.7	0.0	98.7				0.8	0.5				
6		○		基礎	第4学年配当漢字「包む」を正しく読む	漢字を読む				◎	96.8	96.7	85.0		11.8	0.1	96.8				2.1	1.1				
7		○		基礎	第4学年配当漢字「周囲」を正しく書く	漢字を書く				◎	56.5	58.3	70.0		-13.5	-1.7	56.5				35.2	8.3				
8		○		基礎	第4学年配当漢字「材料」を正しく書く	漢字を書く				◎	58.5	58.4	65.0		-6.5	0.1	58.5				32.9	8.6				
9		○		基礎	第4学年配当漢字「固める」を正しく書く	漢字を書く				◎	71.5	72.7	60.0		11.5	-1.2	71.5				21.0	7.5				
10	3	○		基礎	修飾語を正しく使う	言葉の学習				◎	84.4	85.9	75.0		9.4	-1.5	2.7	11.1	84.4	0.6	1.0	0.3				
11		○		基礎	修飾語を正しく使う	言葉の学習				◎	80.1	79.3	65.0		15.1	0.8	11.0	80.1	6.1	2.0	0.4	0.4				
12		○		基礎	ローマ字を正しく読む	言葉の学習				◎	53.2	50.1	65.0		-11.8	3.1	3.9	31.2	53.2	9.7	0.1	1.9				
13		○		応用	漢字辞典を正しく使う	言葉の学習				◎	16.1	20.1	35.0		-18.9	-4.0	16.1				77.7	6.2				
14	4	○		応用	場面の様子を読み取って並べかえる	物語の内ようを読み取る				◎	39.2	39.9	45.0		-5.8	-0.7	21.6	16.0	8.3	39.2	13.5	1.4				
15		○		基礎	登場人物の気持ちを読み取る	物語の内ようを読み取る				◎	78.4	80.3	75.0		3.4	-1.9	12.0	78.4	5.8	2.5	0.3	1.0				
16		○		基礎	場面の様子を読み取る	物語の内ようを読み取る				◎	41.6	44.5	50.0		-8.4	-3.0	41.6	41.0	6.9	9.0	0.3	1.3				
17		○		応用	場面の様子や登場人物の気持ちを読み取ってまとめる	物語の内ようを読み取る				◎	43.9	46.6	50.0		-6.1	-2.7	27.4	6.6	43.9	19.7	0.2	2.1				
18	5	○		基礎	指示語に注意して文章を読み取る	説明文の内ようを読み取る				◎	64.3	65.2	70.0		-5.7	-0.9	3.5	26.2	64.3	4.5	0.1	1.3				
19		○		基礎	前後の文の関係を考えて、正しい接続語を選ぶ	説明文の内ようを読み取る				◎	85.7	87.0	80.0		5.7	-1.3	85.7	4.8	4.3	3.7	0.1	1.3				
20		○		基礎	目的に応じて、内容を大きくまとめながら読む	説明文の内ようを読み取る				◎	33.6	34.5	45.0		-11.4	-1.0	10.4	41.7	11.7	33.6	0.2	2.5				
21			○	応用	目的に応じて、内容を大きくまとめながら読み取って記述する	説明文の内ようを読み取る		○	◎		36.0	40.1	35.0		1.0	-4.2	35.4	1.1			56.4	7.1				
22	6	○		基礎	相手や目的に応じて、適切に書く	作文		◎			67.7	65.5	60.0		7.7	2.1	67.7				26.1	6.3				
23		○		基礎	考えが明確になるように、段落相互の関係を考える	作文		◎	○		61.9	63.0	60.0		1.9	-1.1	61.9				31.8	6.3				
24		○		基礎	中心を明確にしながら、段落の続き方に注意して書く	作文		◎			89.9	90.0	70.0		19.9	0.0	89.3	1.3			3.2	6.3				
25			○	応用	中心を明確にしながら、段落の続き方に注意して書く	作文		◎			89.3	88.8	70.0		19.3	0.4	88.6	1.2			3.9	6.3				

※観点のタイトルが意味するところは、「話」：話す・聞く能力、「書」：書く能力、「読」：読む能力、「言」：言語についての知識・理解・技能。◎は主たる観点 ○は従たる観点。

※正答選択肢は黒塗りに白抜き、薄い網かけは準正答の選択肢(解答類型)。記述式問題の誤答はその他。

② 小学校5年 算数

★印は目標値、上段大分県、下段全国

連番	大問	解答形式		難易度	出題のねらい	問題の内容	観点		正答率(%)		目標値	正答率グラフ					目標値差	全国差	選択肢(類型) 番号					
		選択	記述				考	表	知	県		全国	0	20	40	60			80	100	1	2	3	4
1	1	○		基礎	命数法で書かれた数を記数法で表すことができる。	億と兆, がい数	○	◎	80.5	80.5	80.0		0.5	0.0	6.2	6.3	6.7	80.5	0.0	0.2				
2		○		基礎	数の相対的な大きさについて理解している。	億と兆, がい数	○	◎	82.5	83.2	70.0		12.5	-0.7	9.7	82.5	5.9	1.6	0.0	0.1				
3		○		基礎	1億は1000万を10倍した数であることを理解している。	億と兆, がい数	◎	○	85.4	85.6	70.0		15.4	-0.2	5.2	85.4	7.4	1.5	0.1	0.4				
4		○		基礎	数直線上に示された整数をよみとることができる。	億と兆, がい数	○	◎	78.5	79.0	80.0		-1.5	-0.6	10.1	5.6	5.4	78.5	0.1	0.3				
5	2	○		基礎	2けた÷1けた(余りあり)の除法の筆算ができる。	わり算		◎	89.5	88.6	85.0		4.5	0.9	2.1	7.0	89.5	1.1	0.0	0.3				
6		○		基礎	3けた÷1けた(余りあり)の除法の筆算ができる。	わり算		◎	92.5	92.9	85.0		7.5	-0.4	2.9	92.5	2.7	1.4	0.0	0.5				
7		○		基礎	2けた÷2けた(余りあり)の除法の筆算ができる。	わり算		◎	89.2	88.8	75.0		14.2	0.4	3.4	89.2	4.6	2.0	0.2	0.7				
8		○		基礎	3けた÷2けた(余りあり)の除法の筆算ができる。	わり算		◎	90.8	91.0	75.0		15.8	-0.2	90.8	3.0	2.5	2.0	0.2	1.4				
9	3		○	基礎	3けた÷1けた(余りなし)の除法を適用して、文章問題を解くことができる。	わり算	◎	○	71.4	72.6	80.0		-8.6	-1.2	71.4				26.7	1.9				
10	4		○	基礎	3けた÷1けた(余りなし)の除法を適用して、文章問題を解くことができる。	わり算	◎	○	72.1	73.5	70.0		2.1	-1.4	72.1				25.6	2.3				
11	5		○	基礎	小数の相対的な大きさについて理解している。	小数		○	◎	97.2	97.1	90.0		7.2	0.1	97.2				2.1	0.8			
12	6		○	基礎	小数+小数の小数の加法の計算ができる。	小数		◎	93.5	93.2	90.0		3.5	0.4	93.5				6.0	0.4				
13			○	基礎	小数-小数の小数の減法の計算ができる。	小数		◎	91.6	91.6	85.0		6.6	0.0	91.6				7.9	0.5				
14			○	基礎	小数(小数第一位)×整数の小数の乗法の筆算ができる。	小数		◎	81.4	82.7	80.0		1.4	-1.3	81.4				17.8	0.8				
15			○	基礎	整数÷整数の除法(割り進み)の筆算ができる。	小数		◎	60.1	62.1	75.0		-14.9	-2.0	60.1				36.8	3.1				
16	7	○		基礎	千の位までの概数の表し方を理解している。	億と兆, がい数		◎	78.8	79.5	70.0		8.8	-0.8	2.5	78.8	6.5	11.0	0.1	1.0				
17		○		基礎	四捨五入して130になる整数の範囲を理解している。	億と兆, がい数		◎	49.3	50.4	60.0		-10.7	-1.0	10.3	8.2	29.9	49.3	0.1	2.1				
18	8		○	基礎	単位分数の個数から、その数を表すことができる。	分数		◎	91.0	87.8	75.0		16.0	3.2	91.0				7.4	1.6				
19		○		基礎	帯分数, 仮分数, 真分数, 整数を大小順に並べることができる。	分数	○	◎	69.4	63.1	60.0		9.4	6.3	69.4	11.5	11.8	5.1	0.5	1.7				
20	9	○		基礎	分度器を使って正しい角度を読むことができる。	角の大きさ		○	◎	85.4	84.4	80.0		5.4	1.1	0.4	85.4	5.8	5.5	2.3	0.4			
21	10	○		応用	230°の角の大きさの見当をつけることができる。	角の大きさ	◎		○	80.9	82.5	70.0		10.9	-1.5	6.5	4.9	80.9	6.0	0.6	1.0			
22	11	○		基礎	交わる2直線がつくる隣り合った角の大きさを求めることができる。	角の大きさ	○	◎	○	76.8	78.5	70.0		6.8	-1.7	3.2	7.4	76.8	10.0	1.5	1.2			
23	12		○	基礎	必要な長さをよみとって、正方形の面積を求めることができる。	面積		○	◎	76.9	78.4	75.0		1.9	-1.5	76.9				22.1	1.0			
24	13	○		応用	複合図形で、面積を求める式から求め方がわかる。	面積	◎			80.0	79.4	70.0		10.0	0.6	4.1	6.0	80.0	7.7	0.8	1.3			
25	14	○		基礎	円の半径について理解している。	円と三角形		◎	87.7	88.1	80.0		7.7	-0.4	3.4	87.7	3.8	1.1	3.1	0.9				
26		○		応用	円の半径を使ってできる三角形が、二等辺三角形であることがわかる。	円と三角形	○	◎	82.6	82.4	70.0		12.6	0.3	82.6				13.2	4.1				
27	15	○		基礎	正三角形の定義や特徴を理解している。	円と三角形		◎	82.9	83.4	85.0		-2.1	-0.6	1.3	7.0	7.7	82.9	0.0	1.2				
28	16	○		基礎	垂直な直線の位置関係を理解している。	垂直・平行と四角形, 立体		◎	76.2	78.1	75.0		1.2	-1.9	76.2	1.9	16.3	3.8	0.2	1.4				
29	17	○		応用	ひし形の定義や特徴を理解している。	垂直・平行と四角形, 立体		◎	66.2	67.9	70.0		-3.8	-1.7	6.1	66.2	22.9	3.5	0.0	1.3				
30	18	○		基礎	直方体において、平行な辺を理解している。	垂直・平行と四角形, 立体		◎	76.1	78.6	70.0		6.1	-2.5	2.7	6.3	76.1	13.3	0.0	1.6				
31	19	○		基礎	()を用いた四則の混合した式の計算の順序を理解している。	計算のきまり		◎	○	65.7	70.3	60.0		5.7	-4.6	8.7	12.4	11.0	65.7	0.1	2.1			
32		○		応用	分配法則について理解している。	計算のきまり		◎	○	56.1	57.5	70.0		-13.9	-1.4	56.1	14.5	15.0	10.6	0.3	3.5			
33	20		○	応用	3つの折れ線グラフを正しくよみとることができる。	折れ線グラフと表		◎	44.5	46.5	60.0		-15.5	-2.0	44.5				51.0	4.4				
34			○	応用	棒グラフを正しくよみとることができる。	折れ線グラフと表		◎	85.2	86.0	70.0		15.2	-0.8	85.2				10.6	4.3				
35			○	応用	2種類のグラフをよみとることができる。	折れ線グラフと表	○	◎	29.9	30.3	45.0		-15.1	-0.4	29.9				64.6	5.4				
36	21	○		基礎	二次元表のよみ方・かき方を理解している。	折れ線グラフと表		◎	91.3	91.4	85.0		6.3	-0.2	91.3	0.9	0.7	0.6	2.4	4.1				
37		○		基礎	二次元表をよみとることができる。	折れ線グラフと表		◎	66.0	68.8	70.0		-4.0	-2.8	13.5	66.0	4.4	4.6	7.0	4.5				
38			○	応用	二次元表をよみとり縦と横の分類項目を見て、対象のマスがどのような意味をもっているか指摘できる。	折れ線グラフと表	○	◎	73.2	73.2	60.0		13.2	0.0	72.4	1.6			20.0	6.0				

※観点のタイトルが意味するところは、「考」：数学的な見方や考え方、「表」：数学的な表現・処理、「知」：数量、図形などについての知識・理解。◎は主たる観点 ○は従たる観点。

※正答選択肢は黒塗りに白抜き、薄い網かけは準正答の選択肢(解答類型)。記述式問題の誤答はその他。

③ 中学校2年 国語

★印は目標値、上段大分県、下段全国

連番	大問	解答形式		難易度	出題のねらい	問題の内容	観点			正答率 (%)		目標値	正答率グラフ					目標値差	全国差	選択肢 (原型) 番号						
		選択	記述				話	書	読	言	県		全国	0	20	40	60			80	100	1	2	3	4	その他
1	1	○		基礎	話の内容を正確に聞き取る	話し合いの内容の聞き取り	◎			96.7	97.1	90.0						6.7	-0.4	96.7	2.2	0.6	0.4	0.0	0.1	
2		○		基礎	話し方の工夫を聞き取る	話し合いの内容の聞き取り	◎			88.5	89.1	85.0						3.5	-0.6	3.1	88.5	6.0	2.2	0.0	0.2	
3		○		応用	話し合いの進め方の工夫を聞き取る	話し合いの内容の聞き取り	◎			73.8	75.8	60.0						13.8	-2.1	3.9	10.8	11.3	73.8	0.0	0.2	
4			○	応用	話題をとらえて主体的に話し合いに参加する	話し合いの内容の聞き取り	◎			48.6	49.9	45.0						3.6	-1.3	44.2	8.8			31.6	15.4	
5	2		○	基礎	中学校配当漢字「新鮮」を正しく読む	漢字の読み			◎	99.0	99.2	85.0						14.0	-0.2	99.0					0.7	0.3
6			○	基礎	中学校配当漢字「趣向」を正しく読む	漢字の読み			◎	67.7	69.9	85.0						-17.3	-2.2	67.7					20.8	11.5
7			○	基礎	中学校配当漢字「驚」を正しく読む	漢字の読み			◎	97.7	98.1	85.0						12.7	-0.4	97.7					1.6	0.6
8			○	基礎	中学校配当漢字「薄」を正しく読む	漢字の読み			◎	98.3	98.5	85.0						13.3	-0.2	98.3					1.3	0.5
9			○	基礎	小学校配当漢字「否定」を正しく書く	漢字の書き			◎	56.8	62.5	75.0						-18.2	-5.7	56.8					30.3	12.9
10			○	基礎	小学校配当漢字「宇宙」を正しく書く	漢字の書き			◎	85.5	83.8	75.0						10.5	1.7	85.5					10.4	4.1
11			○	基礎	小学校配当漢字「洗」を正しく書く	漢字の書き			◎	94.9	93.5	75.0						19.9	1.3	94.9					2.5	2.6
12			○	基礎	小学校配当漢字「敬」を正しく書く	漢字の書き			◎	56.3	52.8	75.0						-18.7	3.5	56.3					18.6	25.1
13	3	○		応用	修飾・被修飾の関係について理解する	文法・語句に関する知識			◎	84.7	84.5	70.0						14.7	0.2	4.9	6.7	3.0	84.7	0.2	0.5	
14			○	基礎	単語について理解する	文法・語句に関する知識			◎	56.6	60.2	65.0						-8.4	-3.6	56.6					42.4	1.0
15	4	○		基礎	漢字の音と訓を区別して読む	文法・語句に関する知識			◎	77.2	80.8	90.0						-12.8	-3.6	9.8	6.5	77.2	5.9	0.1	0.4	
16		○		基礎	漢字の楷書・行書の基礎的な書き方を理解する	文法・語句に関する知識			◎	75.1	72.2	60.0						15.1	3.0	2.0	75.1	10.0	12.4	0.1	0.3	
17	5	○		基礎	文章の展開に即して内容をとらえる	説明文の内容の読み取り			◎	72.5	74.0	70.0						2.5	-1.5	72.5	11.7	7.4	7.8	0.1	0.4	
18				応用	文脈の中での語句の意味を正確にとらえる	説明文の内容の読み取り			◎	44.4	46.0	50.0						-5.6	-1.7	4.5	25.4	24.9	44.4	0.0	0.8	
19			○	応用	文章の展開に即して内容をとらえ、要約する	説明文の内容の読み取り		○	◎	30.1	32.9	45.0						-14.9	-2.8	17.6	24.9			41.5	16.0	
20			○	基礎	文章の構成や展開を正確にとらえる	説明文の内容の読み取り			◎	63.0	65.2	65.0						-2.0	-2.2	9.0	11.0	16.1	63.0	0.0	0.8	
21			○	基礎	文章の展開に即して内容をとらえる	説明文の内容の読み取り			◎	67.7	71.2	65.0						2.7	-3.5	3.1	67.7	13.6	14.6	0.1	0.9	
22	6	○		基礎	場面の展開に即して心情をとらえる	文学作品の内容の読み取り			◎	84.2	85.8	70.0						14.2	-1.5	5.0	84.2	5.2	4.8	0.1	0.7	
23		○		基礎	場面の展開を押さえて読む	文学作品の内容の読み取り			◎	45.0	48.2	60.0						-15.0	-3.2	12.7	15.9	24.1	45.0	0.7	1.6	
24		○		基礎	文章の展開を確かめながら主題を考える	文学作品の内容の読み取り			◎	66.9	67.4	65.0						1.9	-0.4	4.5	10.2	66.9	17.3	0.1	1.0	
25		○		応用	場面の展開に即して心情をとらえる	文学作品の内容の読み取り			◎	40.7	42.5	50.0						-9.3	-1.8	40.7	23.6	11.1	23.0	0.1	1.5	
26	7		○	基礎	文章の形態に応じて適切な構成を工夫する	作文		◎		83.8	85.0	65.0						18.8	-1.2	83.8					9.2	6.9
27			○	基礎	文章の形態に応じて適切な構成を工夫する	作文		◎	○	76.4	77.9	65.0						11.4	-1.5	73.7	5.5				13.9	6.9
28			○	基礎	広い範囲から材料を見つけ、伝えたい事柄を明確にして書く	作文		◎		89.7	90.3	65.0						24.7	-0.6	88.3	2.9				1.9	6.9
29			○	基礎	広い範囲から材料を見つけ、伝えたい事柄を明確にして書く	作文		◎		75.1	78.3	65.0						10.1	-3.3	59.6	30.9				2.6	6.9
30			○	基礎	広い範囲から材料を見つけ、伝えたい事柄を明確にして書く	作文		◎		72.0	75.3	55.0						17.0	-3.4	56.1	31.7				5.3	6.9

※観点のタイトルが意味するところは、「話」：話す・聞く能力、「書」：書く能力、「読」：読む能力、「言」：言語についての知識・理解・技能。◎は主たる観点 ○は従たる観点。

※正答選択肢は黒塗りに白抜き、薄い網かけは準正答の選択肢（解答類型）。記述式問題の誤答はその他。

④ 中学校2年 数学

★印は目標値、上段大分県、下段全国

大問	解答形式 選択 記述	難易度	出題のねらい	問題の内容	観点		正答率(%)		目標値	正答率グラフ					目標 値差	全国差	選択肢(典型) 番号							
					考	表	知	県		全国	0	20	40	60			80	100	1	2	3	4	その他	無解答
1	1	○	基礎	数直線上の点の表す数を読むことができる。	正負の数のしくみ		◎	88.5	88.1	90.0						-1.5	0.3	88.5					11.1	0.4
2		○	基礎	負の小数と負の整数の大小を比較することができる。	正負の数のしくみ		◎	77.5	78.0	65.0						12.5	-0.5	77.5					20.6	1.9
3		○	基礎	数直線上に、負の分数が示す点を記入することができる。	正負の数のしくみ		◎	67.9	69.0	60.0						7.9	-1.0	67.9					28.6	3.5
4		○	基礎	いくつかの数の中から、絶対値がいちばん大きい数を判断できる。	正負の数のしくみ			◎	67.5	66.4	70.0						-2.5	1.0	67.5	3.1	3.0	24.5	1.3	0.6
5	2	○	基礎	正負の数の加法と減法の混じった計算ができる。	正負の数の計算		◎	81.7	80.4	70.0						11.7	1.3	81.7					16.1	2.1
6		○	基礎	負の数の累乗を含む除法の計算ができる。	正負の数の計算		◎	78.5	77.7	75.0						3.5	0.8	78.5					18.8	2.7
7	3	○	応用	前日の最高気温との差から、ある日の最高気温を求めることができる。	正負の数の計算		◎	47.1	50.3	60.0						-12.9	-3.2	47.1					49.3	3.6
8	4	○	基礎	文字を用いた式の表し方を理解している。	文字式の表し方		◎	69.7	67.5	50.0						19.7	2.3	2.1	9.9	69.7	17.0	0.2	1.0	
9		○	基礎	式の値を求めるにはどうすればよいのかを理解し、xの値を代入して式の値を求めることができる。	文字式の計算		◎	69.9	70.1	60.0						9.9	-0.2	69.9	19.3	4.2	4.8	0.5	1.4	
10		○	基礎	数量の大小関係を不等式で表すことができる。	文字式の表し方		◎	64.3	64.7	60.0						4.3	-0.4	17.6	6.6	64.3	10.1	0.1	1.3	
11	5	○	基礎	項とは何かを理解し、文字式における項を答えることができる。	文字式の計算		◎	77.2	75.1	60.0						17.2	2.0	5.2	77.2	6.1	10.4	0.0	1.0	
12		○	基礎	文字式の計算ができる。	文字式の計算		◎	73.7	72.1	70.0						3.7	1.6	73.7					22.1	4.2
13		○	基礎	分配法則を用いる文字式の計算ができる。	文字式の計算		◎	54.6	55.3	70.0						-15.4	-0.6	54.6					33.8	11.6
14	6	○	基礎	方程式とその解の関係を理解し、与えられた解を満たす方程式を選択することができる。	1次方程式		◎	72.3	70.8	80.0						-7.7	1.5	8.7	14.2	72.3	3.5	0.1	1.2	
15		○	基礎	1次方程式を解くことができる。	1次方程式		◎	62.1	62.5	80.0						-17.9	-0.4	25.6	62.1	4.9	5.7	0.2	1.6	
16		○	基礎	比例式を解くことができる。	1次方程式		◎	70.7	70.2	60.0						10.7	0.6	70.7					23.0	6.3
17	7	○	応用	式の中のある文字式が文章題の何を表しているかを答えることができる。	1次方程式の応用	◎		70.2	70.9	50.0						20.2	-0.7	3.6	15.8	8.9	70.2	0.1	1.4	
18	8	○	応用	方程式の問題を成り立たせるために必要な条件がわかる。	1次方程式の応用	◎		67.0	68.4	65.0						2.0	-1.4	18.6	67.0	9.5	3.4	0.0	1.4	
19		○	応用	文章題から、それを解く正しい方程式を導くことができる。	1次方程式の応用	◎	○	38.9	38.4	50.0						-11.1	0.5	18.1	21.7	19.0	38.9	0.1	2.2	
20	9	○	基礎	比例の関係にある1組のx、yの値から、与えられたxの値に対応するyの値を求めることができる。	比例・反比例		◎	61.6	62.6	60.0						1.6	-1.0	10.7	61.6	8.4	17.5	0.2	1.6	
21		○	基礎	x、yの反比例の関係を表す表から、反比例の式を求めることができる。	比例・反比例		◎	61.0	61.0	60.0						1.0	0.0	8.0	14.5	14.6	61.0	0.1	1.8	
22		○	基礎	比例の式から、そのグラフをかくことができる。	比例・反比例		◎	58.1	57.0	70.0						-11.9	1.1	58.1					36.3	5.6
23	10	○	応用	印刷している時間と印刷できる枚数が比例の関係であることがわかる。	比例・反比例		◎	84.2	85.2	80.0						4.2	-1.0	84.2	11.5	3.0			0.1	1.2
24		○	応用	印刷している時間と印刷できる枚数の関係を式に表すことができる。	比例・反比例	○	◎	69.3	69.2	70.0						-0.7	0.1	69.3					20.4	10.2
25		○	応用	表した式と同じ比例の関係になるものを、いろいろな事象の中から選択することができる。	比例・反比例	○	◎	55.4	57.2	60.0						-4.6	-1.7	55.4	19.8	9.6	12.2	0.1	2.9	
26		○	応用	問題文から正しいグラフを判断し、その理由を説明できる。	比例・反比例	◎		66.6	68.6	60.0						6.6	-1.9	61.6	10.0				21.9	6.5
27	11	○	基礎	線対称な図形、点対称な図形の判断ができる。	平面図形	○	◎	94.9	95.9	70.0						24.9	-0.9	1.3	94.9	1.8	0.9	0.1	1.0	
28		○	応用	2つの図形の位置関係からどのように移動させたのかがわかる。	平面図形	◎	○	57.6	59.6	50.0						7.6	-2.0	5.0	10.1	25.9	57.6	0.1	1.3	
29	12	○	基礎	直方体で、ある辺とねじれの位置にある辺をすべて選ぶことができる。	空間図形		◎	82.1	82.0	80.0						2.1	0.1	6.4	5.7	82.1	4.4	0.1	1.3	
30		○	基礎	投影図から、立体の形を判断することができる。	空間図形	○	◎	60.5	56.5	60.0						0.5	4.0	60.0	1.0				35.0	4.0
31	13	○	基礎	円柱の側面積を求めることができる。	空間図形	◎		77.9	78.9	70.0						7.9	-1.0	2.9	77.9	10.3	7.0	0.1	1.8	
32	14	○	基礎	円錐の体積を求めることができる。	空間図形		◎	45.6	44.8	50.0						-4.4	0.9	20.5	21.7	45.6	9.7	0.0	2.4	
33	15	○	基礎	球の体積を求める式を選択できる。	空間図形		◎	60.9	57.6	50.0						10.9	3.3	18.6	5.5	60.9	13.0	0.1	1.9	
34	16	○	基礎	度数分布表の階級の幅について理解している。	資料の散らばりと代表値		◎	69.9	72.5	65.0						4.9	-2.7	69.9					24.2	5.9
35		○	基礎	度数分布表から相対度数を求めることができる。	資料の散らばりと代表値		◎	57.9	54.6	50.0						7.9	3.3	15.5	7.6	57.9	16.3	0.2	2.5	

※観点のタイトルが意味するところは、「考」：数学的な見方や考え方、「表」：数学的な表現・処理、「知」：数量、図形などについての知識・理解。◎は主たる観点 ○は従たる観点。

※正答選択肢は黒塗りに白抜き、薄い網かけは準正答の選択肢（解答類型）。記述式問題の誤答はその他。

⑤ 中学校2年 英語

★印は目標値、上段大分県、下段全国

連番	大問	解答形式 選択 記述	難易度	出題のねらい	問題の内容	観点		正答率 (%)		目標値	正答率グラフ					目標値差	全国差	選択肢(黒塗り) 番号						
						表	理 知	県	全国		0	20	40	60	80			100	1	2	3	4	その他	無解答
1	1	○	基礎	キーワード（ペットの種類と数）を聞き取ることができる。	リスニング(絵を見て答える)		◎	96.9	96.5	90.0						6.9	0.4	1.4	0.2	1.3	96.9	0.0	0.2	
2		○	基礎	キーワード（時刻）を聞き取ることができる。	リスニング(絵を見て答える)		◎	95.7	96.4	80.0						15.7	-0.8	1.6	95.7	1.6	0.8	0.0	0.2	
3		○	基礎	キーワード（行為）を聞き取ることができる。	リスニング(絵を見て答える)		◎	99.2	99.3	90.0						9.2	-0.2	0.1	0.2	0.2	99.2	0.0	0.2	
4		○	基礎	キーワード（場所）を聞き取ることができる。	リスニング(絵を見て答える)		◎	84.2	79.2	80.0						4.2	5.0	84.2	13.1	1.8	0.7	0.0	0.2	
5		○	基礎	キーワード（曜日）を聞き取ることができる。	リスニング(絵を見て答える)		◎	68.6	71.0	75.0						-6.4	-2.4	12.8	14.9	68.6	3.2	0.0	0.4	
6	2	○	基礎	会話の内容（するスポーツ）を聞き取ることができる。	リスニング(会話内容)		◎	97.0	97.2	80.0						17.0	-0.2	1.3	1.1	97.0	0.3	0.0	0.2	
7		○	基礎	会話の内容（住んでいる場所）を聞き取ることができる。	リスニング(会話内容)		◎	93.0	93.3	75.0						18.0	-0.3	0.8	93.0	2.0	3.9	0.0	0.2	
8		○	基礎	会話の内容（初対面のあいさつ）を聞き取ることができる。	リスニング(会話内容)		◎	92.1	92.2	80.0						12.1	-0.1	0.1	3.3	92.1	4.2	0.0	0.2	
9		○	基礎	会話の内容（数をたずねる表現）を聞き取ることができる。	リスニング(会話内容)		◎	93.8	94.4	85.0						8.8	-0.6	3.6	0.9	1.4	93.8	0.1	0.3	
10	3	○	応用	会話の内容と表から、何の映画を見るかを判断することができる。	リスニング(会話内容)		◎	19.9	20.2	45.0						-25.1	-0.3	10.5	19.9	57.8	11.4	0.0	0.5	
11	4	○	基礎	長文の内容（ナンシーについて）を把握することができる。	長文の読み取り		◎	76.0	77.3	85.0						-9.0	-1.3	12.6	8.6	76.0	2.2	0.0	0.5	
12		○	基礎	長文の内容（ビルについて）を把握することができる。	長文の読み取り		◎	89.8	89.9	85.0						4.8	-0.1	4.0	2.6	3.0	89.8	0.0	0.6	
13		○	基礎	長文の内容（だれの試合を見るか）を把握することができる。	長文の読み取り		◎	75.9	77.4	75.0						0.9	-1.5	5.5	75.9	5.8	11.9	0.0	0.8	
14		○	基礎	長文の内容（ジェーンの日曜日の行動）を把握することができる。	長文の読み取り		◎	52.3	53.5	85.0						-32.7	-1.2	52.3	14.1	16.3	16.2	0.1	1.0	
15		○	応用	長文の内容を把握し、返事として適切でないものを判断することができる。	長文の読み取り		◎	51.9	53.3	45.0						6.9	-1.4	14.1	11.7	21.0	51.9	0.0	1.2	
16	5	○	基礎	会話の内容を把握し、適切な疑問詞を選ぶことができる。	会話文の読み取り		◎	74.8	75.7	70.0						4.8	-0.9	5.3	12.9	6.4	74.8	0.0	0.6	
17		○	基礎	会話の内容を把握し、流れに合った文を選ぶことができる。	会話文の読み取り		◎	61.4	61.2	65.0						-3.6	0.2	7.0	61.4	11.1	19.6	0.0	0.8	
18		○	基礎	会話の内容（代名詞の内容）を把握することができる。	会話文の読み取り		◎	33.1	35.4	50.0						-16.9	-2.3	31.7	6.8	33.1	27.3	0.1	1.0	
19		○	基礎	会話の内容を把握し、会話全体の流れをつかむことができる。	会話文の読み取り		◎	76.5	77.4	70.0						6.5	-0.8	76.5	5.0	1.7	15.7	0.3	0.8	
20		○	応用	英語の質問（誕生日がいつか）に、自分の立場で答えることができる。	条件英作文		◎	41.0	43.3	45.0						-4.0	-2.3	24.7	32.4			20.1	22.7	
21	6	○	基礎	慣用表現（I'm fine, thank you.）が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	76.3	77.2	80.0						-3.7	-1.0	14.5	5.4	76.3	2.7	0.1	1.0	
22		○	基礎	対話の中で名前をたずねる表現が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	82.3	82.0	80.0						2.3	0.3	5.7	5.6	5.3	82.3	0.1	1.0	
23		○	基礎	対話の中で出身をたずねる表現が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	86.9	87.6	80.0						6.9	-0.6	3.1	86.9	3.9	5.0	0.1	1.0	
24		○	基礎	対話の中で所有者をたずねる表現が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	72.7	72.5	70.0						2.7	0.2	11.4	7.0	7.7	72.7	0.1	1.1	
25		○	基礎	対話の中で依頼の表現が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	64.7	64.8	50.0						14.7	-0.1	64.7	12.3	16.1	5.5	0.2	1.2	
26		○	基礎	対話の中で登校時刻をたずねる表現が理解できる。	文法・慣用表現の知識・理解		○ ◎	72.5	73.7	60.0						12.5	-1.2	11.8	72.5	6.0	8.4	0.1	1.2	
27	7	○	基礎	所有格を用いた文を理解し、正しい語順で書くことができる。	単語の並べかえによる英作文	○		◎	46.4	44.7	60.0						-13.6	1.7	46.4				48.8	4.8
28		○	基礎	時をたずねる文を理解し、正しい語順で書くことができる。	単語の並べかえによる英作文	○		◎	53.7	50.1	60.0						-6.3	3.6	53.7				41.3	5.0
29		○	基礎	現在進行形の文を理解し、正しい語順で書くことができる。	単語の並べかえによる英作文	○		◎	71.4	67.8	60.0						11.4	3.5	71.4				23.7	5.0
30		○	基礎	否定の命令文を理解し、正しい語順で書くことができる。	単語の並べかえによる英作文	○		◎	48.3	49.5	60.0						-11.7	-1.2	48.3				46.6	5.0
31	8	○	応用	実生活の場面で、可能を表す文を書くことができる。	条件英作文		◎	36.4	38.9	50.0						-13.6	-2.5	33.7	5.5			35.3	25.6	
32		○	応用	実生活の場面で、相手を誘う文を書くことができる。	条件英作文		◎	17.6	26.1	50.0						-32.4	-8.6	10.6	14.0			35.2	40.3	
33	9	○	応用	自分の学校生活を含めて、自己紹介する文を書き表すことができる。	自由英作文		◎	77.4	78.2	70.0						7.4	-0.8	68.5	17.7			1.1	12.7	
34		○	応用	自分の学校生活を含めて、自己紹介する文を書き表すことができる。	自由英作文		◎	77.5	77.3	55.0						22.5	0.2	74.4	6.2			6.7	12.7	
35		○	応用	自分の学校生活を含めて、自己紹介する文を書き表すことができる。	自由英作文		◎	65.0	67.6	55.0						10.0	-2.6	60.1	9.8			17.4	12.7	

※観点のタイトルが意味するところは、「表」：表現の能力、「理」：理解の能力、「知」：言語や文化についての知識・理解。 ◎は主たる観点 ○は従たる観点。
 ※正答選択肢は黒塗りに白抜き、薄い網かけは準正答の選択肢（解答類型）。記述式問題の誤答はその他。

2 郡市別

(1) 教科別偏差値平均(市町村立学校)

郡 市 名	小学校第5学年		中学校第2学年		
	国 語	算 数	国 語	数 学	英 語
中 津 市	49.1	51.1	48.4	49.3	48.7
豊 後 高 田 市	55.1	54.9	54.5	55.7	55.8
宇 佐 市	53.5	54.1	50.3	51.2	49.6
別 府 市	48.6	49.2	48.1	49.9	47.6
杵 築 市	48.1	48.1	48.4	50.0	46.9
国東市・東国東郡	47.9	48.7	51.5	52.9	50.9
速 見 郡	49.4	48.7	51.6	52.3	51.7
大 分 市	49.2	49.1	48.6	49.2	49.9
白 杵 市	47.7	48.5	49.2	49.2	49.3
津 久 見 市	48.6	50.1	47.6	50.3	50.1
由 布 市	49.4	48.1	49.6	52.5	50.4
佐 伯 市	49.3	50.3	50.1	51.0	51.4
竹 田 市	48.8	48.0	50.6	51.7	49.9
豊 後 大 野 市	47.7	48.0	49.4	49.8	49.3
日 田 市	50.8	51.6	50.1	50.9	50.1
玖 珠 郡	48.1	48.1	46.8	46.9	46.2
県 全 体	49.4	49.7	49.2 (49.3)	50.1 (50.2)	49.7 (49.8)

※ 「県全体」の中学校の()内は、市町村立学校に県立大分豊府中学校の値を加えたものである。

※ 東国東郡は、小・中学校数が各1校のため、国東市と合わせて「国東市・東国東郡」と表記している。

○偏差値50を上回っている郡市数。

小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
3	6	7	10	7

(2) 項目別正答率

教科別「教科総合」正答率(市町村立学校)

郡 市 名	小学校第5学年		中学校第2学年		
	国 語	算 数	国 語	数 学	英 語
中 津 市	65.6	79.5	71.1	65.9	67.4
豊 後 高 田 市	75.4	86.3	80.6	80.0	80.8
宇 佐 市	72.8	84.9	74.1	70.1	68.9
別 府 市	64.6	76.1	70.7	67.1	65.3
杵 築 市	63.9	74.3	71.1	67.3	63.8
国東市・東国東郡	63.5	75.3	76.0	73.7	71.5
速 見 郡	66.0	75.3	76.1	72.4	73.0
大 分 市	65.6	76.0	71.5	65.6	69.6
白 杵 市	63.3	74.9	72.4	65.7	68.4
津 久 見 市	64.7	77.9	69.8	68.1	70.0
由 布 市	66.0	74.2	73.0	72.8	70.6
佐 伯 市	65.8	78.1	73.8	69.7	72.5
竹 田 市	65.0	74.0	74.5	71.1	69.6
豊 後 大 野 市	63.2	74.0	72.6	66.9	68.4
日 田 市	68.4	80.4	73.8	69.5	70.0
玖 珠 郡	63.9	74.3	68.6	60.6	62.5
県 全 体	66.0	77.1	72.3	67.5	69.2
目 標 値	63.8	73.4	68.7	64.3	68.4

※ 「県全体」は、市町村立学校のみの値である。

※ 東国東郡は、小・中学校数が各1校のため、国東市と合わせて「国東市・東国東郡」と表記している。

○目標値を上回っている郡市数。

小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
13	16	15	15	12

(2) 項目別正答率

①小学校第5学年

	国 語											算 数									
	教 科 総 合	難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				教 科 総 合	難易度別到達度		観点別到達度			領域別到達度			
		基 礎	応 用	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	識 言 語 ・ 理 解 ・ 技 能 の 知	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項		基 礎	応 用	数 学 的 な 考 え 方	の 数 量 や 図 形 に つ い て の 表 現 ・ 処 理	の 数 量 や 図 形 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係
中 津 市	65.6	73.1	41.8	68.4	68.7	51.4	70.7	68.4	77.7	51.4	71.2	79.5	83.0	68.5	75.1	84.2	77.0	83.7	82.3	82.5	65.8
豊 後 高 田 市	75.4	82.1	54.4	73.1	82.1	59.8	82.1	73.1	91.6	59.8	82.2	86.3	88.9	78.2	82.9	88.6	85.3	89.5	86.4	89.4	76.5
宇 佐 市	72.8	79.6	51.5	71.6	79.8	58.5	78.2	71.6	89.2	58.5	78.1	84.9	87.0	78.0	82.2	87.8	83.3	87.4	88.1	87.2	75.3
別 府 市	64.6	72.3	40.5	67.6	64.9	52.0	69.9	67.6	73.0	52.0	70.5	76.1	79.7	64.4	71.4	79.1	74.5	80.4	76.8	77.3	64.6
杵 築 市	63.9	71.5	40.0	69.9	67.3	47.5	70.0	69.9	75.9	47.5	70.4	74.3	78.2	61.6	69.3	78.4	72.0	79.0	77.6	75.0	60.3
国東市・東国東郡	63.5	70.7	40.5	69.2	70.4	49.2	66.3	69.2	80.4	49.2	66.4	75.3	79.1	62.9	71.2	78.2	73.5	79.6	78.3	80.1	59.4
速 見 郡	66.0	74.1	40.3	70.7	64.4	51.9	72.2	70.7	72.7	51.9	73.2	75.3	79.5	61.6	69.8	79.2	72.9	80.5	76.4	75.0	62.3
大 分 市	65.6	72.9	42.6	68.3	67.0	53.5	70.2	68.3	75.2	53.5	70.7	76.0	79.2	65.9	71.3	79.9	73.7	80.4	79.3	76.7	63.0
臼 杵 市	63.3	70.7	39.7	66.9	71.9	48.3	66.8	66.9	82.4	48.3	66.5	74.9	78.2	64.1	69.6	79.7	72.2	79.6	78.4	74.1	62.2
津 久 見 市	64.7	72.8	39.3	68.7	68.3	49.4	70.4	68.7	77.8	49.4	70.6	77.9	80.9	68.1	74.2	81.6	75.6	81.4	81.5	80.7	64.9
由 布 市	66.0	72.8	44.3	69.4	72.6	51.7	69.8	69.4	81.7	51.7	70.0	74.2	78.1	61.7	69.1	78.7	71.5	79.3	76.7	74.8	60.2
佐 伯 市	65.8	73.2	42.5	68.8	67.0	53.2	70.5	68.8	75.7	53.2	71.1	78.1	80.8	69.3	72.7	81.9	75.9	81.5	81.3	80.8	65.9
竹 田 市	65.0	72.3	42.1	66.2	68.1	51.3	70.6	66.2	76.8	51.3	71.0	74.0	77.4	63.2	67.1	78.3	71.7	78.2	79.2	78.9	57.1
豊 後 大 野 市	63.2	70.4	40.5	67.7	62.8	50.8	68.4	67.7	70.0	50.8	69.1	74.0	77.8	61.8	68.0	78.6	71.4	79.2	77.2	74.4	59.4
日 田 市	68.4	76.3	43.4	70.6	71.2	53.7	74.3	70.6	80.2	53.7	74.8	80.4	83.9	69.1	76.0	84.2	78.4	84.4	85.1	84.6	65.0
玖 珠 郡	63.9	70.8	42.3	67.6	72.0	50.7	66.2	67.6	82.2	50.7	66.1	74.3	78.1	61.9	68.5	79.3	71.3	79.2	75.7	77.0	59.8
目 標 値	63.8	69.5	45.8	61.7	59.5	56.3	69.5	61.7	65.0	56.3	70.0	73.4	76.0	65.0	68.1	77.0	71.4	76.6	73.0	75.0	65.0
大 分 県 全 体	66.0	73.3	42.7	68.7	68.5	52.8	70.8	68.7	77.2	52.8	71.3	77.1	80.3	66.5	72.4	80.9	74.8	81.3	80.0	78.6	64.0
全 国	67.0	73.9	45.2	71.0	69.0	54.8	71.3	71.0	76.8	54.8	71.7	77.6	80.8	67.3	72.6	81.7	75.3	81.3	80.6	79.7	65.5

(2) 項目別正答率

②中学校第2学年

	国語											数 学										英 語										
	教 科 総 合	難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				教 科 総 合	難易度別到達		観点別到達度				領域別到達度				教 科 総 合	難易度別到達		観点別到達度				領域別到達度		
		基 礎	応 用	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 語 に つ い て 理 解 ・ 技 能	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項		基 礎	応 用	数学 的 な 見 方 や 考 え 方	数学 的 な 表 現 ・ 処 理	数 量 の 知 識 ・ 理 解 つ	数 と 式	図 形	数 量 関 係	資 料 の 活 用	基 礎		応 用	表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	知 言 語 や 文 化 に つ い て 理 解	聞 く こ と	読 む こ と	書 く こ と		
中 津 市	71.1	75.4	53.7	78.8	73.2	54.7	77.9	78.8	77.4	54.7	78.2	65.9	68.0	59.8	63.3	62.2	69.8	67.7	66.9	61.5	60.4	67.4	74.0	45.0	48.9	74.6	65.2	84.2	65.5	52.1		
豊 後 高 田 市	80.6	83.9	67.4	85.7	82.6	67.5	86.1	85.7	87.0	67.5	86.1	80.0	82.0	74.4	77.3	78.2	82.4	82.5	77.3	77.2	76.0	80.8	85.3	65.5	67.1	85.4	82.6	91.4	81.4	68.0		
宇 佐 市	74.1	78.2	57.4	79.3	77.2	57.5	81.5	79.3	81.7	57.5	81.6	70.1	72.4	63.7	66.0	66.9	73.9	72.0	69.5	68.0	61.8	68.9	75.4	47.0	52.2	75.3	67.8	84.8	66.5	55.7		
別 府 市	70.7	75.3	52.0	75.1	70.7	55.9	78.0	75.1	75.1	55.9	78.4	67.1	69.5	60.2	63.6	63.7	70.9	68.4	69.4	63.7	59.2	65.3	71.3	45.0	48.8	72.1	61.8	79.6	65.2	49.5		
杵 築 市	71.1	75.4	53.9	76.5	73.5	55.2	78.3	76.5	77.8	55.2	78.4	67.3	69.3	61.6	63.8	64.6	70.5	70.5	64.5	63.1	62.5	63.8	70.6	40.6	45.3	71.2	60.8	81.7	61.8	47.4		
国東市・東国東郡	76.0	80.9	56.6	80.3	82.1	59.7	82.5	80.3	86.9	59.7	82.3	73.7	76.8	64.7	69.3	69.7	78.7	73.6	77.8	70.6	70.9	71.5	77.3	52.3	58.1	76.7	70.5	84.3	70.7	58.9		
速 見 郡	76.1	80.9	56.9	79.7	75.9	60.9	84.4	79.7	80.2	60.9	84.5	72.4	74.4	66.9	69.7	67.5	77.7	72.6	75.7	69.9	68.5	73.0	78.6	54.2	59.8	77.9	72.6	83.9	73.8	59.5		
大 分 市	71.5	76.3	52.1	74.9	74.4	57.3	77.8	74.9	78.8	57.3	77.9	65.6	67.2	60.9	63.5	62.2	68.7	66.2	66.1	64.2	62.5	69.6	76.0	47.8	52.8	75.9	68.4	84.8	68.2	54.9		
臼 杵 市	72.4	77.0	54.0	79.4	76.5	55.5	79.1	79.4	81.2	55.5	79.0	65.7	67.8	59.6	63.5	62.0	69.8	65.7	66.7	65.0	65.4	68.4	74.0	49.4	53.7	74.3	65.9	84.2	65.6	55.7		
津 久 見 市	69.8	74.7	50.2	76.4	70.5	52.6	77.8	76.4	75.1	52.6	78.3	68.1	70.4	61.4	65.9	64.2	71.8	66.7	75.1	62.7	75.6	70.0	76.5	48.4	54.8	75.5	70.6	84.7	68.0	57.4		
由 布 市	73.0	77.4	55.3	80.7	78.1	56.9	78.4	80.7	83.0	56.9	78.3	72.8	76.2	63.1	66.5	71.6	75.1	73.5	73.5	71.7	67.2	70.6	76.7	49.9	54.5	76.7	69.3	86.5	68.7	56.4		
佐 伯 市	73.8	78.5	55.0	78.5	75.1	58.0	81.6	78.5	79.3	58.0	81.8	69.7	71.6	64.2	67.0	66.3	73.2	70.3	69.5	68.0	71.2	72.5	77.4	56.2	60.7	77.5	69.4	84.7	71.7	60.6		
竹 田 市	74.5	78.6	58.4	79.5	77.5	58.7	81.6	79.5	81.8	58.7	81.7	71.1	73.2	65.0	68.3	67.0	75.0	72.5	74.4	65.1	66.9	69.6	75.8	48.8	54.2	75.4	68.7	83.3	68.7	56.1		
豊 後 大 野 市	72.6	77.5	53.0	74.7	77.4	56.8	79.7	74.7	81.9	56.8	79.9	66.9	69.3	59.8	64.3	62.1	71.1	67.4	70.9	62.9	60.9	68.4	74.6	47.4	52.1	74.9	65.4	83.2	67.7	53.0		
日 田 市	73.8	78.4	55.3	78.6	76.2	58.1	80.9	78.6	80.8	58.1	81.1	69.5	71.1	64.6	67.1	65.6	73.1	69.9	71.6	67.2	66.1	70.0	76.1	49.1	54.7	75.7	69.1	83.4	69.2	56.4		
玖 珠 郡	68.6	73.0	51.0	75.8	72.6	53.9	73.6	75.8	77.6	53.9	73.5	60.6	62.7	54.5	58.1	56.1	64.9	61.9	59.8	57.6	61.3	62.5	68.7	41.2	44.8	69.9	57.9	79.6	61.3	45.4		
目 標 値	68.7	72.5	53.3	70.0	61.4	60.0	76.6	70.0	63.0	60.0	77.1	64.3	65.6	60.6	59.4	64.4	64.4	65.5	61.4	65.7	57.5	68.4	73.3	51.9	55.6	73.6	66.0	78.0	68.4	57.8		
大 分 県 全 体	72.3	76.9	53.7	76.9	74.9	57.2	79.0	76.9	79.4	57.2	79.1	67.5	69.5	61.8	64.8	64.0	71.0	68.4	68.5	65.2	63.9	69.2	75.4	48.3	53.1	75.4	67.5	84.0	68.0	54.8		
全 国	73.6	78.2	55.3	78.0	77.0	59.3	79.6	78.0	81.4	59.3	79.7	67.4	68.9	63.1	65.5	64.0	70.6	68.2	67.9	65.8	63.6	69.8	75.4	50.6	54.7	75.9	67.0	83.9	68.9	55.6		

(3) 項目別達成率

教科別「教科総合」達成率(市町村立学校)

(%)

郡 市 名	小学校第5学年		中学校第2学年		
	国 語	算 数	国 語	数 学	英 語
中 津 市	58.5	73.7	61.9	58.1	55.9
豊 後 高 田 市	84.5	88.4	84.3	81.4	84.3
宇 佐 市	78.2	83.4	68.3	66.7	59.8
別 府 市	56.2	65.8	61.1	60.1	51.0
杵 築 市	57.4	60.9	60.5	60.5	49.4
国東市・東国東郡	52.3	64.7	75.0	73.7	64.5
速 見 郡	61.8	60.7	71.8	70.7	65.2
大 分 市	61.0	65.6	62.9	58.4	60.1
白 杵 市	55.1	60.7	62.4	56.3	56.9
津 久 見 市	60.1	68.2	57.1	64.8	62.1
由 布 市	62.8	62.8	66.2	70.9	60.3
佐 伯 市	61.0	69.7	68.7	64.0	67.1
竹 田 市	59.9	63.3	69.5	66.9	60.2
豊 後 大 野 市	57.7	61.9	61.1	58.1	55.6
日 田 市	68.6	77.6	68.3	65.3	60.5
玖 珠 郡	53.3	62.2	55.5	44.9	42.7
県 全 体	61.5	67.9	64.5	61.3	59.2

※ 「県全体」は、市町村立学校のみの値である。

※ 東国東郡は、小・中学校数が各1校のため、国東市と合わせて「国東市・東国東郡」と表記している。

(3) 項目別達成率

①小学校第5学年

	国語											算数									
	教科 総合	難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				教科 総合	難易度別到達度		観点別到達度			領域別到達度			
		基 礎	応 用	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	聞話 くす ことと	書 く ことと	読 む ことと	言語 ことと		基 礎	応 用	見数 方学 や考 え方	表数 現学 ・処 理的	知つ数量 い、図形など 識、理 解の	数 と計 算	量 と測 定	図 形	数 量 関 係
中津市	58.5	58.9	41.8	80.3	80.9	42.0	58.9	80.3	80.4	42.0	66.3	73.7	72.1	67.0	71.3	75.7	70.6	75.6	75.0	71.3	50.6
豊後高田市	84.5	84.0	59.7	83.4	95.6	56.9	84.0	83.4	95.0	56.9	87.8	88.4	86.2	81.8	81.8	85.1	87.8	87.8	80.1	85.1	67.4
宇佐市	78.2	76.6	58.1	81.7	92.8	55.0	75.9	81.7	92.8	55.0	78.9	83.4	81.5	81.6	82.7	81.1	81.3	83.9	86.9	80.1	67.3
別府市	56.2	57.2	38.7	77.9	73.6	43.4	56.5	77.9	73.1	43.4	63.8	65.8	64.7	58.0	67.5	62.6	65.6	68.2	68.7	64.3	48.1
杵築市	57.4	58.9	38.3	78.4	78.7	36.5	57.4	78.4	77.7	36.5	68.1	60.9	61.2	53.4	62.6	63.3	61.2	64.1	68.7	60.1	39.1
国東市・東国東郡	52.3	51.9	38.3	76.7	84.2	40.2	47.4	76.7	84.2	40.2	53.8	64.7	62.8	57.9	68.0	61.3	62.0	66.2	69.9	68.8	38.7
速見郡	61.8	65.5	34.9	84.4	74.9	42.9	60.7	84.4	74.5	42.9	71.6	60.7	64.0	55.3	61.5	64.4	61.1	69.8	65.5	56.7	42.5
大分市	61.0	60.7	42.6	77.4	77.4	47.1	56.8	77.4	76.9	47.1	65.0	65.6	63.0	62.3	66.5	66.0	63.0	68.9	71.9	62.5	45.8
臼杵市	55.1	53.9	36.6	75.9	82.7	35.4	51.2	75.9	82.4	35.4	55.1	60.7	58.3	59.5	62.8	65.5	58.6	64.3	68.5	56.5	43.2
津久見市	60.1	60.1	33.8	77.7	81.1	35.8	62.2	77.7	81.1	35.8	70.9	68.2	67.6	66.2	65.5	70.3	64.9	72.3	75.7	70.3	47.3
由布市	62.8	61.9	51.0	78.8	83.3	44.6	56.4	78.8	83.3	44.6	65.4	62.8	63.5	54.5	63.8	63.5	62.5	67.0	68.9	60.9	39.4
佐伯市	61.0	58.2	42.8	77.8	78.5	45.7	55.4	77.8	78.0	45.7	66.8	69.7	67.3	66.8	66.4	70.1	66.9	71.2	74.2	70.4	50.7
竹田市	59.9	61.6	44.6	75.7	79.1	43.5	56.5	75.7	79.1	43.5	63.8	63.3	59.3	58.2	58.2	63.3	61.0	60.5	75.7	68.4	39.0
豊後大野市	57.7	55.9	39.5	76.2	72.7	43.0	54.2	76.2	71.7	43.0	65.0	61.9	58.4	55.9	61.5	63.6	60.1	65.0	68.5	62.2	41.6
日田市	68.6	70.6	42.6	81.4	84.0	46.1	68.6	81.4	83.7	46.1	75.0	77.6	75.3	68.6	75.3	78.3	76.0	77.6	82.2	78.1	47.9
玖珠郡	53.3	52.4	40.0	76.9	85.8	41.8	48.9	76.9	85.8	41.8	54.7	62.2	61.3	56.4	61.3	64.9	59.6	64.9	64.9	63.1	42.2
大分県全体	61.5	61.4	42.7	78.4	79.6	45.4	58.6	78.4	79.2	45.4	66.4	67.9	65.9	63.2	67.8	68.2	65.8	70.5	72.9	66.0	47.3
全国	64.3	63.0	48.5	81.9	79.7	48.8	59.5	81.9	79.1	48.8	67.0	69.2	67.2	64.6	68.2	70.0	67.1	70.0	73.9	68.6	50.5

項目別達成率
②中学校第2学年

	国 語											数 学										英 語											
	教 科 総 合	難易度別到達			観点別到達度				領域別到達度				教 科 総 合	難易度別到達			観点別到達度				領域別到達度			教 科 総 合	難易度別到達			観点別到達度				領域別到達度	
		基 礎	応 用		話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 語 彙 ・ 理 解 ・ 技 能	聞 話 ・ こ こ と と	書 く こ と と	読 む こ と と	言 語 事 項		基 礎	応 用		数 学 的 な 見 方 や 考 え 方	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	い 数 量 の ・ 図 形 な ど 理 に 解 つ	数 と 式	図 形	数 量 関 係	資 料 の 活 用		基 礎	応 用		表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	知 識 ・ 文 化 ・ 語 彙 ・ 理 解 の	聞 く こ と と	読 む こ と と	書 く こ と と
中 津 市	61.9	66.5	49.1	76.8	77.4	45.1	55.4	76.8	77.1	45.1	55.4	58.1	58.4	52.4	58.1	50.9	63.1	58.5	57.5	51.2	41.9	55.9	60.8	38.5	46.6	58.9	56.4	84.6	55.5	43.4			
豊 後 高 田 市	84.3	85.2	68.1	88.6	90.0	66.7	71.4	88.6	90.0	66.7	71.4	81.4	82.9	75.2	81.0	76.7	84.8	85.2	78.6	71.0	62.4	84.3	84.8	73.8	75.7	85.7	83.3	95.7	81.9	68.1			
宇 佐 市	68.3	73.9	53.1	78.7	84.5	51.0	64.6	78.7	83.2	51.0	64.6	66.7	64.4	58.0	63.1	57.7	70.9	66.8	60.7	58.9	41.8	59.8	65.4	43.6	53.1	62.3	60.5	84.1	58.9	50.8			
別 府 市	61.1	64.9	46.6	73.1	75.5	46.9	56.6	73.1	74.7	46.9	56.6	60.1	59.6	52.2	59.4	53.4	65.7	60.5	62.6	53.5	38.6	51.0	55.4	41.3	49.0	53.0	51.8	69.2	55.5	41.7			
杵 築 市	60.5	66.4	49.4	73.1	77.9	45.1	56.5	73.1	76.7	45.1	56.5	60.5	57.7	53.8	58.1	52.6	65.6	61.7	50.6	53.8	42.7	49.4	55.3	32.0	41.1	51.4	49.8	75.9	52.2	36.0			
国東市・東国東郡	75.0	77.6	54.9	78.9	87.5	54.6	64.8	78.9	87.2	54.6	64.8	73.7	72.0	61.2	71.7	64.8	77.6	72.0	76.3	64.8	53.9	64.5	67.4	48.7	60.2	63.2	66.1	81.6	63.5	54.3			
速 見 郡	71.8	76.3	53.7	77.4	83.6	54.4	70.0	77.4	83.3	54.4	70.0	70.7	70.4	65.2	71.4	59.6	79.1	68.3	71.1	61.3	49.1	65.2	71.4	51.6	62.7	69.0	68.3	84.3	70.4	50.2			
大 分 市	62.9	68.8	45.1	72.2	80.6	49.6	53.7	72.2	80.2	49.6	53.7	58.4	56.2	56.2	61.8	51.9	61.6	57.9	55.6	54.0	41.8	60.1	66.3	43.5	53.6	63.0	62.3	86.0	61.1	48.0			
臼 杵 市	62.4	68.8	47.6	76.8	82.6	44.1	56.6	76.8	82.6	44.1	56.6	56.3	55.0	53.1	60.1	51.1	63.7	54.0	58.8	55.3	45.0	56.9	60.1	47.9	55.0	57.6	58.2	79.7	55.0	47.9			
津 久 見 市	57.1	62.3	38.9	72.6	72.6	36.6	54.9	72.6	71.4	36.6	54.9	64.8	63.6	56.3	62.5	56.3	68.8	58.0	70.5	50.0	59.7	62.1	67.8	44.1	58.8	59.3	64.4	85.9	62.7	52.5			
由 布 市	66.2	70.5	49.7	80.5	86.1	45.7	56.0	80.5	85.1	45.7	56.0	70.9	71.9	58.3	65.6	67.2	74.8	70.2	70.9	63.9	49.3	60.3	65.9	49.7	57.0	64.6	61.9	88.1	61.6	51.7			
佐 伯 市	68.7	73.0	49.4	76.5	83.6	51.1	65.2	76.5	83.4	51.1	65.2	64.0	63.1	62.8	68.7	59.1	68.8	64.3	62.8	58.6	52.6	67.1	69.6	59.7	66.6	66.1	63.4	85.1	65.2	56.5			
竹 田 市	69.5	70.1	56.3	77.2	85.0	54.5	61.7	77.2	84.4	54.5	61.7	66.9	68.1	60.8	66.9	57.8	74.7	69.9	71.1	54.2	48.8	60.2	64.5	42.8	53.0	57.8	61.4	78.3	60.2	47.6			
豊 後 大 野 市	61.1	69.9	48.3	69.3	84.2	45.3	56.5	69.3	83.6	45.3	56.5	58.1	56.5	48.9	59.3	49.2	64.4	55.9	63.8	49.2	37.4	55.6	62.6	44.4	51.7	59.3	56.2	82.1	58.7	43.2			
日 田 市	68.3	73.1	49.6	78.3	84.3	50.3	63.7	78.3	83.6	50.3	63.7	65.3	62.7	60.2	66.1	57.1	69.7	64.0	65.4	58.4	43.6	60.5	65.1	46.2	57.7	60.4	61.9	82.0	59.7	51.8			
玖 珠 郡	55.5	59.1	42.0	71.5	78.8	44.9	40.1	71.5	78.8	44.9	40.1	44.9	44.5	44.9	51.8	39.4	50.4	47.8	43.8	41.6	40.9	42.7	46.7	36.1	40.9	47.4	42.3	71.2	46.4	33.2			
大 分 県 全 体	64.5	69.6	47.9	74.7	81.2	49.1	57.3	74.7	80.7	49.1	57.3	61.3	59.8	56.6	62.7	54.3	65.7	60.9	60.1	55.2	43.8	59.2	64.4	44.9	54.1	61.3	60.4	83.0	60.1	48.0			
全 国	67.8	71.9	50.0	76.9	83.3	52.5	58.4	76.9	82.9	52.5	58.4	60.5	58.5	58.2	63.5	54.1	64.6	60.3	59.1	56.7	42.7	60.0	63.9	48.4	55.8	62.0	59.2	82.4	61.9	48.7			

3 学校

①小学校第5学年

全教科の基礎・応用、観点・領域すべての項目における正答率が目標値に到達した小学校とその数値〔児童数が5人未満の公立学校及び、公表を希望しなかった国立、私立学校を除く〕

教育事務所	市町村	番号	学 校 名	難易度別到達度										観点別到達度									
				難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度			
				基 礎	応 用	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 識 語 に っ つ い て 理 解 ・ 技 能	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項	基 礎	応 用	数 学 的 な 考 え 方	の 数 量 や 図 形 に っ つ い て 理 解 て	の 数 量 や 知 識 に っ つ い て 理 解 て	数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係	
中津	豊後高田市	1	高 田 小 学 校	84.5	69.1	79.3	85.6	68.4	86.4	79.3	90.9	68.4	87.1	91.2	83.5	87.8	90.9	88.5	92.8	90.2	89.4	80.5	
		2	都 甲 小 学 校	80.0	51.7	80.0	79.0	62.5	75.2	80.0	85.0	62.5	75.0	84.5	68.9	75.4	84.4	79.6	86.8	78.0	78.3	70.0	
		3	田 染 小 学 校	88.7	48.8	73.8	86.4	60.7	87.8	73.8	100.0	60.7	87.1	91.1	81.0	85.7	90.2	89.5	91.0	85.7	92.9	82.1	
		4	真 玉 小 学 校	87.2	63.1	70.2	86.8	68.3	88.8	70.2	98.2	68.3	88.6	93.6	85.7	86.5	92.2	91.4	94.0	86.4	92.9	88.8	
		5	香 々 地 小 学 校	77.6	52.8	63.9	80.0	61.5	75.4	63.9	89.6	61.5	75.0	87.4	78.7	82.7	88.0	84.0	88.2	85.0	84.7	79.2	
	宇佐市	6	糸 口 小 学 校	90.0	58.3	70.8	88.5	70.3	89.3	70.8	98.8	70.3	89.0	90.7	83.9	85.4	93.0	86.6	91.6	89.0	86.7	85.0	
		7	四 日 市 南 小 学 校	79.3	50.0	69.4	82.2	57.1	77.9	69.4	91.8	57.1	77.3	87.8	78.2	83.2	87.8	84.1	88.5	88.2	87.4	75.3	
		8	柳 ヱ 浦 小 学 校	82.3	64.0	82.1	87.2	60.5	83.9	82.1	93.9	60.5	84.1	90.9	84.2	86.7	91.7	87.8	92.0	89.5	89.2	82.8	
		9	長 洲 小 学 校	82.7	53.1	72.9	86.5	58.7	81.7	72.9	97.7	58.7	81.2	90.5	76.7	83.9	91.1	85.2	91.1	90.7	89.9	73.8	
		10	和 間 小 学 校	85.1	60.3	76.7	83.8	61.5	87.6	76.7	94.0	61.5	88.0	91.3	83.6	91.1	90.0	88.6	92.0	89.6	91.3	82.0	
		11	封 戸 小 学 校	76.3	59.7	69.4	67.5	70.8	73.0	69.4	75.0	70.8	73.3	88.5	83.3	82.1	90.1	85.7	88.6	93.3	88.9	79.2	
		12	北 馬 城 小 学 校	76.8	54.4	67.8	74.7	60.4	76.8	67.8	81.7	60.4	77.3	88.0	68.9	80.0	86.0	82.9	88.1	88.0	88.9	65.8	
		13	宇 佐 小 学 校	83.9	57.4	77.6	82.9	63.5	83.0	77.6	92.8	63.5	82.7	94.6	92.3	92.9	96.2	93.2	94.3	96.9	96.8	89.4	
		14	豊 川 小 学 校	83.9	58.5	68.8	89.2	69.1	80.2	68.8	97.4	69.1	79.7	89.1	84.3	90.1	89.3	86.6	90.3	90.8	88.5	80.4	
		15	院 内 北 部 小 学 校	86.8	70.0	78.3	92.0	76.9	82.9	78.3	100.0	76.9	82.0	92.4	86.7	92.3	90.3	91.0	93.2	92.0	91.7	85.0	
		16	深 見 小 学 校	80.0	52.5	78.3	87.5	62.5	72.4	78.3	97.5	62.5	71.0	88.3	86.7	88.5	90.6	86.7	86.3	100.0	86.7	85.0	
		17	安 心 院 小 学 校	78.3	56.7	72.0	77.2	62.0	76.4	72.0	87.0	62.0	76.8	83.2	74.4	74.9	85.4	79.6	83.8	84.0	78.0	75.3	
		18	津 房 小 学 校	77.3	53.8	76.9	73.8	64.4	72.5	76.9	80.8	64.4	72.3	81.4	75.2	72.2	82.2	79.4	82.6	80.0	87.2	68.3	
別府	杵築市	19	山 浦 小 学 校	88.6	52.8	77.8	86.7	64.6	85.7	77.8	100.0	64.6	85.0	88.5	74.1	79.5	87.5	83.0	89.5	86.7	94.4	66.7	
	国東市	20	竹 田 津 小 学 校	80.7	63.9	83.3	93.3	64.6	76.2	83.3	100.0	64.6	75.0	88.5	83.3	89.7	87.5	86.7	88.6	90.0	91.7	79.2	
		21	小 原 小 学 校	83.2	48.3	76.7	77.0	60.0	80.0	76.7	90.0	60.0	80.0	92.4	90.0	94.6	96.3	89.8	93.7	100.0	86.7	86.3	
	日出町	22	藤 原 小 学 校	76.4	48.7	69.4	68.5	60.5	73.1	69.4	76.6	60.5	74.5	84.1	68.1	77.9	82.5	79.1	83.2	85.2	84.4	67.3	
大分	大分市	23	長 浜 小 学 校	72.8	49.7	69.4	63.5	58.3	71.0	69.4	70.8	58.3	72.3	81.4	68.1	76.0	82.8	75.4	82.3	80.0	78.0	67.6	
		24	下 郡 小 学 校	76.4	46.7	70.6	71.7	58.6	72.8	70.6	79.9	58.6	73.1	78.4	71.8	72.0	79.3	75.6	77.5	82.9	83.1	67.0	
		25	津 留 小 学 校	73.8	47.3	72.4	67.2	58.2	70.0	72.4	74.6	58.2	70.5	85.7	76.0	79.6	86.4	81.7	86.3	86.2	85.9	73.0	
		26	明 野 西 小 学 校	75.4	50.9	74.4	77.0	58.8	70.0	74.4	85.7	58.8	70.2	81.7	74.2	73.4	82.7	79.2	80.9	81.8	86.1	71.9	
		27	西 の 台 小 学 校	80.5	54.1	74.2	75.3	65.1	77.5	74.2	82.5	65.1	77.9	84.2	74.5	78.8	84.2	80.4	85.2	85.3	85.6	69.2	
佐伯	佐伯市	28	佐 伯 東 小 学 校	79.6	53.2	72.5	70.3	60.3	80.5	72.5	77.6	60.3	82.1	85.8	77.5	80.1	86.7	82.2	87.3	88.8	87.7	69.5	
		29	八 幡 小 学 校	76.8	51.0	71.6	77.4	61.8	70.3	71.6	87.5	61.8	70.6	87.6	79.7	82.8	90.4	83.3	87.6	89.4	85.3	79.4	
		30	西 上 浦 小 学 校	81.6	58.3	78.3	66.5	71.3	79.5	78.3	71.3	71.3	81.0	84.8	84.4	79.2	88.8	82.9	82.6	88.0	93.3	81.3	
		31	下 堅 田 小 学 校	83.9	49.5	74.5	81.2	64.0	80.4	74.5	89.0	64.0	80.0	91.7	85.0	89.1	93.8	87.6	89.8	95.3	92.2	86.0	
		32	切 畑 小 学 校	77.0	53.5	73.6	73.3	60.4	75.2	73.6	81.3	60.4	75.4	85.3	74.5	76.9	84.5	83.3	83.3	90.0	84.0	76.0	
竹田	豊後大野市	33	清 川 小 学 校	81.7	47.1	78.4	74.1	64.0	75.6	78.4	80.9	64.0	76.5	83.6	73.2	77.4	84.7	79.0	85.1	78.8	81.4	72.8	
日田	日田市	34	朝 日 小 学 校	82.1	47.5	75.0	72.5	56.3	83.8	75.0	82.5	56.3	84.0	89.0	70.0	78.5	90.6	81.4	88.9	92.0	85.0	68.8	
		35	三 和 小 学 校	72.3	48.7	65.0	69.6	56.6	70.5	65.0	78.5	56.6	70.5	81.0	66.5	72.5	82.0	75.8	81.1	81.0	79.9	65.2	
私 立		36	明 星 小 学 校	83.1	62.6	79.6	82.2	68.4	81.2	79.6	88.8	68.4	81.4	93.0	79.4	85.7	93.0	88.2	92.6	91.0	92.2	80.4	
目標値				69.5	45.8	61.7	59.5	56.3	69.5	61.7	65.0	56.3	70.0	76.0	65.0	68.1	77.0	71.4	76.6	73.0	75.0	65.0	

②中学校第2学年

全教科の基礎・応用、観点・領域すべての項目における正答率が目標値に到達した中学校とその数値 [児童数が5人未満の公立学校及び、公表を希望しなかった国立、私立学校を除く]

教育事務所	市町村	番号	学校名	国 語										数 学								英 語											
				難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度				難易度別到達度		観点別到達度				領域別到達度			
				基 礎	応 用	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	解 言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項	基 礎	応 用	数 学 的 な 見 方 や 考 え 方	数 学 的 な 表 現 ・ 処 理	知 数 量 ・ 図 形 な ど に つ い て の 理 解	数 と 式	図 形	数 量 関 係	資 料 の 活 用	基 礎	応 用	表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	理 言 語 文 化 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	聞 く こ と	読 む こ と	書 く こ と			
中津	豊後高田市	1	高 田 中 学 校	85.0	69.6	85.0	83.3	69.4	87.8	85.0	88.1	69.4	87.8	84.7	76.1	79.6	81.5	84.3	85.8	76.6	79.0	83.9	86.1	68.8	66.4	87.7	83.0	92.1	85.1	65.9			
		2	河 内 中 学 校	85.8	65.8	87.5	85.0	65.0	89.2	87.5	90.0	65.0	89.2	76.5	66.1	69.4	71.5	77.4	77.9	68.6	67.9	75.0	81.9	56.3	63.8	81.1	73.0	91.0	71.9	66.7			
		3	田 染 中 学 校	93.8	77.3	86.4	91.7	81.8	97.1	86.4	93.6	81.8	97.0	83.9	82.8	83.0	81.8	85.4	84.2	83.1	84.4	77.3	89.2	75.6	83.0	86.6	89.1	89.1	86.1	82.8			
	宇佐市	4	北 部 中 学 校	79.5	61.7	82.9	78.4	60.5	82.3	82.9	83.0	60.5	82.3	72.2	64.5	67.8	67.3	73.2	72.5	69.8	67.4	60.1	78.1	54.5	59.6	77.7	71.6	87.4	70.0	61.1			
別府	国東市	5	国 見 中 学 校	83.9	65.7	82.5	86.6	68.7	84.1	82.5	90.9	68.7	83.8	75.7	71.3	76.2	68.6	80.1	72.3	83.9	73.3	67.1	81.6	57.1	63.6	80.5	76.0	85.7	76.5	64.3			
	日出町	6	日 出 中 学 校	81.3	57.0	79.7	76.3	60.5	85.4	79.7	80.5	60.5	85.6	74.3	67.2	69.6	67.0	78.2	73.0	74.3	69.9	70.0	77.8	53.7	59.4	77.0	72.0	82.8	73.2	59.0			
		7	大 神 中 学 校	79.8	56.7	80.1	75.0	63.2	80.8	80.1	79.6	63.2	80.7	75.0	66.0	70.6	70.4	75.8	71.0	83.5	70.3	59.8	83.7	58.8	64.8	82.8	77.8	88.8	78.7	64.6			
大分	大分市	8	上 野ヶ丘 中 学 校	82.1	60.4	81.0	79.1	64.5	84.5	81.0	82.9	64.5	84.5	76.1	65.7	68.0	72.0	75.8	74.0	75.6	70.5	70.1	81.0	59.0	64.0	80.1	76.8	86.9	74.9	65.6			
		9	竹 中 中 学 校	87.7	63.9	91.7	88.4	64.8	89.8	91.7	92.2	64.8	89.8	82.5	75.3	79.9	78.6	83.0	78.9	85.7	81.0	77.8	88.1	66.7	74.3	85.6	86.7	88.9	84.0	75.3			
		10	判 田 中 学 校	79.4	55.3	74.8	78.7	61.9	80.8	74.8	82.7	61.9	80.7	74.9	70.4	71.3	70.7	76.4	74.2	74.2	71.8	75.0	81.1	57.4	62.7	80.1	76.8	87.2	75.8	62.7			
		11	賀 来 中 学 校	81.3	55.0	78.9	79.2	60.8	83.4	78.9	83.1	60.8	83.5	74.5	67.6	69.2	70.9	74.4	74.0	74.3	69.0	68.2	77.6	59.1	62.4	78.0	70.7	85.1	73.6	60.1			
	臼杵市	12	豊 洋 中 学 校	82.0	67.2	89.8	86.4	63.9	82.4	89.8	91.3	63.9	81.8	76.9	64.2	64.5	73.6	77.3	72.4	70.5	76.3	87.5	86.8	74.6	80.1	85.4	84.4	91.9	81.1	80.6			
佐伯	佐伯市	13	佐 伯 南 中 学 校	84.6	60.4	81.7	80.7	63.4	88.6	81.7	85.4	63.4	88.9	79.4	70.9	72.4	75.3	80.1	78.3	77.6	74.6	75.0	82.9	67.2	72.7	82.0	77.9	88.4	77.8	71.9			
		14	東 雲 中 学 校	85.1	65.7	86.1	81.3	64.2	90.6	86.1	85.0	64.2	90.7	82.9	72.2	78.5	77.6	83.3	78.4	84.1	84.1	69.4	82.3	66.0	69.4	82.7	75.0	91.1	76.9	67.6			
竹田	竹田市	15	久 住 中 学 校	80.6	70.1	87.5	83.7	65.3	81.3	87.5	88.3	65.3	81.3	79.2	66.2	69.3	72.9	79.5	75.0	83.3	67.3	87.5	77.8	53.6	57.3	78.2	70.0	85.0	72.4	57.9			
		16	都 野 中 学 校	88.7	62.0	91.7	93.4	64.8	88.4	91.7	98.9	64.8	88.0	77.1	66.7	71.9	70.4	77.5	80.1	70.6	66.7	61.1	86.0	59.0	68.8	82.6	85.6	86.7	79.2	73.5			
日田	日田市	17	前 津 江 中 学 校	88.3	72.9	85.9	85.8	71.5	93.3	85.9	88.8	71.5	93.8	90.4	80.6	81.3	88.5	88.5	92.1	82.1	80.4	93.8	85.6	64.1	75.8	82.4	81.3	88.8	79.7	73.6			
	玖珠町	18	山 浦 中 学 校	83.3	75.0	92.5	89.1	75.6	79.2	92.5	92.0	75.6	78.3	91.5	77.8	77.5	90.8	88.3	88.4	85.7	91.4	80.0	90.4	65.0	78.8	84.5	94.0	92.0	81.9	81.1			
県 立 学 校			19	大 分 豊 府 中 学 校		91.6	71.8	90.4	87.9	76.9	93.3	90.4	91.1	76.9	93.2	92.5	88.8	87.7	91.7	92.1	92.0	89.7	93.9	85.3	95.4	85.7	89.7	93.9	95.6	95.5	92.9	90.9	
私 立 学 校			20	向 陽 中 学 校		94.7	77.2	91.7	92.5	82.1	96.6	91.7	94.0	82.1	96.6	94.8	90.5	89.1	97.4	92.1	94.4	90.5	98.6	81.0	96.4	88.8	94.0	94.3	97.1	95.5	94.5	94.0	
目標値						72.5	53.3	70.0	61.4	60.0	76.6	70.0	63.0	60.0	77.1	65.6	60.6	59.4	64.4	64.4	65.5	61.4	65.7	57.5	73.3	51.9	55.6	73.6	66.0	78.0	68.4	57.8	

4 指導の改善のポイント

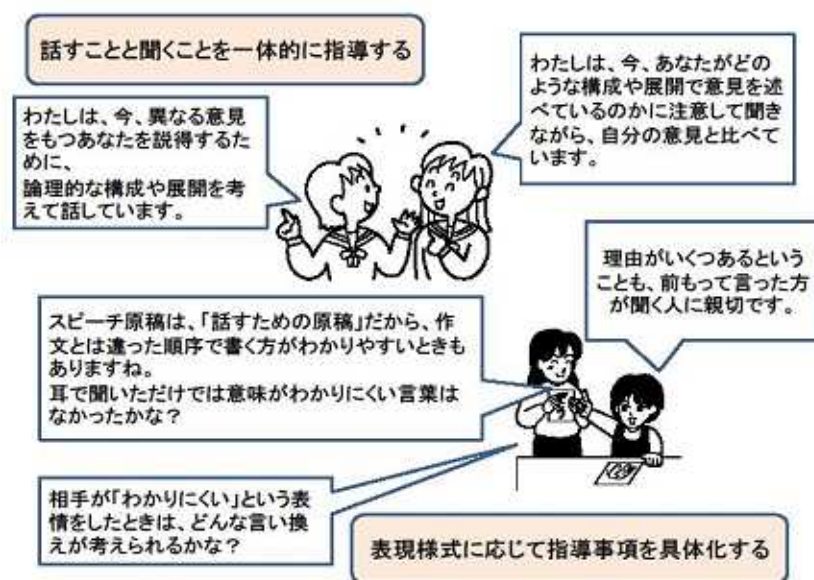
① 小学校・中学校 国語

1 求められる「話すこと・聞くこと」の指導の改善

基礎・基本の定着状況調査の小学校5学年の結果では、「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が全国値に比べ-2.3ポイント、達成率が-3.5ポイントである。具体的には、「話の中心に気をつけて聞く」ことはほとんどの児童ができているが、「話し合いの相違点や共通点を考えながら聞き、司会者の立場になって話す」ことの正答率は32.0%であり、全国と比べ-3.7ポイントである。

(1) 各学年の「話すこと・聞くことの指導事項」を確認する

国語科の授業では、どの学年においても「大きな声で速さや間に気をつけて話す」ことが話すことのめあてになっていることが少なくない。中学年では、「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと」や「互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら進行に沿って話し合うこと」が指導されなければならない。「学習指導要領解説の系統表」を手元に置いて、各学年で、指導事項を確実に指導しているのか、確認しながらすすめたい。



(2) 話すことと聞くことの指導を一体化する

例えば、小学校第1学年、第2学年の「聞くこと」の指導事項「大事なことを落とさないように聞くこと」は、「話すこと」の「話すことを順序立てて」と対応させ、「大事なことを落とさないように話の順序に気をつけて」聞き取らせる。

中学校第2学年で「論理的な構成や展開を考えて話すこと」を指導する単元では、同時に「話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと」を指導する。評価意識をもって聞くことが話す力の向上にもつながる。

(3) 指導事項を具体化して指導する・・・言語活動の実際に応じる

■話し合いの方法を教える学習と話し合いを用いて学習することの区別を！

次のような指導の段階をイメージし、どの段階を指導しているのか意識する。

- ①話す内容をもたせる
- ②練習や基礎訓練によって基礎技能に習熟させる
- ③話し合いや討論の方法を身に付けさせる
- ④話し合い・討論を用いて学習させる
- ⑤読み・書く学習力と関連させ、話し合える人を育てる

■一口にスピーチといっても

- ・話す時間や相手によって、話の組立てが変わってくる。
- ・話す相手によって、使用する語句や言葉遣いが変わってくる。
- ・場の大きさやマイクの使用の有無によって、適切な声の大きさや、高さ、間の取り方が変わってくる。
- ・目的によって言葉の抑揚や緩急の付け方、間の取り方が異なる。

等々、言語事項とも関連づけ、具体的に指導したい。

■「大きな声で、速さや間に気を付けて話す」はモデルで示して！

多くの教室で課題として設定されるが、具体的に指導が必要である。モデルとなる話し方を提示したり、口の開け方や発声の方法を体得する練習を行ったりする等、「指導」を工夫したい。高学年や中学生には古典の音読も有効である。



(4) 聞くことの指導の工夫

■児童生徒が「聞き浸るお話」を週1回でも継続的に行う。そのとき感想を書かせるのではなく、(感想はぼんやり聞いていても書けることが少なくない)聞いた話に題名を付ける、聞いた話の粗筋を書く、聞いた話の構成表を作る等、様々な目的をもって聞かせたい。

2 「読むこと」の指導の改善 ―小学校でも中学校でも大きな課題―

基礎・基本の定着状況調査の結果では、小中学校とも「読むこと」の領域の達成率が、全国値に比べ、-3.4ポイントであり、他の領域と比較して、全国値との差が大きい。文学的文章では「場面の様子や登場人物の気持ちを読み取ってまとめること（小学校）」や「場面の展開を押さえて読むこと（中学校）」、説明的文章では、「目的に応じて、内容をまとめながら読むこと（小学校）」「展開に即して内容をとらえ、要約すること（中学校）」に課題がある。

（1）文学的文章の指導・・・まず「本文を読ませる」

描写や叙述を通して情景や心情を理解することは、文学的文章を読む際の基本的な手続きである。児童生徒の一人ひとりに「本文」をしっかりと読ませることが文学作品を扱う授業でまず取り組むべき課題である。

■音読や朗読を取り入れて

- ①文体のリズムを味わわせる場合 → 音読を繰り返し、暗唱させる。作品によっては群読も。
 - ②音読や朗読を通して、心情や情景をとらえさせる場合
→ 指導者が手本を示したり、朗読用の台本を用意したりして、それをもとに、繰り返し読ませる。その後、読んで気づいたこと、考えたことを交流する。
 - ③どのように音読や朗読をしたいかを考えさせることで心情や情景を味わわせる場合
→ 朗読台本を児童生徒が作成する。作成自体に意味がある。
- ※②③とも詳細な読解の後に音読、朗読を取り入れるのではない。

■学習の手引きやワークシートを工夫して

- ①初発の感想を書かせるときに
 - ・「心が温かくなるところ」「どきどきするところ」「胸が締め付けられそうなところ」「うきうきするところ」等、視点をあらかじめ与え、視写させる。
 - ※「疑問に思うところ」「みんなと考えてみたいこと」等の視点で書かせた初発の感想は、その後の読みの課題にし、書かせっぱなしにしない。
- ②描写や叙述をとおして心情を理解させるためのワークシート
 - ・右のワークシートは教科書の学習の手引き等でもよく見られる。書かせる部分や量に考慮すれば、個に応じたものを容易に準備できる。
 - ・「叙述を基にして想像して読む」ことは、地の文や行動、会話などから関連的にとらえさせることが必要である。
 - ・「心情の移り変わり」は、細切れの部分ではとらえられないので、ある程度まとまった量の文章をまず、一人で読ませたい。

※指導者がいくつか示してもよいし、着目させたい部分は、書き出しや行を示して、書き抜かせることも、よく読ませることにつながる。	残雪の様子や行動
※心情がわかる言葉を書き抜く。場合によっては、つぶやきを想像して書かせる。	大造じいさんの心情

○大造じいさんの心情の移り変わりを読み取る。

■「読み」に目的をもたせて

学習指導要領に取り上げられている 「文学的文章を読む」ための言語活動例 ＜小学校＞

- ①楽しんで読む・想像して読む（小低）
 - ②物語を演じる（小低）③感想を書く（小低）
 - ④感想を述べ合う（小中）
 - ⑤伝記を読み、自分の生き方について考える（小高）
 - ⑥読んだ本について好きなところを紹介する（小低）
 - ⑦紹介したい本を取り上げて説明する（小中）
 - ⑧本の推薦の文章を書く（小高）
- ＜中学校＞
- ⑨音読・朗読（中1）
 - ⑩課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する（中1）
 - ⑪内容や表現の仕方について感想を交流する（中2）
 - ⑫批評する（中3）

読解をした後、言語活動例に取り上げられた活動を行うのではなく、言語活動をとおして、目的に応じた読解が行われるように単元を組織することが求められている。

- ・上に例示したようなワークシートは、目的に応じた読解の過程で、児童生徒に必要感をもたせて取り組ませるもので、ワークシートを完成させることが読みの目的にはならない。
- ・教科書教材だけでは対応しにくい活動がある。図書館を利用するなど、広く学習材を求める必要がある。同じ主人公や作家、詩人のシリーズを読むことで、作品の読みが深まることもある。
- ・同じテーマの作品を重ね読みすることで、主題をとらえさせたり、比べ読みをすることで作品の特徴に気付かせたりすることができる場合がある。

(2) 説明的文章の指導

学習指導要領に取り上げられている
「説明的文章を読む」ための言語活動例
＜小学校＞

- ①事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む（小低）
- ②感想を書く（小低）
- ③記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う（小中）
- ④必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む（小中）
- ⑤記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用する（小中）
- ⑥自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する（小高）
- ⑦編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと（小高）

＜中学校＞

- ⑧文章と図表などとの関連を考えながら説明や記録の文章を読む（中1）
- ⑨説明や評論などの文章を読み、内容の表現の仕方について自分の考えを述べる（中2）
- ⑩新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較する（中2）
- ⑪論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと（中3）

■「要約する力」を高めるために

・つまづきをとらえる

要約するには ア 内容を把握する力 イ 要点をつかむ力 ウ 要点を再構成する力 が必要となる。目の前の児童生徒がどこでつまづいているのかを見極めることが必要である。

・教科書教材を様々に要約させる

要点は、段落の初めに着目することや、「つまり」「ようするに」等の接続詞を手がかりに見つけることができること等は知識として身につけさせたい。

要約には ア 元の文章の構成や表現を短くまとめる要約と イ 自分の言葉で短くまとめる要約とがある。両方を経験させたい。

要約は条件を変えて様々に行いたい。同じ文章の要約でも目的によって元の文章のどの部分を取り上げるかが変わってくる。要約する目的や分量、時間等の条件を様々に変え、元の文章の構成や表現の生かし方などを考えさせ、要約する経験を重ねることが重要である。

・言語活動をとおして要約する力を高める

左に挙げた言語活動③を小学校第3、4学年に限らず、充実させることで、「要約する」活動を様々に経験させたい。読んだことをもとに、伝える相手を明確にしてパンフレットやリーフレットを作成したり、絵本等に編集したりする

活動は、知らず知らずのうちに目的をもった要約を行うことができる。学習材のレベルを発達段階に応じて選択すれば、学年を問わず行うことができる。

■情報収集力・情報活用能力を身につけさせたい

上の言語活動例④⑤⑥⑦⑧⑩⑪を見ると、言語活動例の多くが、下記のような情報収集力・情報活用能力の育成をねらっていることがわかる。要約する力もこれらの言語活動の中で活用され、活用をとおして向上するものである。

ア 必要な図書や資料を選択する力・・・必要な事柄があるかどうかを判断できる

（図書の検索・帯やあとがき等の活用・題名や目次、著者等から見当をつける）

イ 図書や資料から必要な情報を取り出す力・・・必要な部分を探して取り出せる

（目次や索引の活用・新聞の紙面構成等、資料の特性を知っている・読みながらアンダーラインや付箋をつける・読みながら書き抜く・読みながら小見出しをつける・文章構成を把握する）

ウ 必要な情報を保存する力（目的に応じたカード等を作成できる・簡潔にメモする）

エ 図や表、写真を読み取る力、図や表、写真の効果を読み取る力

オ 速読、文や文章全体を概観しながら拾い読みをする摘読、比べ読み等の技能

上のような力を育成するには、教科書教材を軸に、学校図書館を活用した授業を積極的に行うことが求められる。一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなど様々な読み方を学習活動に取り入れていくことが大切である。そのような活動の中で、児童生徒は目的をもって要約することや文章構成を把握することの必要性を自覚できる。



(3) 言葉の特徴やきまり・漢字に関する事項・・・単元の指導事項に位置づけるとともに家庭学習で定着を図る

・漢字の習得は、文字力の向上だけでなく、語彙の拡充にもつながる。家庭学習の柱の一つとして、位置付けたい。授業で学習した漢字は、作文や日記、他教科の記録、メモ等に使用することを学校全体で取り組むことが大切である。

・教科書巻末の「資料」や国語便覧等を授業や家庭学習に活用する。国語の知識を充実させたい。

・国語辞書だけでなく、漢字辞典の活用も習慣化する。漢字辞典活用の中で「漢字の成り立ち」や「漢語の組立て」に目を向けさせ、文字や語彙の拡充を図りたい。

② 小学校算数 ※具体的な問題については、著作権の関係上、類題または概要としている。

「数と計算」

○課題の見られた問題：整数÷整数の除法（割り進み）の筆算ができる。

6 ÷ 5 （わりきれぬまで計算して、商を小数で計算しましょう）

【6】(4) 類題：H22 年度全国学力・学習状況調査 A【1】(4)より】

・結果及び課題

実際の問題の正答率は 71.4 %であり、目標値より 8.6 ポイント、全国より 1.2 ポイント下回っている。誤答としては、「12」と小数点の付け方を誤ったものや、「1あまり1」「 $\frac{6}{5}$ 」など、問題文をよく読んでいないものがあった。

・指導改善のポイント

6を0.1が60とみて、商を小数で求めることが大切である。指導に当たっては、単位の考えを基にして計算できることに児童が気づけるようにして、形式的な取扱いに偏ることのないよう配慮する必要がある。

○課題の見られた問題：四捨五入し130になる整数の範囲を理解している

四捨五入して十の位までのがい数にしたとき、130になる整数のはんいを求めましょう。

【7】(2) 概要】

・結果及び課題

実際の問題の正答率は 49.3 %であり、目標値より 10.7 ポイント、全国より1ポイント下回っている。「265以上275以下」と解答した児童が約30%あり、数を四捨五入して概数で表す求め方や、以下、未満などの用語について理解ができていないことが課題である。（昨年度は、同様の問題を「○から○まで」の標記で示していたが、この場合は正答率は75.6%だった。）

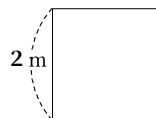
・指導改善のポイント

概数になるもとの数の範囲を数直線上に表したりする活動を取り入れることが考えられる。また、概数の学習後も、数を概数で表す機会を設けて、繰り返し指導し技能の定着を図ることが大切である。

「量と測定」

○課題の見られた問題：必要な長さを読み取って、正方形の面積を求めることができる。

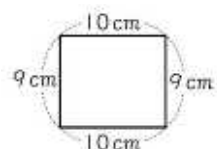
右の正方形の面積は何 m^2 ですか。



【12】 類題】

・結果及び課題

実際の問題の正答率は 76.9 %であり目標値よりやや上回っていたが、全国値より 1.5 ポイント下回っている。昨年度出題した、右の図のような、長方形の面積を求める問題の正答率は 76.5 %であり、今回とほぼ同様の結果であった。正方形や長方形の面積の求め方を理解し、必要な情報を選択することが課題である。



・指導改善のポイント

長方形や正方形の面積は、単位となる 1 cm^2 の正方形のいくつ分ということをも十分指導した上で、公式の意味を理解させることや、公式と具体的な図の併用で、図形の周の長さとの混同を防いだりすることが大切である。

「図形」

○課題の見られた問題：ひし形の定義や特徴を理解している。

4つの辺の長さがみな等しい四角形は何ですか。

【17 概要】

・結果及び課題

正答率は 66.2 % であり、目標値より 3.8 ポイント、全国より 1.7 ポイント低かった。約 23 % の児童が、「平行四辺形」と解答する等、四角形の定義や性質を理解することが課題である。

・指導改善のポイント

実際に幾つかの図形を作り、それらを比較して共通点を見付けるなどして、図形の特徴を見いだす活動や、学習した定義や性質をもつ図形を作ったり身の回りから探したりする活動を取り入れることが考えられる。また、平行四辺形やひし形などを学習した後に、図形の名称を用いて自分の考えなどを表現する機会を設けるなどして、用語の定着を図ることが大切である。

「数量関係」

○課題の見られた問題：分配法則について理解している。

$32 \times 9 + 8 \times 9$ を計算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

【19(2) 類題：フォローアップシートから】

・結果及び課題

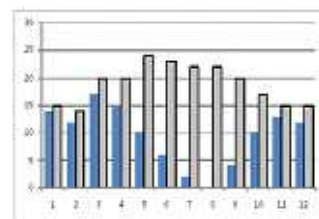
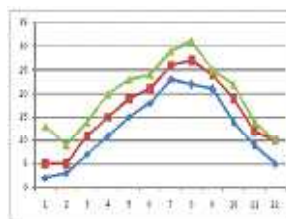
実際の問題の正答率は 56.1 % であり、目標値より 13.9 ポイント、全国より 1.4 ポイント低かった。約 15 % の児童が、「 $(32 + 9) \times 8$ 」と解答する等、分配法則の意味を理解することが課題である。

・指導改善のポイント

交換法則、結合法則、分配法則を活用して計算を簡単に行う工夫をしたり、乗法の筆算形式の中に分配法則を見つけたりするなど、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、必要に応じて活用できるような指導が大切である。

○課題の見られた問題：2種類のグラフを読み取ることができる。

3市の月ごとの気温を表した折れ線グラフと、ある場所の雪が降った日数と霧が出た日数を月ごとの表した棒グラフから、ある場所における両方の条件に合う月を求める。



【20(3) 概要】

・結果及び課題

正答率が 29.9 % と今回の調査問題の中で最も低かった。昨年度も、同種の問題を出題したが、ほぼ同様の結果であった。2種類のグラフから必要な情報を適切に選択し、判断することが課題である。

・指導改善のポイント

指導に当たっては、複数のグラフを示してその中から必要なグラフを選択したり、情報を読み取る活動を取り入れることが考えられる。その際に、目的を確認したり、何に着目してグラフを選べばよいかを確認したりすることが大切である。また、他教科の学習内容にも関連させながら、グラフや表を読んだり書いたりする活動を取り入れ、算数科の学習内容が関連していることを児童に実感できるようにすることが大切である。

③ 中学校数学 ※具体的な問題については、著作権の関係上、類題または概要としている。

「数と式」

○課題の見られた問題：前日の最高気温との差から、ある日の最高気温を求めることができる。

下の表は、ある週の月～木曜日までの最高気温を、前日の最高気温を基準にして、それより高い場合を正の数、低い場合を負の数で表したものです。この週の月曜の最高気温は22℃でした。この週の金曜日の最高気温は何℃でしたか

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
前日との差(℃)		+2	0	-1	+3

【 3 類題】

・結果及び課題

正答率は47.1%と、目標値より12.9ポイント、全国値より3.2ポイント下回っていた。事象における変化や状況を正の数、負の数で表す際の基準についての理解が課題である。

・指導改善のポイント

数直線や図などを用いて、実生活の場面で正の数と負の数を表しその位置関係や大小関係の理解を図るようにすることが大切である。類題の場合は、基準となる「22」を数直線上に取り、火曜日、水曜日・・・と気温の変化を確認することが考えられる。

○課題の見られた問題：分配法則を用いる文字式の計算ができる。

$P \frac{1}{2}(xP8)$ を計算しなさい。

【 5(3) 類題】

・結果及び課題

実際の問題の正答率は54.6%であり、目標値より15.4ポイント下回った。また、無回答だった生徒は11.6%と今回の調査問題では一番多かった。分配法則の()の前の数が負の数や分数においても正しく展開できることが課題である。

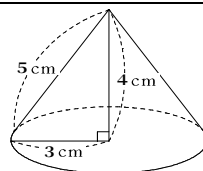
・指導改善のポイント

計算過程を振り返り、文字式の計算がどのようなきまりをもとになされているか理解できるようにすることが大切である。

「図形」

○課題の見られた問題：円錐の体積を求めることができる。

右の図の円錐の体積を求めなさい。



【 12 (3) 類題】

・結果及び課題

正答率が45.6%であり、目標値より4.4ポイント下回っている。誤答例としては「 $\frac{1}{3}$ をかけていない」解答が4割以上あり、また、高さでなく母線をかける等公式を正確に理解することが課題である。

・指導改善のポイント

錐体の体積が、底面が合同で高さが等しい柱体の体積の3分の1であることを、単に知識として覚えるのではなく、実感を伴って理解できるようにすることが大切である。指導に当たっては、円錐の容器に入った水を円柱の容器に移したり、逆に円柱の容器に入った水を円錐の容器に移したりする、双方向の操作を行うことを通して理解を深めることなどが考えられる。併せて、(柱体の体積) = (底面積) × (高さ)とまとめられることを理解できるようにすることも大切である。

「数量関係」(関数)

○課題の見られた問題：比例の式から、そのグラフをかくことができる。

$y=3x$ のグラフをかきなさい。

【9(3)類題】

・結果及び課題

実際の問題の正答率は 58.1 % であり、目標値より 11.9 ポイント下回っている。誤答の例として、「グラフが短い」「必要な 2 点を通っていない」等であった。数を負の数にまで拡張した範囲で、式を用いて比例の意味を理解することが課題である。

・指導改善のポイント

x の値や比例定数が負の数の場合も、「 y に対応する x の値でわった商が一定になる」ことや「 x の値を 2 倍、3 倍を、・・・にすると、それに対応する y の値も 2 倍、3 倍、・・・になる」ことなどを表と式、グラフを関連づけて確かめることが大切である。特にグラフについては、変域が負の数まで拡張された上で、原点を通る直線であることを理解し、比例定数 a の値によってどのようにグラフが変わるかということを理解させ、グラフのかきかたや読み方を指導することが大切である。

「資料の活用」

○課題の見られた問題：度数分布表から相対度数を求めることができる。

右の度数分布表は、ある中学校の生徒の握力の記録をまとめたものです。

(1) 右の度数分布表の階級の幅はいくらですか。

(2) また、この中学校で、握力が 40 kg 以上 45 kg 未満の生徒の相対度数はいくつですか。

握力の記録	
階級 (kg)	度数 (人)
以上 未満	
25 ～ 45	2
30 ～ 45	3
35 ～ 45	9
40 ～ 45	5
45 ～ 50	1
計	20

【16(2)類題：フォローアップシート（一部改）から】

・結果及び課題

正答率は(1)は 69.9 %、(2)は 57.8 % であり、ともに目標値を上回ったものの、相対度数についての正答率は 6 割を下回っている。度数分布表や相対度数の必要性和意味を理解することが課題である。

・指導改善のポイント

第 1 学年における「資料の活用」のポイントは、「コンピュータを用いたりするなどして表やグラフを整理する」ことと、「代表値や資料の散らばりに注目して資料の傾向を読み取る」ことである。そのため、階級を単に用語として教えるのではなく、資料の傾向を読み取るためにヒストグラムを作成し、コンピュータなどを用いて階級の幅を変えることにより、どの階級の幅が一番適しているかを決定するなどの操作を行うことが大切である。

また、この領域では、資料を整理した結果を用いて考えたり、判断したりすることの指導を重視する必要がある。

④ 中学校英語

「聞く力」

① 出題の概要

対話を聞き、その内容についての質問に合う絵を選ぶ（キーワードを聞き取る）問題と、質問に合う答えを選ぶ（会話の内容を聞き取る）問題である。

② 結果

- ・聞くことの正答率は全国正答率を 0.1 ポイント、絵を選ぶ問題は 0.4 ポイント上回っているが、会話内容を選ぶ問題は 0.3 ポイント下回っている。
- ・絵を選ぶ問題は 5 問中 3 問が全国正答率を下回っている。1(5) の Is it Friday today? — No. It's Thursday today. の対話でカレンダーをみて木曜日を選ぶ問題は 2.4 ポイント下回っている。
- ・2(4) 会話の内容で数をたずねる表現を聞き取る問題は全国正答率を 0.6 ポイント下回っている。
- ・3 会話の内容と表から、何の映画を見るかを判断する問題は、目標値を 25.1 ポイント、全国正答率を 0.3 ポイント下回っている。

③ 課題

- ・キーワード（時刻や曜日など）をしっかりと聞き取る力を高めること。
- ・会話の流れから、概要や場面を正しく理解すること。

④ 指導の改善のポイント

- * 自然な速さで読まれる英文において、語と語の連結による音の変化など、英語の音声的な特徴に習熟させる。
- * 具体的で分かりやすい場面や状況の設定に工夫をしながら、その場面や状況にふさわしい表現を示して、幅広い言語活動を行う。
- * 短い英文を聞いて理解するだけでなく、まとまりのある英語を聞いて、話し手が伝えたいことは何かを聞き取る活動を工夫する。

「読む力」

① 出題の概要

長文は、健二が、翌月彼の家にホームステイする予定の Jane からもらった Eメールの一部からの出題である。メールは、日本語が上手な Nancy と野球が上手な Bill の 2 人の友人の紹介と、姉妹の Cathy の日曜日の過ごし方について書かれている。会話文は、Mary と恵子、拓也の 3 人が Mary の誕生日の贈り物について話している。

② 結果

- ・読むことの正答率は全国正答率を 0.9 ポイント下回っている。また、小問も 10 問中 9 問が全国正答率を下回っている。長文は 1.1 ポイント、会話文は 0.9 ポイント下回っている。
- ・Jane の日曜日の行動を把握する長文の(4)は、目標値を 32.7 ポイント、全国正答率を 1.2 ポイント下回っている。
- ・会話文(3) 代名詞の内容を把握する問題は、目標値を 16.9 ポイント、全国正答率を 2.3 ポイント下回っているおり、正答を選んだ生徒は 33.1 % である。
- ・会話文(5) When is your birthday? にどう答えるか、英語で記述する問題は、正答率が 24.7 % であり、無回答が 22.7 % である。

③ 課題

- ・文の前後関係を読み取る力を高めること。
- ・正確な情報を読み取る力を高めること。
- ・英語の問いに対して英語で的確に答えること。

④ 課題の見られた問題

Hello, everyone. My name is Ann White. I'm from London. I'm fourteen. I have a brother in London. His name is Mike. ア He speaks Japanese well. He studies it at school. My uncle lives in Tokyo. I live with イ him now. I like tennis very much. ウ I play it with my friends on Saturday. I like music too. I can play the guitar.

(注) London ロンドン uncle おじ guitar ギター

(1) 英文中の下線部ア～ウがさしている内容を英語で書きなさい。

ア () イ Ann's () ウ ()

(2) 本文の内容に合うように、次の質問に英語で答えなさい。

[質問] What does Ann play with her friends on Saturday?

【類題：フォローアップシートから】

⑤ 指導の改善のポイント

- ※生徒の読解を促すために発問の仕方やワークシートの作成に工夫をして、英文の流れを確実におさえながら、正確に読み取る力を身に付けさせる。
- ※手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたり、また設問の仕方に工夫をするなど、正確な読み取りになるための配慮をする。

「書く力」

① 出題の概要

条件英作文は、場面や状況に合った適切な表現を英文で書く問題である。自由英作文は、自分の学校生活を含めて、自己紹介する文を書く問題である。

② 結 果

- ・書くことの正答率は、全国正答率を 0.8 ポイント下回っており、特に条件英作文は、目標値を 16.7 ポイント、全国正答率を 4.5 ポイント下回っている。
- ・単語の並べかえによる英作文では、4 問中 3 問が全国正答率を上回っているが、条件英作文、自由英作文では、5 問中 4 問で全国正答率を下回っている。特に 8(2) Why don't you go there with me? に続けて相手を昼食に誘う英作文では、目標値を 32.4 ポイント、全国正答率を 8.6 ポイント下回り、大分県の正答率は 10.6 % である。

③ 課 題

- ・文構造や語法の理解を十分して、正しく文を書くこと。
- ・指示された日本語の内容を英語で表現できること。
- ・人称代名詞を用いた文を正しく書くこと。

④ 課題の見られた問題

[1] 次のような場合、英語でどのように言いますか。3 語以上の 1 文で書きなさい。

(1) 相手に、ここで日本語を話してはいけません、と伝える場合。

(2) 相手に、今テレビを見てはいけません、と伝える場合。

[2] 次の文を「～してはいけません」という文に書きかえなさい。

Use this desk.

【類題：フォローアップシートから】

⑤ 指導の改善のポイント

- ※基本的な単語や文法については、書く機会を充分確保し、具体的な場面や文脈の中で活用することで一層の定着を図る。
- ※英語の正確さとともに、話題の一貫性や論理性にも配慮しながら、自分の考えを明確にもたせ、英語で表現させる活動を工夫する。

言語や文化についての知識・理解

① 結 果

- ・正答率は全国正答率を 0.5 ポイント上回っている。文法・慣用表現の知識・理解については全国正答率を 0.4 ポイント下回っている。
- ・6 (5) 対話の中で依頼の表現を選ぶ問題の正答率は 64.7 % で目標値を 14.7 ポイント下回っている。
- ・7(1) 所有格の用いた文を理解し正しい語順で書く問題及び 7(4) 否定の命令文を理解し正しい語順で書く問題は、正答率がそれぞれ 46.4 %、48.3 % であり、いずれも目標値を 10 ポイント以上下回っている。

② 課 題

- ・日常生活でよく用いられる慣用表現が身につけること。
- ・命令文や勧誘する文の基本的な特徴とその対応の仕方の違いを理解すること。

③ 指導のポイント

- ※語彙や慣用表現の選択に当たっては、よく用いられるものを取り上げるとともに、言語活動を通して定着を図るようにする。
- ※命令文等は授業中に教師が指示したり促したりする際に使用する文構造であることから、頻繁に使用することで慣れさせるようにする。

5 まとめ

○ 習熟の程度に応じた指導の充実を

県全体における教科別偏差値平均については、中学校数学、中学校英語が全国平均を上回り、その他の教科はほぼ全国平均と同じである。教科別偏差値の5段階分布は、実施教科のすべてにおいて4の段階の割合が標準分布を上回っている。しかし、すべての教科において、1の段階の割合で標準分布を2～3%上回るとともに、5の段階の割合は標準分布を下回る等の課題も見られる。

各学校においては、調査結果の分析を通して自校の成果と課題を明確にし、「学力向上プラン」を改善するなど、児童生徒一人ひとりの習熟の程度に応じた指導内容を工夫するとともに、学習内容の確実な定着を図る必要がある。また、本年度から実施しているステップアップ事業をさらに充実させていくことも、一つの方策と考える。

○ 「学力向上推進計画」の実行、徹底を

偏差値平均が、小・中学校とも、すべての教科において全国平均（偏差値50）を上回った郡市は、豊後高田市、日田市であった。地域間による偏差値の差異は、6.9（小学校算数）～9.6（中学校英語）であり、また、教科全体の達成率の差異は、27.7%（小学校算数）～41.6%（中学校英語）である等、地域間の差異が認められ、その差は中学校の方が大きい。

各市町村教育委員会においては、すでに、策定・公表を行っている「学力向上推進計画」に基づいて、今後とも、地域総ぐるみによる学力向上の取組を充実、強化、徹底する必要がある。学校においては、児童生徒が習得していないところをそのままにしておかずに、子どもがどこでつまづいているのかを的確に把握し、補充指導を充実させていく必要がある。

○ 目標到達校の成果の共有を

全教科の観点及び領域等すべての項目における正答率が目標値に到達した学校については、小学校35校（昨年度29校）、中学校19校（昨年度20校）であった。なお、この中には、公表を始めた平成17年度より、6年連続して目標到達校となった学校が小学校で1校、中学校で2校ある。

学力向上対策については、学力向上プランなどを見ると、取り組んでいる内容に学校間であまり大きな違いが見られなくなっている。しかし、目標到達校では、一つ一つの取り組みが生きてはたらし、結果に結びついているといえる。「徹底」した取組に学んだり、参考となる資料の提供を求めたり、授業を参観をさせてもらうなど、自校の学力向上に生かすことが必要である。

○ 小・中連携の充実を

年度(学年) 教科	偏差値	
	H19年度(小5)	H22年度(中2)
国語	49.5	→ 49.5
算数・数学	49.9	→ 50.4

小学校5年生時に受検した児童の、3年後の中学校2年時における偏差値の変化は、国語においては、49.5 と差がなかったが、算数・数学においては、0.5 ポイントと上がっている。

今後とも、小・中学校の連携を図るため、同一校区内の小・中学校による互見授業の実施や、それぞれの学力向上会議へ教職員の相互参加を行うなど、小・中学校の円滑な接続を充実させることが必要である。

Ⅲ 学習意識調査の結果

1 学校や生活についてのアンケート調査結果

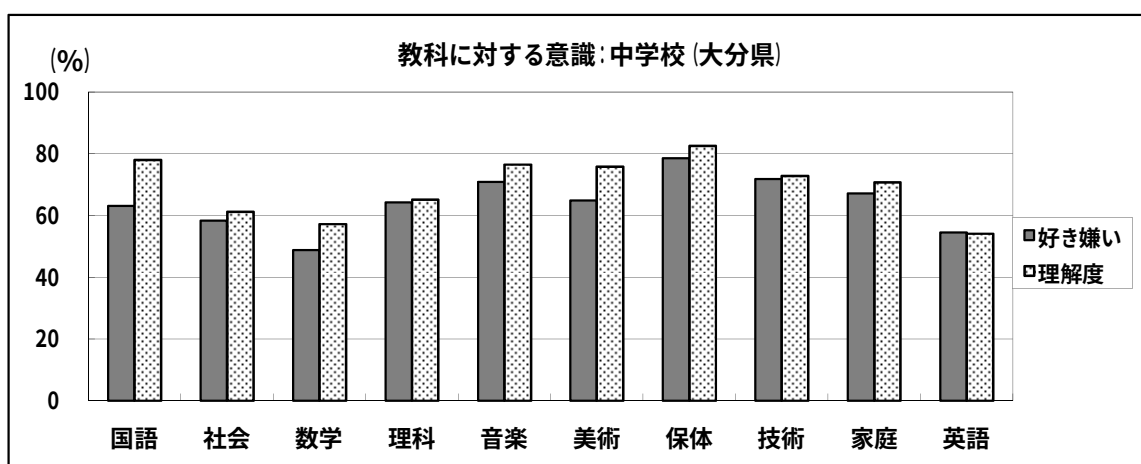
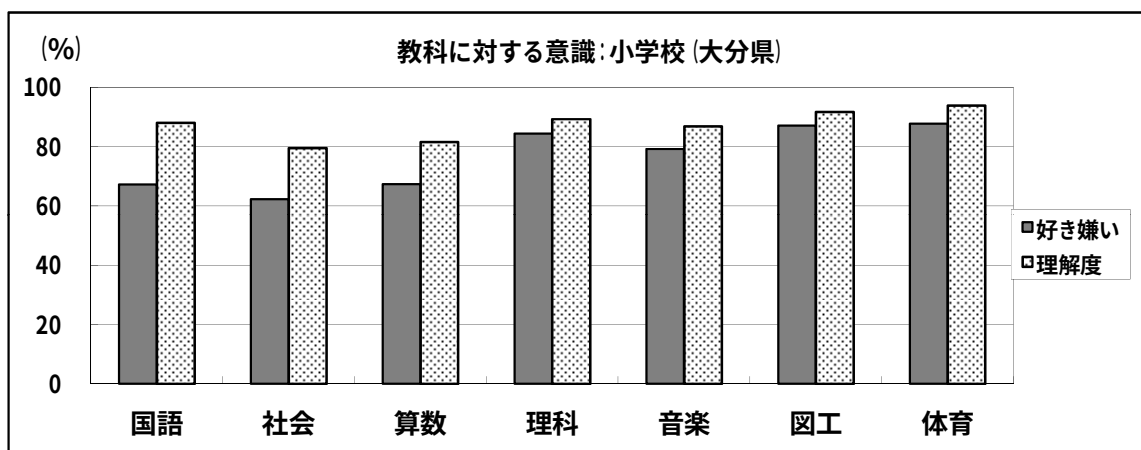
番	質 問 項 目	小学校5年生							中学校2年生						
		大分県			全国			国との 差 (合計)	大分県			全国			国との 差 (合計)
		とても あて はまる	まあ あて はまる	合計	とても あて はまる	まあ あて はまる	合計		とても あて はまる	まあ あて はまる	合計	とても あて はまる	まあ あて はまる	合計	
ふだんの生活について	1 朝食をきちんと食べている。	76.3	19.2	95.5	84.0	10.6	94.6	0.9	78.8	15.4	94.2	77.9	13.9	91.8	2.4
	2 夕食は、家の人といっしょに食べている。	80.1	15.5	95.6	79.6	14.4	94.0	1.6	68.5	24.5	93.0	67.4	22.7	90.1	2.9
	3 朝は、時刻を決めて起きている。	43.9	35.0	78.9	37.4	41.8	79.2	-0.3	43.3	39.4	82.7	39.5	44.1	83.6	-0.9
	4 朝は、自分で起きている。	27.3	34.3	61.6	28.7	34.0	62.7	-1.1	28.6	32.5	61.1	31.9	34.7	66.6	-5.5
	5 夜は、時刻を決めて寝ている。	29.8	34.5	64.3	23.4	34.9	58.3	6.0	11.7	30.9	42.6	11.1	26.7	37.8	4.8
	6 家の手伝い(ゴミ出しなど)をしている。	41.4	35.2	76.6	47.1	31.7	78.8	-2.2	23.5	39.1	62.6	29.2	37.0	66.2	-3.6
	7 家の人と決めた約束やきまりを守っている。	41.4	43.1	84.5	39.4	45.6	85.0	-0.5	24.7	52.9	77.6	26.6	52.0	78.6	-1.0
	8 学校での出来事を、家の人に話している。	51.1	30.4	81.5	46.2	36.3	82.5	-1.0	37.8	36.2	74.0	29.7	41.6	71.3	2.7
	9 学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている。	36.5	37.2	73.7	34.9	36.6	71.5	2.2	28.6	37.8	66.4	30.5	35.0	65.5	0.9
	10 テレビのニュースを見ている。	43.2	33.9	77.1	44.3	33.0	77.3	-0.2	36.9	40.7	77.6	36.9	40.4	77.3	0.3
	11 本(マンガや雑誌をふくまない)を読んでいる。	33.9	31.6	65.5	37.9	29.1	67.0	-1.5	31.5	31.3	62.8	34.1	29.5	63.6	-0.8
	12 新聞の記事を読んでいる。	13.6	21.1	34.7	15.7	25.8	41.5	-6.8	8.3	16.9	25.2	10.6	22.4	33.0	-7.8
	13 学校では、先生にあいさつをしている。	52.1	34.1	86.2	54.6	34.7	89.3	-3.1	49.6	39.2	88.8	50.8	38.3	89.1	-0.3
	14 学校のきまりを守っている。	50.2	40.9	91.1	38.2	50.5	88.7	2.4	42.0	47.6	89.6	40.8	50.6	91.4	-1.8
	15 困っている人の手助けをしている。	27.9	49.3	77.2	20.3	45.4	65.7	11.5	12.6	53.2	65.8	9.9	42.7	52.6	13.2
	16 地域の行事に参加している。	38.4	32.6	71.0	34.4	29.6	64.0	7.0	17.9	33.4	51.3	16.2	27.7	43.9	7.4
自分自身のことについて	17 学校が好きである。	47.2	33.8	81.0	38.6	41.1	79.7	1.3	33.8	43.4	77.2	30.0	49.1	79.1	-1.9
	18 自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う。	68.5	24.2	92.7	64.7	25.0	89.7	3.0	57.9	33.5	91.4	55.1	33.4	88.5	2.9
	19 自分のことが好きである。	32.1	39.3	71.4	27.8	35.8	63.6	7.8	10.4	37.6	48.0	8.5	31.8	40.3	7.7
	20 自分には、よいところがあると思う。	34.4	41.4	75.8	27.4	38.8	66.2	9.6	16.1	43.9	60.0	11.6	37.9	49.5	10.5
	21 自分は、先生から認められていると思う。	12.6	44.7	57.3	14.8	41.7	56.5	0.8	5.9	41.0	46.9	7.1	40.6	47.7	-0.8
	22 自分は、家の人から認められていると思う。	38.5	38.9	77.4	39.9	35.1	75.0	2.4	22.7	46.8	69.5	21.6	44.5	66.1	3.4
	23 自分は、友だちから認められていると思う。	26.0	47.5	73.5	16.4	43.5	59.9	13.6	14.7	53.7	68.4	8.7	47.3	56.0	12.4
	24 将来の夢や目標をもっている。	76.7	13.1	89.8	70.9	15.5	86.4	3.4	45.9	25.8	71.7	44.3	26.6	70.9	0.8
学習の様子について	25 勉強するときは、集中して勉強している。	36.2	44.9	81.1	35.3	39.6	74.9	6.2	18.6	46.2	64.8	22.7	42.8	65.5	-0.7
	26 筆記用具などを用意してから勉強している。	70.3	22.3	92.6	68.8	19.9	88.7	3.9	75.7	19.3	95.0	63.7	25.2	88.9	6.1
	27 家では、勉強する場所を決めている。	53.7	30.8	84.5	49.6	27.1	76.7	7.8	49.3	34.3	83.6	42.1	30.3	72.4	11.2
	28 話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている。	29.4	52.7	82.1	37.9	42.8	80.7	1.4	20.5	57.8	78.3	23.9	50.0	73.9	4.4
	29 話し合いで、自分の考えを積極的に話している。	21.6	34.1	55.7	19.4	30.6	50.0	5.7	11.7	29.6	41.3	11.1	26.6	37.7	3.6
	30 自分で勉強の計画を立てて、勉強している。	28.2	36.6	64.8	30.3	33.7	64.0	0.8	12.0	31.1	43.1	19.2	32.0	51.2	-8.1
	31 家の人から言われなくても、進んで勉強している。	35.1	38.5	73.6	33.0	37.3	70.3	3.3	21.2	38.2	59.4	18.0	33.1	51.1	8.3
	32 勉強に辞書(電子辞書をふくむ)を利用している。	27.6	28.4	56.0	25.5	27.5	53.0	3.0	17.6	25.9	43.5	17.1	25.2	42.3	1.2
	33 勉強にパソコン(インターネットをふくむ)を利用している。	14.9	16.4	31.3	12.1	12.9	25.0	6.3	8.9	13.2	22.1	8.7	12.5	21.2	0.9
	34 物語などを主人公の気持ちを思いながら読んでいる。	33.0	35.6	68.6	37.5	34.6	72.1	-3.5	23.2	34.6	57.8	29.4	36.8	66.2	-8.4
	35 学習塾に行って、勉強している。	25.6	6.8	32.4	22.3	3.6	25.9	6.5	32.9	5.4	38.3	32.1	4.0	36.1	2.2

2 教科等についての意識調査結果

校種	小学校						中学校					
	好き嫌い			理解度			好き嫌い			理解度		
教科等	大分県	全国	差	大分県	全国	差	大分県	全国	差	大分県	全国	差
国語	67.3	60.7	6.6	88.1	84.2	3.9	63.1	59.7	3.4	78.0	74.9	3.1
社会	62.3	57.5	4.8	79.6	76.3	3.3	58.3	60.0	-1.7	61.2	64.3	-3.1
算数・数学	67.4	66.3	1.1	81.6	81.4	0.2	48.8	51.1	-2.3	57.2	61.8	-4.6
理科	84.5	80.5	4.0	89.4	86.3	3.1	64.2	62.8	1.4	65.1	65.4	-0.3
音楽	79.3	75.4	3.9	86.9	84.3	2.6	70.9	66.5	4.4	76.5	72.3	4.2
図画工作・美術	87.1	85.4	1.7	91.8	89.9	1.9	64.9	63.5	1.4	75.8	72.6	3.2
体育・保健体育	87.8	87.9	-0.1	93.9	92.5	1.4	78.5	74.5	4.0	82.5	79.0	3.5
技術							71.8	70.8	1.0	72.8	70.2	2.6
家庭							67.1	61.1	6.0	70.8	67.1	3.7
英語							54.5	55.9	-1.4	54.1	59.9	-5.8
総合的な学習の時間	79.6	76.8	2.8				67.3	67.0	0.3			
道徳	70.0	67.2	2.8				54.4	56.1	-1.7			
学級活動	81.0	80.3	0.7				74.4	72.7	1.7			

※ 数値は、肯定的な回答（好き嫌いでは「とても好き」＋「まあ好き」を、理解度では「よく分かって」＋「まあ分かっている」）をした児童生徒の割合（％）

※ 全国値は、平成20年度の再掲載。



○小学校においては、「好き嫌い」「理解度」ともに肯定的な回答をした児童の割合がほとんどの教科で全国を上回っている。

○社会、算数・数学においては、小学校では「好き嫌い」「理解度」ともに肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国を上回っているが、中学校ではともに全国を下回っている。

○中学校英語においては、「好き嫌い」「理解度」ともに、肯定的な回答をした生徒の割合は全国を下回っている。

3 読書習慣、学習時間、テレビをみる時間、ゲームをする時間に関する調査結果

(1) 読書習慣

		大分県	全国
読書習慣 (1ヶ月に読む本の平均冊数)	小学校	9.1	7.9
	中学校	3.8	3.7

※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

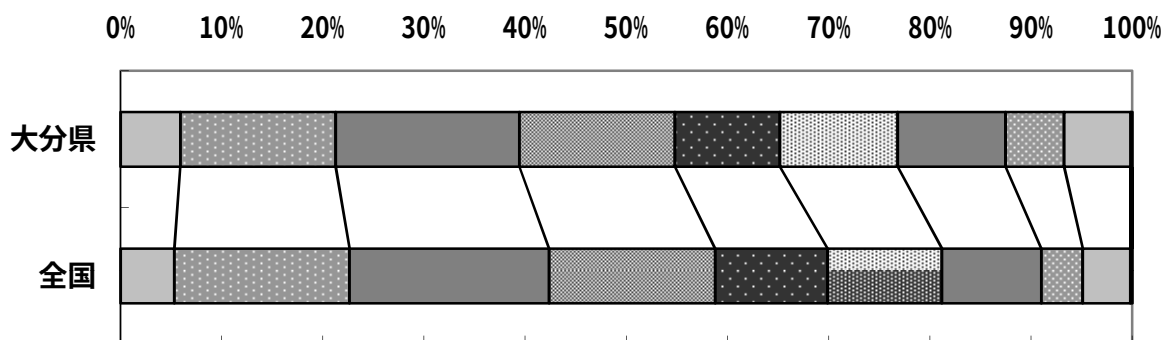
(%)

		0冊	1～2冊	3～4冊	5～6冊	7～8冊	9～10冊	11～20冊	21～30冊	31冊以上	その他・無回答
小学校	大分県	5.9	15.4	18.1	15.4	10.4	11.7	10.6	5.8	6.6	0.2
	全国	5.3	17.3	19.7	16.4	11.1	11.3	9.8	4.1	4.7	0.2
中学校	大分県	11.9	38.9	25.0	11.0	4.8	3.5	2.8	1.0	1.0	0.1
	全国	10.7	41.3	24.7	10.9	4.6	3.1	2.8	0.7	1.0	0.2

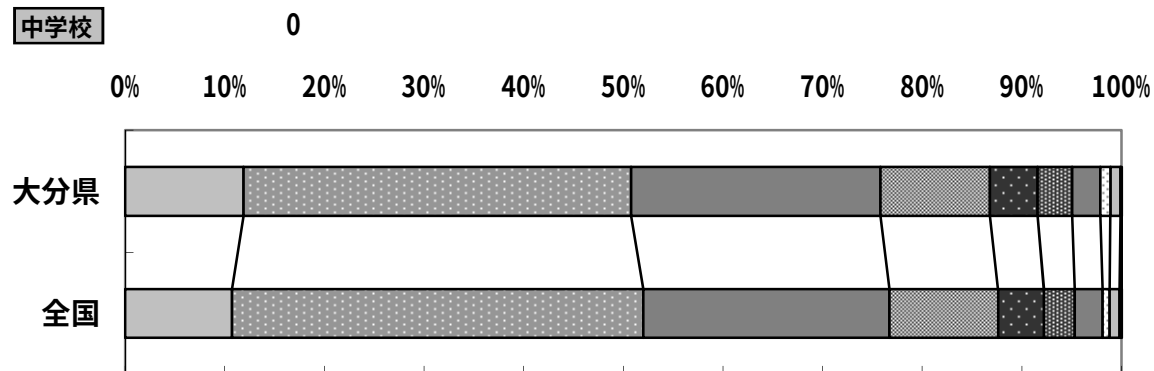
※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

1ヶ月に読む本の平均冊数

小学校



中学校



0冊	1～2冊	3～4冊	5～6冊	7～8冊
9～10冊	11～20冊	21～30冊	31冊以上	その他・無回答

○ 1ヶ月に読む本の平均冊数については、小学校は全国よりやや多い。

○ 1ヶ月に読む本の平均冊数が0～2冊と回答した児童生徒は、中学校では5割を超えており、小学校の約2.4倍となっている。

(2) 学習時間

		大分県	全国
平均学習時間(分) 平日	小学校	63.9	59.6
	中学校	89.8	75.7
平均学習時間(分) 休日	小学校	55.1	50.2
	中学校	97.6	77.2

※ 学習時間には、塾での学習や家庭教師の指導による学習の時間が含まれる。

※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

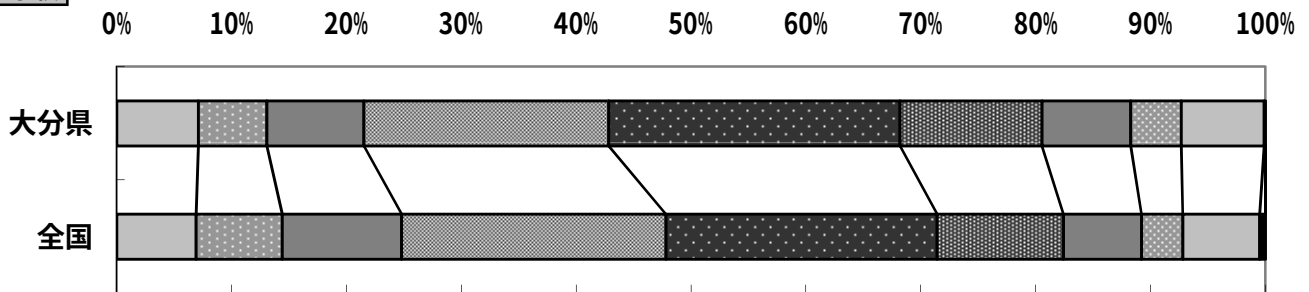
(%)

			ほとんど しない	10分くらい	20分くらい	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他・ 無回答
小学校	平日	大分県	7.1	6.0	8.4	21.3	25.4	12.4	7.7	4.4	7.2	0.1
		全国	6.9	7.5	10.4	23.0	23.6	11.0	6.8	3.6	6.7	0.5
	休日	大分県	12.0	7.6	10.3	21.8	22.0	10.9	6.9	3.1	5.4	0.1
		全国	12.3	9.5	12.2	22.4	20.9	9.4	5.8	2.7	4.4	0.5
中学校	平日	大分県	4.0	1.7	2.7	11.0	22.3	19.7	19.8	9.6	9.2	0.0
		全国	8.3	3.5	4.8	15.7	22.6	15.8	14.6	6.8	7.8	0.1
	休日	大分県	5.5	1.5	2.4	8.7	18.0	17.1	20.7	12.1	13.9	0.0
		全国	11.4	3.6	4.3	13.4	20.1	14.2	16.7	7.6	8.6	0.1

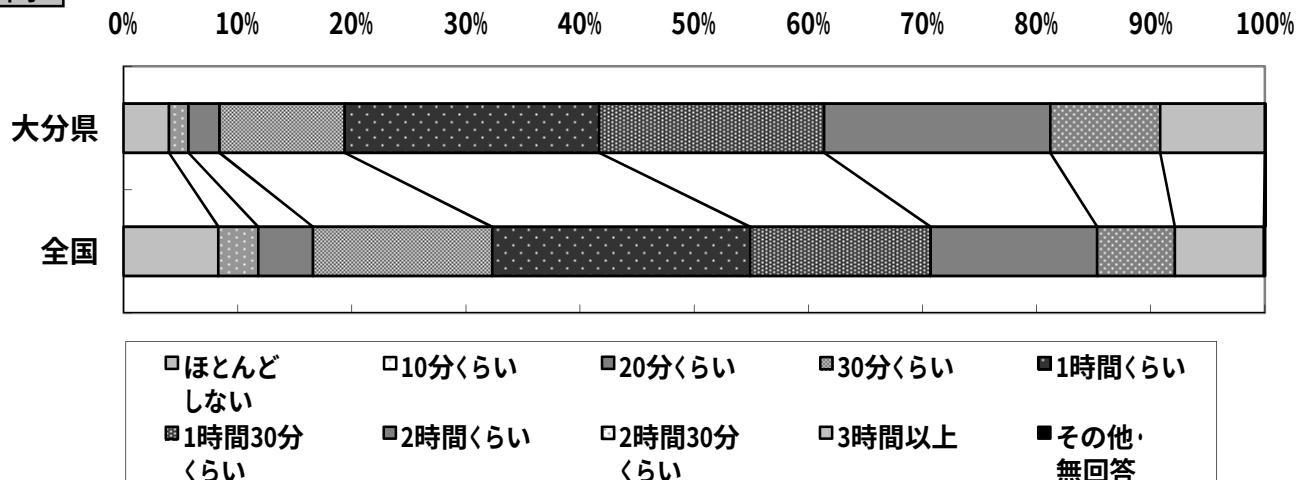
※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

平日の学習時間

小学校



中学



- 平均学習時間については、平日、休日ともに、小学校では全国とほぼ同じで、中学校では全国よりも平日で約14分、休日で約20分長くなっている。
- 平日1時間以上学習する児童生徒は、小学校で約57%、中学校は約81%であり全国より多い。

(3) テレビをみる時間

		大分県	全国
テレビをみる時間(分) 平日	小学校	102.5	101.2
	中学校	111.2	112.0
テレビをみる時間(分) 休日	小学校	118.9	115.6
	中学校	143.4	140.8

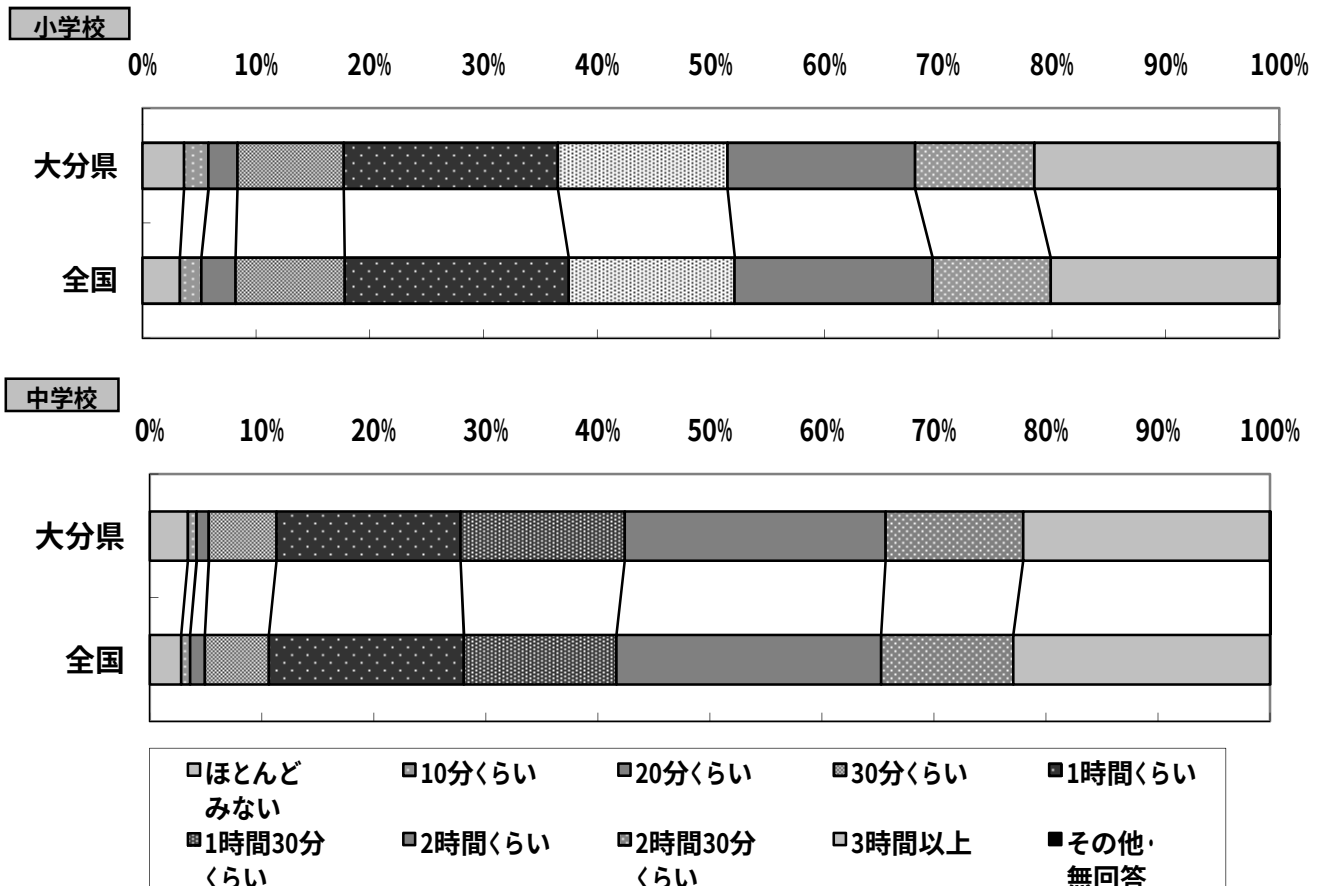
※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

(%)

			ほとんど みない	10分くらい	20分くらい	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他・ 無回答
小学校	平日	大分県	3.7	2.2	2.5	9.3	18.8	14.9	16.5	10.5	21.4	0.1
		全国	3.3	1.9	3.0	9.6	19.7	14.6	17.4	10.4	20.0	0.1
	休日	大分県	4.4	1.5	2.0	6.0	12.3	11.7	15.9	12.0	34.2	0.1
		全国	3.7	1.8	2.4	6.8	13.9	11.8	16.3	11.9	31.3	0.0
中学校	平日	大分県	3.4	0.8	1.1	6.0	16.4	14.6	23.3	12.3	22.0	0.0
		全国	2.8	0.8	1.3	5.7	17.4	13.6	23.6	11.8	22.9	0.0
	休日	大分県	2.0	0.5	0.6	1.8	6.4	6.3	18.8	13.1	50.5	0.1
		全国	1.9	0.5	0.7	2.2	7.5	6.8	19.7	11.9	48.8	0.0

※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

平日にテレビをみる時間



○テレビを見る時間は、平日、休日とも、小・中学校ともに、全国とほぼ同じである。

○2時間以上テレビをみる児童生徒は、平日において小学校で約49%、中学校で約57%、休日だと小学校で62%、中学校で82%である。

(4) ゲームをする時間

		大分県	全国
ゲームをする時間 (分) 平日	小学校	37.9	38.1
	中学校	27.8	31.4
ゲームをする時間 (分) 休日	小学校	57.0	54.3
	中学校	54.6	58.5

※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

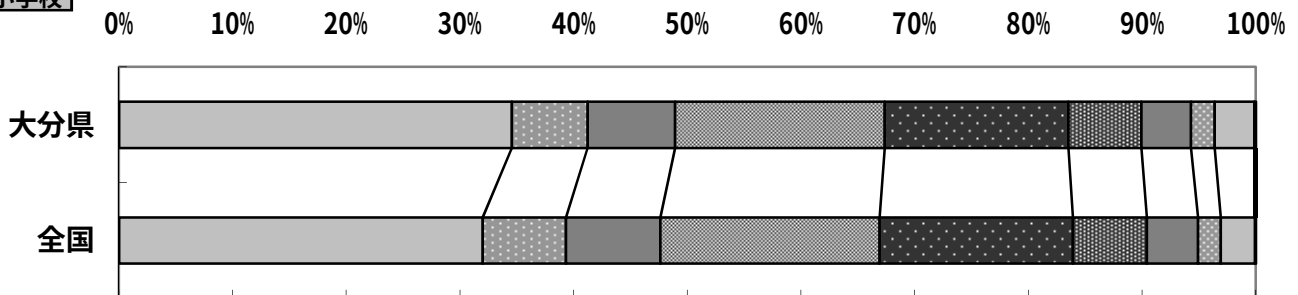
(%)

			ほとんど しない	10分くらい	20分くらい	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他・ 無回答
小学校	平日	大分県	34.5	6.7	7.7	18.4	16.2	6.4	4.4	2.1	3.5	0.1
		全国	32.0	7.3	8.3	19.3	17.0	6.5	4.5	2.0	3.0	0.1
	休日	大分県	23.1	6.3	6.5	16.1	18.4	9.0	7.8	3.6	9.1	0.2
		全国	22.8	7.2	7.2	16.8	18.3	8.8	7.8	3.5	7.5	0.1
中学校	平日	大分県	55.9	3.2	4.1	11.5	12.5	4.9	4.0	1.3	2.5	0.1
		全国	51.7	3.1	4.0	12.4	14.0	5.6	5.1	1.3	2.9	0.0
	休日	大分県	38.0	3.5	3.4	9.9	14.0	7.2	10.4	3.6	9.9	0.1
		全国	35.8	3.8	3.5	9.6	13.9	6.9	10.8	3.6	12.0	0.0

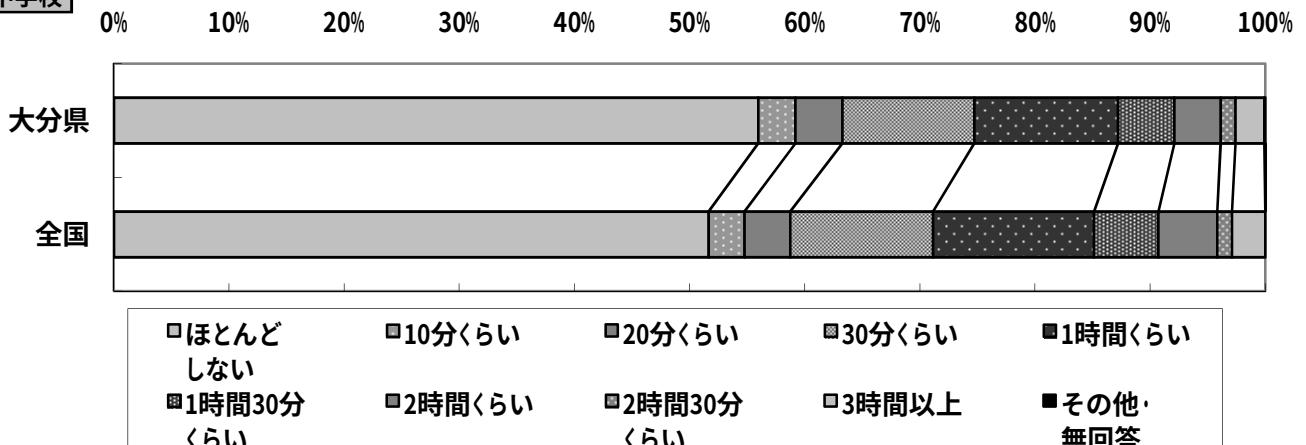
※ 全国値は、平成20年度の再掲載。

平日にゲームをする時間

小学校



中学校



○ゲームをする時間は、平日、休日とも、小・中学校ともに、全国とほぼ同じである。

○平日及び休日にゲームを「ほとんどしない」児童生徒は、全国に比べて、小・中学校ともに、やや多い。

4 まとめ

○「ふだんの生活」について

「時刻を決めて寝ている」(※1)という項目では、全国を上回っているものの「朝は自分で起きている」(※2)「朝は時刻を決めて起きている」(※3)という項目では、小・中ともに全国を下回っている。児童生徒に自らの生活リズムを確立させるための学校と家庭が連携した取組を一層充実させていくことが求められる。また、「本(漫画や雑誌を含まない)を読んでいる」(※4)「新聞の記事を読んでいる」(※5)という項目では、いずれも小・中学校ともに全国を下回っていることから、学校や家庭において、本や新聞などの文字に親しんでいけるように積極的に児童生徒に働きかけたり環境を整えたりする必要がある。

「困っている人の手助けをしている」(※6)の項目は、小・中とも全国より10ポイント以上上回っており、子どもたちに社会参画力が育ってきていることがうかがえる。今後も更に、社会科や道徳、総合的な学習の時間を中心とした教育活動の中で、積極的に社会とかかわることで、自分も社会の一員としての生き方について考えられる教育活動の一層の工夫が求められる。

○「自分自身のこと」について

「自分には、よいところがあると思う。」(※7)「自分は、友だちから認められていると思う。」(※8)という項目では、小・中学校ともに肯定的な回答が全国を大きく上回ってものの、「自分は先生から認められていると思う。」(※9)という項目では、全国とほぼ同じか、下回っている。子どもたちが「先生は、私のよさを分かってくれている。」「先生から認められている。」といったような安心感をもつことによって、学校生活を意欲的に過ごすことができ、特に、下位層の子どもたちに対しては、問題や課題を投げかけるだけでなく、一人ひとりのよさを認め、励まそうとする受容的な態度が望まれる。

○「学習の様子」について

「家の人から言われなくても進んで勉強している」(※10)という項目では、小・中学校ともに肯定的な回答が全国を上回っている。しかし、「自分で勉強の計画を立てて、勉強している」(※11)については、中学校で肯定的な回答が全国を下回っており、学校の宿題・課題に取り組むだけでなく、自分の課題や自ら進んで予習・復習を計画的に行う習慣を小学校より身につけさせていく必要がある。

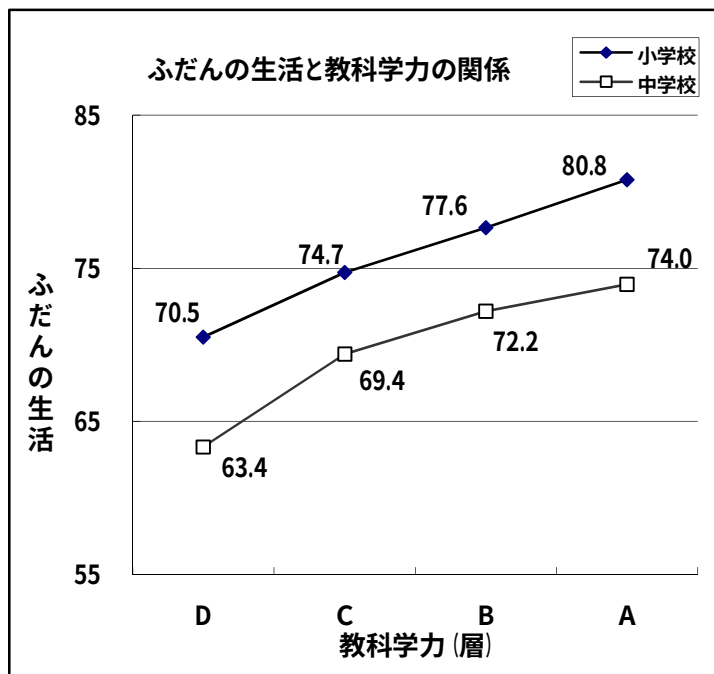
また、「物語などを主人公の気持ちを思いながら読んでいる」(※10)がいずれも小・中学校ともに全国を下回っている。読書活動はほとんどの学校において取り組んでいるが、単に読書に親しませることを目的にするのではなく、読書の視点や読書後の課題について児童生徒に働きかけたり、「読解力」を考慮した読書指導を行う必要がある。

(注) ※1～※12については資料P32を参照

IV 学習意識調査の結果と学習到達度調査の結果との関係

1 ふだんの生活と教科学力との関係

- 教科学力 (A層、B層、C層、D層) ごとに、「ふだんの生活」に関わる設問 (16問) において「はい」と回答をした児童生徒の割合を平均数値化し、右のグラフに表した。
「ふだんの生活」と教科学力とに次のような相関関係がみられた。
- 朝食に関して、特に中学校はA層とD層の差が昨年度は12.4ポイントだったが、今年度は、10.1ポイントとなった。朝食を食べる運動の成果が少しずつ出ていると考えられる。いずれにせよ、「朝食をきちんと食べている」児童・生徒のほうが、教科学力の高い傾向がみられる。
- 「時刻を決めて起きている」児童生徒のほうが、教科学力の高い傾向がみられるのは本年度も替わらない。小学校で13.6ポイント、中学校で10.6ポイントの差がある。
- 「家族で決めた約束や決まりを守っている」、「学校での出来事を家族と話している」、「出かける前に忘れ物がないか確認している」と答えた児童生徒のほうが教科学力の高い傾向がみられ、特に中学校においてその傾向が強い。
- 「テレビでニュースを見ている」「本を読んでいる」児童生徒のほうが、教科学力の高い傾向がみられる。



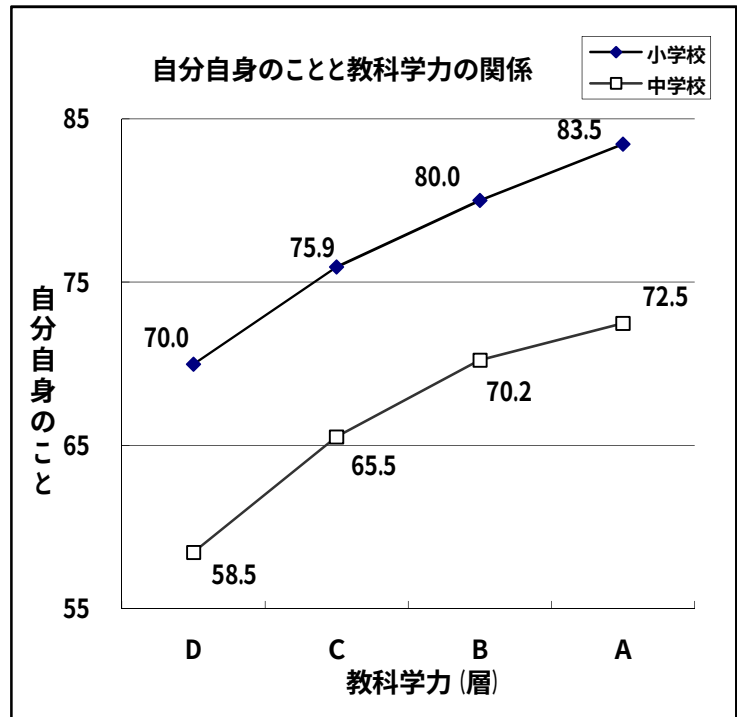
□教科学力 (層) は大分県 (小5、中2) の受検者全体を成績順に上位から4分の1ずつ4つに分け、それぞれをA層、B層、C層、D層としている。

◆ 「ふだんの生活について」の質問事項

問番号	内 容	小学校 「はい」と回答した児童の割合 (%)					中学校 「はい」と回答した生徒の割合 (%)				
		A層	B層	C層	D層	A層とD層の差	A層	B層	C層	D層	A層とD層の差
1(1)	朝食をきちんと食べている。	97.9	96.8	95.2	92.1	5.8	98.0	96.6	94.5	87.9	10.1
1(2)	夕食は、家の人といっしょに食べている。	97.4	96.4	95.4	93.2	4.2	94.6	93.9	93.5	90.1	4.5
1(3)	朝は、時こくを決めて起きている。	85.2	81.8	77.1	71.6	13.6	86.6	85.2	83.0	76.0	10.6
1(4)	朝は、自分で起きている。	64.1	62.0	61.7	58.4	5.7	61.1	61.0	60.7	61.5	-0.4
1(5)	夜は、時こくを決めて寝ている。	67.7	66.4	61.7	61.2	6.5	46.8	44.0	40.9	38.7	8.1
1(6)	家の手伝い (ゴミ出しなど) をしている。	80.9	78.1	75.3	71.7	9.2	64.0	64.8	62.5	59.4	4.6
1(7)	家の人と決めた約束やきまりを守っている。	88.1	87.0	84.4	78.6	9.5	84.6	82.4	75.8	67.5	17.1
1(8)	学校での出来事を、家の人に話している。	87.4	84.3	80.2	74.1	13.3	81.1	77.8	74.2	63.4	17.7
1(9)	学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている。	80.6	76.3	71.9	65.6	15.0	74.2	69.0	65.6	56.7	17.5
1(10)	テレビのニュースを見ている。	82.9	76.9	76.1	72.3	10.6	81.5	79.8	77.3	71.7	9.8
1(11)	本 (マンガやざっしをふくまない) を読んでいる。	76.6	66.9	61.0	57.2	19.4	71.2	65.1	61.4	53.4	17.8
1(12)	新聞の記事を読んでいる。	40.1	34.1	31.8	32.7	7.4	30.8	26.2	23.5	20.2	10.6
1(13)	学校では、先生にあいさつをしている。	89.6	88.4	85.4	81.4	8.2	91.9	92.4	89.0	82.3	9.6
1(14)	学校のきまりを守っている。	94.8	92.5	91.2	85.6	9.2	94.5	93.9	89.6	80.6	13.9
1(15)	こまっている人の手助けをしている。	81.6	79.5	76.1	71.4	10.2	68.2	69.7	67.3	58.0	10.2
1(16)	地いきの行事に参加している。	77.5	74.8	70.9	60.9	16.6	54.1	53.2	51.6	46.2	7.9
各項目の平均		80.8	77.6	74.7	70.5	10.3	74.0	72.2	69.4	63.4	10.6

2 自分自身のことと教科学力との関係

- 教科学力(A層、B層、C層、D層)ごとに、「自分自身のこと」に関わる設問(8問)において「はい」と回答した児童生徒の割合を平均数値化し、右のグラフに表した。「自分自信のこと」と教科学力とに次のような相関関係がみられた。
- 全設問において、「自分自身のこと」を肯定的にとらえていると、「教科学力」の成績がよい傾向にある。
- 「学校が好きだ」「将来の夢や目標をもっている」と答えている児童生徒は比較的多く、H21の調査との差も少ない。
- 「自分の力をできるかぎりのばしりたいと思う」と答えた児童生徒はA層とD層に約10ポイントの差があるものの全体で約9割以上の児童生徒がその願いをしている。
- H21の設問に、「自分がまわりの人(家族や友だち)から認められている」があり、A層とD層のポイント差は、小学校15.8、中学校18.1であった。H22は、これを設問1(21～23)で、「先生・家の人・友だち」に分けて調査した。結果から見るとA層とD層のポイント差が「先生」で最も大きく小学校で23.1中学校で25.1である。
- H21の「自分にはよいところがあると思う」に加えて、H22は、「自分のことが好きである」という設問内容を入れた。A層とD層のポイント差は約10である。また、中学校では、小学校と比べ、両設問とも約15ポイント前後低くなっている。



□教科学力(層)は大分県(小5、中2)の受検者全体を成績順に上位から4分の1ずつ4つに分け、それぞれをA層、B層、C層、D層としている。

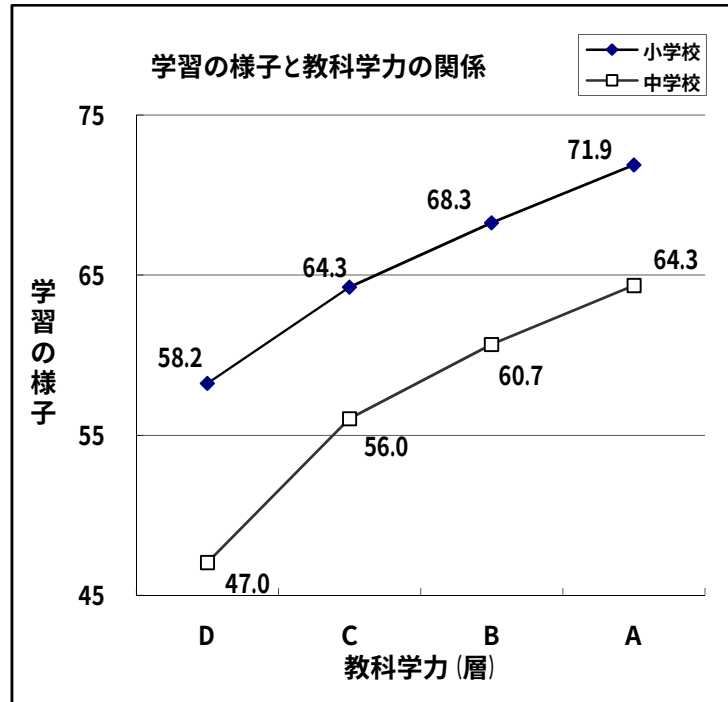
◆「自分自身のことについて」の質問事項

問番号	内 容	小学校					中学校				
		「はい」と回答した児童の割合(%)					「はい」と回答した生徒の割合(%)				
		A層	B層	C層	D層	A層とD層の差	A層	B層	C層	D層	A層とD層の差
1(17)	学校が好きである。	88.4	84.9	79.1	71.6	16.8	82.8	81.8	77.7	66.7	16.1
1(18)	自分の力をできるかぎりのばしりたいと思う。	96.6	95.1	92.8	86.3	10.3	95.4	94.9	90.8	84.4	11.0
1(19)	自分のことが好きである。	77.0	73.2	70.0	65.4	11.6	53.1	51.5	45.9	41.5	11.6
1(20)	自分には、よいところがあると思う。	81.6	78.4	74.4	68.4	13.2	66.3	63.3	58.0	52.5	13.8
1(21)	自分は、先生からみとめられていると思う。	68.9	60.9	53.5	45.8	23.1	58.6	51.9	43.6	33.5	25.1
1(22)	自分は、家の人からみとめられていると思う。	83.7	80.3	76.2	69.1	14.6	77.7	73.2	68.4	59.0	18.7
1(23)	自分は、友だちからみとめられていると思う。	80.0	76.1	71.4	66.3	13.7	73.1	72.6	68.3	59.8	13.3
1(24)	将来の夢や目標をもっている。	91.4	91.1	90.0	86.8	4.6	72.8	72.6	71.5	70.2	2.6

各項目の平均	83.5	80.0	75.9	70.0	13.5	72.5	70.2	65.5	58.5	14.0
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

3 学習の様子と教科学力との関係

- 教科学力 (A層、B層、C層、D層) ごとに、「学習の様子」に関わる設問 (11問) において「はい」と回答した児童生徒の割合を平均数値化し、右のグラフに表した。
「学習の様子」と教科学力とに、次のような相関関係がみられた。
- 「話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている」、「話し合いで、自分の考えを積極的に話している」児童生徒の方が、教科学力が高い傾向がみられ、特に「話をしっかり聞き取っている」と回答した児童生徒の方が、その傾向が顕著である。
- 「自分で勉強の計画を立てて、勉強している」、「家の人から言われなくても進んで勉強している」児童生徒の方が、教科学力の高い傾向がみられ、特に中学校でその傾向が顕著である。
- 「勉強に辞書を利用している」、「物語などを主人公の気持ち思いながら読んで」児童生徒の方が、教科学力の高い傾向が顕著である。
- 「学習塾に行って勉強している」児童生徒のほうが、教科学力の高い傾向がみられ、特に中学校でその傾向が顕著である。



□教科学力 (層) は大分県 (小5、中2) の受検者全体を成績順に上位から4分の1ずつ4つに分け、それぞれをA層、B層、C層、D層としている。

◆ 「学習の様子について」の質問事項

問番号	内 容	小学校					中学校				
		「はい」と回答した児童の割合 (%)					「はい」と回答した生徒の割合 (%)				
		A層	B層	C層	D層	A層とD層の差	A層	B層	C層	D層	A層とD層の差
1(25)	勉強するときは、集中して勉強している。	87.2	83.8	81.2	72.1	15.1	73.8	69.4	63.0	52.9	20.9
1(26)	筆記用具などを用意してから勉強している。	96.1	94.9	93.0	86.2	9.9	97.0	97.6	96.1	89.5	7.5
1(27)	家では、勉強する場所を決めている。	87.1	85.7	84.5	80.2	6.9	85.1	86.5	83.9	78.8	6.3
1(28)	話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている。	90.1	85.7	80.4	72.4	17.7	86.2	83.5	78.0	65.5	20.7
1(29)	話し合いで、自分の考えを積極的に話している。	64.7	57.1	53.5	47.4	17.3	48.0	44.9	40.1	32.1	15.9
1(30)	自分で勉強の計画を立てて、勉強している。	71.5	69.3	62.7	55.4	16.1	52.7	46.7	41.1	32.0	20.7
1(31)	家の人から言われなくても、進んで勉強している。	80.4	76.2	72.8	64.9	15.5	71.0	64.4	57.0	45.2	25.8
1(32)	勉強に辞書 (電子辞書をふくむ) を利用している。	65.9	59.4	52.0	46.7	19.2	55.3	46.4	42.0	30.3	25.0
1(33)	勉強にパソコン (インターネットをふくむ) を利用している。	33.6	32.9	30.4	27.9	5.7	24.4	22.5	21.7	19.6	4.8
1(34)	物語などを主人公の気持ちを思いながら読んで	77.4	71.9	65.6	59.2	18.2	65.8	61.2	57.2	47.4	18.4
1(35)	学習塾に行って、勉強している。	36.8	34.0	30.7	28.2	8.6	48.5	44.4	36.4	24.1	24.4

各項目の平均	71.9	68.3	64.3	58.2	13.7	64.3	60.7	56.0	47.0	17.3
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

4 まとめ

○「ふだんの生活と教科学力との関係」について

調査結果から見ると、ふだんの生活は教科学力に大きく影響を与えていることは間違いない。中でも、早寝・早起き・朝ご飯といった、基本的な生活習慣を整えることや家族とのコミュニケーションを十分図ることにポイントがある。コミュニケーションをもとに家族のきまりをつくり、基本的な生活習慣を守ろうとする態度を身につけることをすすめたい。また、本や新聞やニュースを見るといった、文化的な習慣をつけることが大切であることもわかる。

これらのことは、昨年度も同様の傾向が出ており、少しずつ結果がよい方向に伸びているものもある。今後とも、家庭との連携を図り、指導の工夫をしていくことが必要である。

○「自分自身のことと教科学力との関係」について

「自分自身のこと」を肯定的にとらえていると、「教科学力」の成績がよい傾向にあるという、相関関係がみられた。

「自分の力をできるかぎりのばしたいと思う」と答えた児童生徒が、約9割以上おり、どの児童生徒もその願いをもっている。この願いを実現する上でも、各教科等の学習において、一人一人の児童生徒に「わかった」「できた」と実感させ、学ぶことの楽しさや充実感、達成感を味わわせることが必要である。課題に対する自分の考えを、述べたり、書いたり、意見交換するなどして考えを共有し合う機会を意図的に設定するなど、学習活動の充実がより一層求められる。

「自分は先生からみとめられていると思う」と答えたA層とD層のポイント差が最大であった。どの層の子どもに対しても「いつでも・どこでも・だれもが、よいところだと認めることのできる」その子のための評価指標を示し、励ます教師の姿勢やあたたかい眼差しも大切にしたい。

○「学習の様子と教科学力との関係」について

家庭学習においては、児童生徒の自主性・主体性が重要である。「自分で勉強の計画を立てる」「言われなくても、進んで勉強する」等、家庭と連携しながら、主体的に学習に取り組める家庭環境を整えていきたい。また、家庭学習で行き詰まったときの対処方法を、日頃から指導しておくことも重要である。「勉強に辞書を利用している」児童生徒の学力が高いのは、対処方法の一つとして辞書を活用することが習慣化できているからである。

各教科等の授業においては、まず「聞く」ことの指導を徹底したい。A層の児童生徒のうち、8割から9割が「相手の話をしっかり聞き取っている」と回答していることから、そのことは明らかである。教師は、ともすると児童生徒の発言を重視する傾向があるが、それ以前に「聞く」ことを徹底させていくことが重要である。

資 料

○用語の説明

正答率

設問について用いる場合は、その設問に正答した児童生徒の割合を、児童生徒個人について用いる場合は、その児童生徒が対象となる全設問に対して正答した割合を示している（集団の場合は平均値となる）。

なお、教科・領域・観点・問題の内容（中領域）の正答率は、対象設問中の正答数の割合を表している（集団の場合は平均値となる）。

また、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として計算している。

目標値

学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示している。

目標値は、プレテストなどの検証を通じて、実際の正答率と大きく乖離したものについては補正したうえで、決定している。なお、教科・領域・観点・問題の内容（中領域）ごとの目標値は、設問ごとに設定した目標値をもとに算出している。

偏差値

偏差値とは、学力検査などにおける母集団（ここでは全国）の中での個人・集団の相対的位置を、50を基準とした指数として表す指標である。したがって、得点が母集団の得点平均よりも高ければ偏差値は50を上回り、低ければ50を下回ることになる。

達成人数

その集団において、定めた目標値以上の正答率に達した児童生徒の人数を示している。

達成率

その集団において、定めた目標値以上の正答率に達した児童生徒の割合を示している。

○フォローアップシートについて

基礎・基本の定着状況調査における弱点克服のフォローアップシートは、大分県教育委員会のホームページよりダウンロードが可能である。

大分県教育委員会 > 学校教育 > 小・中学校教育 > 学力向上 > 基礎・基本の定着状況調査

URL: <http://kyouiku.oita-ed.jp/gimu/2010/08/post-10.html>

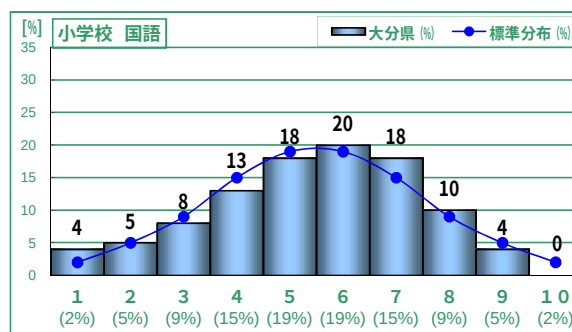
資料：教科別偏差値の10段階分布（市町村立学校のみ）

【小学校国語】

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大分県 (%)	4	5	8	13	18	20	18	10	4	0
標準分布 (%)	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

標準分布に近い状況である。

「7」の割合は標準分布に比べ3ポイント多いが、
「1」の割合は4%と標準分布より2ポイント多く、
「10」の割合は0%で標準分布より2ポイント少ない。

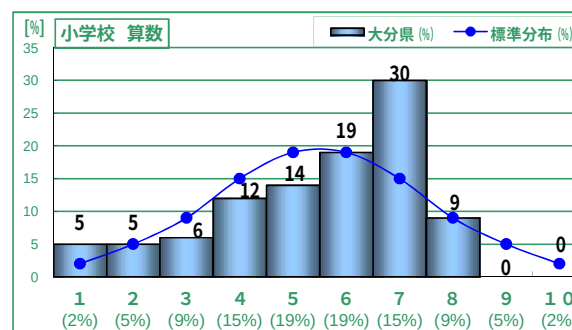


【小学校算数】

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大分県 (%)	5	5	6	12	14	19	30	9	0	0
標準分布 (%)	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

「3」～「5」の割合が合計32%と、標準分布に比べ合計11ポイント少なく、「7」「8」の割合は合計39%で標準分布より15ポイント多いことから、中位よりやや上の段階に多く分布している。

しかし、偏差値65以上の「9」「10」はともに0%で、また、偏差値30未満の割合は5%あり標準分布より2ポイント多い。

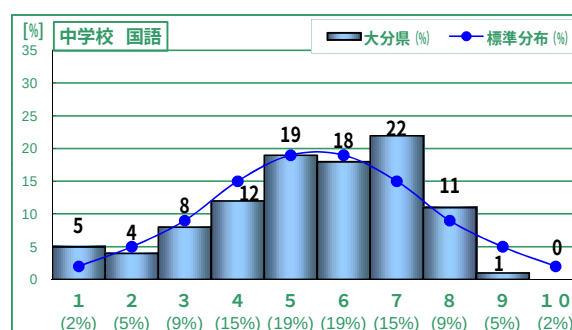


【中学校国語】

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大分県 (%)	5	4	8	12	19	18	22	11	1	0
標準分布 (%)	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

「3」～「4」の割合が合計20%と、標準分布に比べ合計4ポイント少なく、「7」「8」の割合は合計33%で標準分布より9ポイント多いことから、中位よりやや上の段階に多く分布している。

しかし、偏差値65以上の「9」「10」は合計1%しかなく、また、偏差値30未満の割合は5%あり標準分布より3ポイント多い。

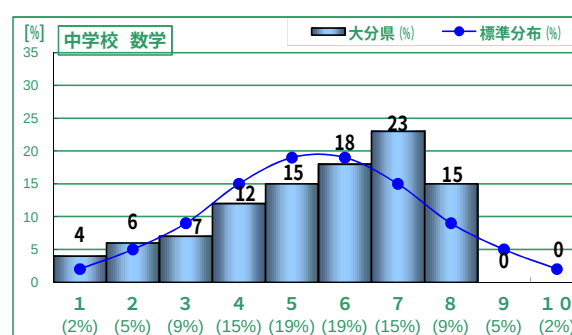


【中学校数学】

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大分県 (%)	4	6	7	12	15	18	23	15	0	0
標準分布 (%)	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

「3」～「5」の割合が合計34%と、標準分布に比べ合計9ポイント少なく、「7」「8」の割合は合計38%で標準分布より14ポイント多いことから、中位よりやや上の段階に多く分布している。

しかし、偏差値65以上の「9」「10」はともに0%で、また、偏差値30未満の割合は4%あり標準分布より2ポイント多い。

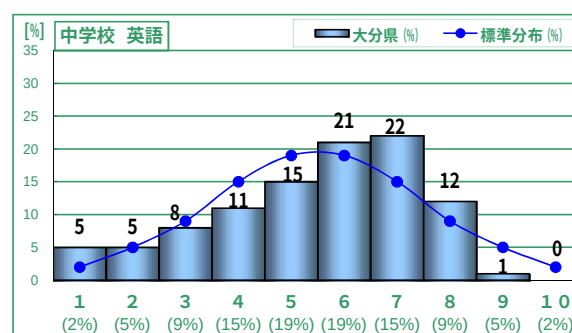


【中学校英語】

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大分県 (%)	5	5	8	11	15	21	22	12	1	0
標準分布 (%)	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

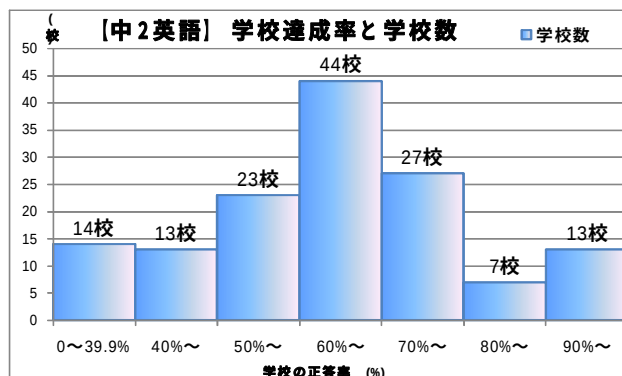
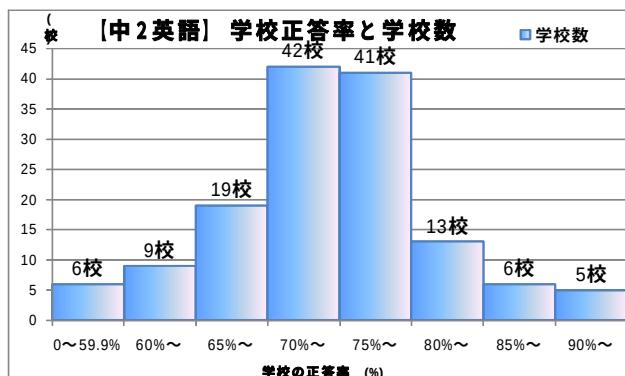
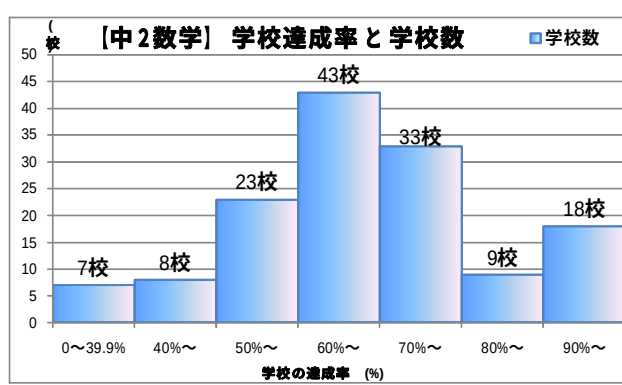
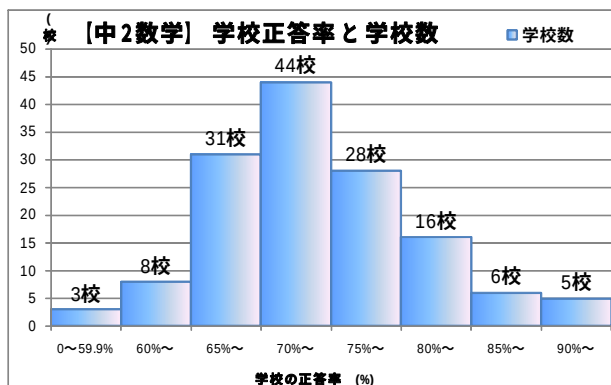
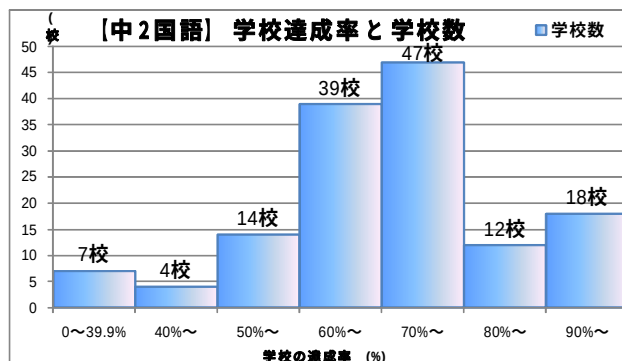
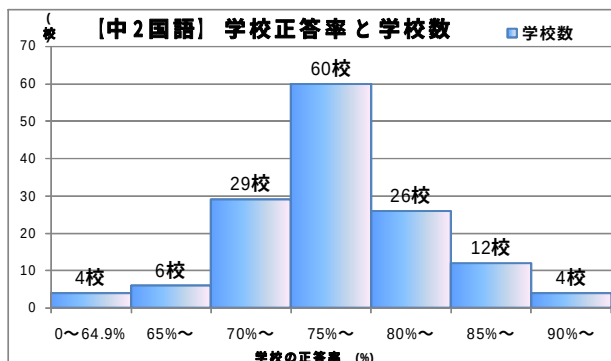
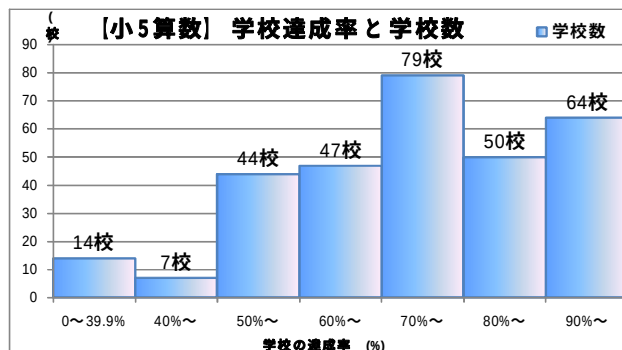
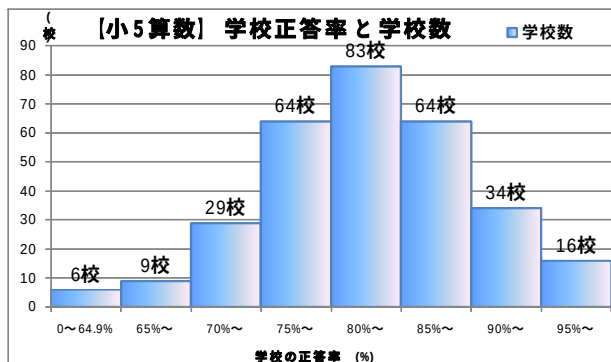
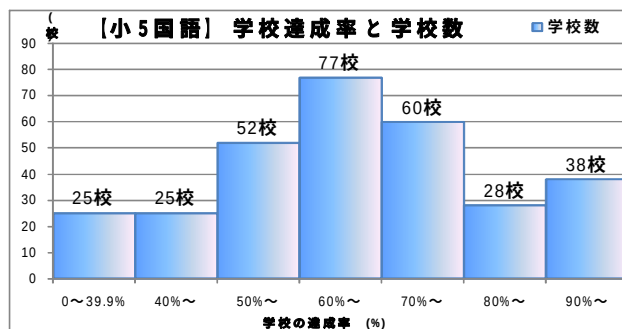
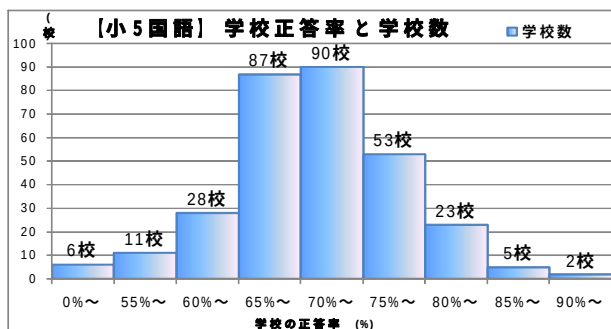
「3」～「5」の割合が合計34%と、標準分布に比べ合計9ポイント少なく、「7」「8」の割合は合計34%で標準分布より10ポイント多いことから、中位よりやや上の段階に多く分布している。

しかし、偏差値65以上の「9」「10」は合計1%しかなく、また、偏差値30未満の割合は5%あり標準分布より3ポイント多い。



「1」：偏差値30未満 「2」：偏差値30以上35未満 「3」：偏差値35以上40未満 「4」：偏差値40以上45未満 「5」：偏差値45以上50未満
「6」：偏差値50以上55未満 「7」：偏差値55以上60未満 「8」：偏差値60以上65未満 「9」：偏差値65以上70未満 「10」：偏差値70以上

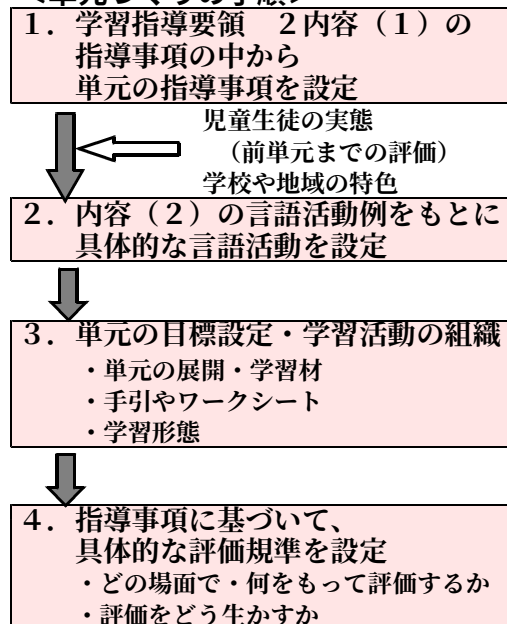
資料：学校正答率、学校達成率と学校数



資料：国語科における指導の改善

1 国語科における「1時間完結型」の授業とは
言語活動をととして国語の能力を高める授業を展開する場合は、単元構想力が今まで以上に求められる。下図は、一般的な単元づくりの手順を示したものである。

<単元づくりの手順>



このような手順で構想した単元の基本的な流れを右図に示した。太枠で示した部分が1時間の授業の流れを示している。

国語科の授業は、「3. 発信」に向けて組織される一連の学習活動のまとまりで単元が構成されることが多いので、内容のまとまりとしての1時間完結型の授業はイメージしにくい。

しかし、太枠の中に示したように、どの1時間においても、「導入・展開・まとめ」の場面は意識されなければならない。1時間ごとの学習課題に対応した「まとめ」は不可欠である。ただし、算数・数学のように、小テストで定着を評価できる場合は多くない。右図に例示したような観点で、本時の課題に対して自己の学びを振り返らせる等のまとめが考えられる。

その際、児童生徒が単元全体の学習の見通しをもっていることが大切である。そうでなければ、本時の学習活動の目的や意義を見失ったまま活動だけが進められることになり、本時の課題そのものが十分解決されないおそれがあるからだ。また、どのような観点で1時間を振り返らせるのか、課題に対応するように、指導者が示していくことも必要である。

なお、指導者にとって「1時間が完結する」とは、すべての児童生徒が本時に付けるべき力を身に付けたかのかを的確に見取り、課題が残れば、次の指導の手立てを明らかにすることである。

国語科の基本的な単元構成

1. 導入（単元の目標と学習内容がわかる）

- 単元の学習目標がわかる。
 - ・何をするのか・何のために・誰に向かって
 - ・どんな場面や条件で
- 課題解決へのアプローチの仕方がわかる。
 - ・どんな方法で
 - ・どんな手順で
 - ・一人で、グループで、学級全体ですること
 - ・どんなものを使って



2. 展開

導入 この時間の課題がわかる

- ・何をするのか、何を考えればよいのか。どこまでできればよいのか、何が分かればよいのか、どんな手順や方法ですればよいのかを提示。

展開 目的をもって読んだり、話したり聞いたり、話し合ったり、書いたり、練習したりする。

- ・自分なりの考えをもつことができる時間の保障と個別の支援。
→「学び合い」の充実

まとめ この時間の課題に対して自己の学びを振り返る。

- ・この時間に新しく知ったことや、覚えておくべきこと、考えたこと、工夫したこと、友だちから学んだこと、疑問として残ること、もっと調べたり考えたりしたいこと等を記録させる。
- ・次の時間までに練習・準備しておかなければならないことを一人一人に自覚させる。
- ・言語事項等、小テストが可能な場合は確認テストを実施し、評価。

3. 発信（評価意識をもつてのぞむ）

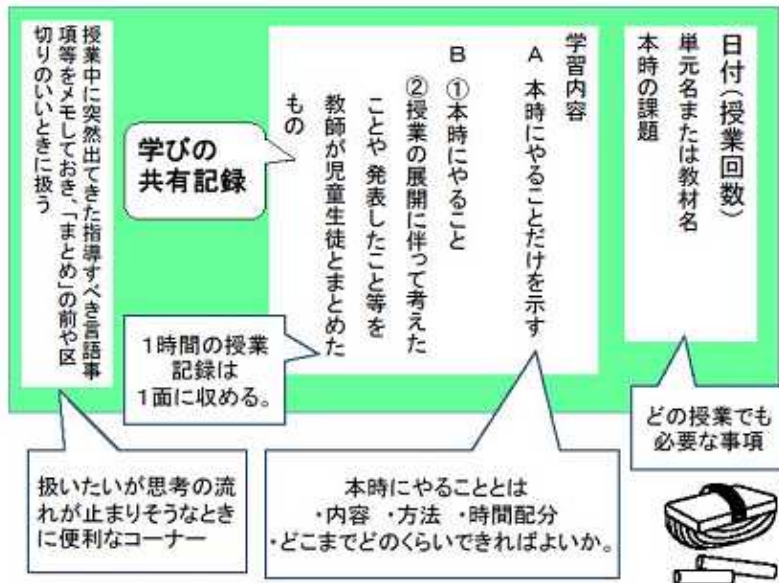
- 単元の学習目標に照らし合わせて、発信の目的や相手を意識して行う。

※「2 展開」はこの発信を目的として学習活動が様々に組織される。

4. 振り返り（成果と課題を自覚する）

- 単元の学習記録を整理する。
- 学習目標に照らし合わせて自己評価をする。
 - ・身に付いた言葉の力やものの見方、考え方、言葉の力に関する自己の課題が整理できるような観点の設定。文章でも記述させる。
 - ・指導事項に対応した単元テストの実施。

2 国語科における板書



(1) ノートとつながりのある板書
板書は児童生徒のノートに直結させることが大事で、「学びの共有記録」という意識で板書を作ることが求められる。

- ① いつ
- ② どの単元で
- ③ どのような学習をしたか
(学習内容)

これら3点は、必ず書き、ノートに残されるようにしたい。

板書は、学習内容によって異なる。多くは左図のA・B2つのパターンになる。

「本時にやること」を示す

その時間に行う学習の全容を把握させ、記録させる。内容・方法・時間配分・どこまでどのくらいで

きればよいか(評価規準)を示すことで、児童生徒は、1時間の学習の見通しをもつことができる。

- ① 国語の授業では、場合によっては、長文を読んで感想を書くことで1時間を費やすことがある。そのようなときは、『高瀬舟』を読み、「庄兵衛の疑い」に着目しながら感想を書く。提出する。のみで板書は十分である。

- ② 右の例は「話し合い」が中心となる授業の板書例である。グループ学習や個別学習の時は、どの資料や手引き、ワークシートを用いるのかも示しておく、学習活動の途中で指示することが少なくなり、児童生徒の思考を止めてしまうことが避けられる。

黒板面上に学習を展開する

黒板上に学習を展開することは、文学作品の読解・鑑賞、説明的文章の読解等によく用いる方法である。児童生徒との問答で進めながら、人物・時・場面・行動・心情等をキーワードや記号で関係づけながら、文章構造図を作るものである。「板書の構造化」が必要となる。児童生徒が家庭学習でノートを読み直し、記号の意味を言葉で表現しながら、1時間の授業の概要を述べるような板書としたい。

なお、チョークの色を多用しないことを心がけたい。見えにくい色を使用しないことはもちろんであるが、児童生徒が色ペンを持ち替えることに追われることのないようにしたい。

「書くこと」の学習でも黒板を活用する

例えば、題材の設定や、問題点の分析等で行われるマッピングやKJ法を、黒板面上で行うこともできる。短冊等にマジックで書いたものをマグネットで貼り、それを移動させ、グルーピングするなどの作業を学級全体で行うこともできる。ただし、このような場合は、児童生徒がノートに記録することが難しいため、指導者はデジカメに収録し、プリントアウトしたものを配布してノートに貼らせる等の工夫が求められる。

(2) ノート指導の留意点

国語の授業では、ワークシートや学習の手引き、資料、原稿用紙に書いた自分の作品、作成した新聞等、「学習のあしあと」として残したいが、ノートに収まりきれないものがある。それらの保存方法は学年の始めに指示しておく必要がある。また、ノート点検の目的には、①理解度の把握 ②考え方の道筋の把握 ③課題等の点検 ④学習意欲の喚起 ⑤心のふれあい 等様々に考えられる。指導者は点検の目的、つまり指導の目的に応じたコメントの記入を心がけたい。

(例)

○この時間のすすめ方

一、「二つの物語の共通点と相違点について」グループで話し合う。

・司会はA・記録はC

・「話し合いの手引き2」にそって

・時間 二十分間

二、話し合ったことの報告をする。

・各グループの記録者が報告

三、まとめ、振り返り

※ここまでは授業の導入で示す。

○グループが見つけた「共通点と相違点」

※各グループの報告の要点を教師が板書する。